

高野中学校トイレ洋式化工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-0	図面リスト	A-18	天井伏図	M-1	特記仕様書
A-1	建築改修工事特記仕様書(1)	A-19	1階男子便所① 展開図	M-2	衛生・換気機器表
A-2	建築改修工事特記仕様書(4)	A-20	1階女子便所① 展開図	M-3	既存1階平面図
A-3	建築改修工事特記仕様書(5)	A-21	1階男子便所②・1階女子便所② 展開図	M-4	既存2階平面図
A-4	建築改修工事特記仕様書(6)	A-22	多目的便所 展開図	M-5	1階男子・女子便所①衛生設備図(既存・改修)
A-5	建築改修工事特記仕様書(7)	A-23	2階男子便所 展開図	M-6	2階便所衛生設備図(既存・改修)
A-6	建築改修工事特記仕様書(8)	A-24	2階女子便所 展開図	M-7	1階男子・女子便所②・多目的便所衛生設備図(既存・改修)
A-7	仕上表	A-25	改修前建具配置図	M-8	天井伏図(換気設備)
A-8	配置図・付近見取図	A-26	改修後建具配置図		
A-9	改修前1階平面図	A-27	改修前建具表1	E-1	電気設備 特記仕様書
A-10	改修前2階平面図	A-28	改修前建具表2	E-2	コンセント設備 1階改修図面
A-11	改修前3階平面図	A-29	改修後建具表1	E-3	1階男子便所①・女子便所①平面詳細図 既存・改修
A-12	改修後1階平面図	A-30	改修後建具表2	E-4	1階男子便所②・女子便所②・多目的便所平面詳細図 改修前・後
A-13	改修後2階平面図	A-31	部分詳細図1	E-5	2階便所平面詳細図 既存・改修
A-14	1階男子便所①・女子便所①平面詳細図 改修前・後	A-32	仮設配置図(参考図)		
A-15	1階男子便所②・女子便所②・多目的便所平面詳細図 改修前・後	A-33	仮設平面図(参考図)		
A-16	2階便所平面詳細図 改修前・後				
A-17	校長室・会議室平面詳細図				



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

図面リスト

縮尺

1:50

設計

令和6年度

種別

A

図面番号

0

⑤ 建具 改修 工事	① 改修工法	<p>建具の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○アルミ製建具</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ 樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製建具</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製軽量建具</td> <td>○</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※ 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示</p>	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミ製建具	○	※ 建具表による	・ 樹脂製建具	・	※ 建具表による	・ 鋼製建具	・	※ 建具表による	○ 鋼製軽量建具	○	※ 建具表による	・ ステンレス製建具	・	※ 建具表による	⑨ 鋼製軽量建具	<p>性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 5. 2~4]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 適用する</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>耐震性能 面内変形追従性の等級 ()</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>鋼板の材料 ※ 垂れめっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.5.11による</p> <p>使用箇所 ()</p> <p>符合せ、縦小包み板の材質 ※ 鋼板 ・</p> <p>標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による</p>	⑩ ステンレス製建具	<p>性能値等 (建具符号: ○ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 適用する</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4</p> <p>・ S-5</p> <p>・ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>耐震性能 面内変形追従性の等級 ()</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>くつずりの仕上げ</p> <p>ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ ・</p> <p>工法</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (a 角 ・ b 角 ・ c 角)</p>	⑪ 建具用金物	<p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p> <p>※ 改修標準仕様書5.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.2による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.3による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.4による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標準仕様書5.8.5による</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ※ 建具表による</p>	⑫ 鍵	<p>錠前類</p> <p>【シリンドラ錠錠及びシリンドラ本締まり錠】</p> <p>(品質)</p> <p>デッドボルトの寸法は17mm以上とする。鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p> <p><使用頻度による性能></p> <p>1) (シリンドラ錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</p> <p>2) キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。(シリンドラ本締まり錠のみ) シリンドラ単体の施錠解錠繰り返し試験は、シリンドラだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</p> <p>3) キーによる施錠機構の施錠解錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。</p> <p>4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンドラが回転でき、かつ、1箇所1段差深い削りをもつ異なるキーでは、シリンドラが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</p> <p><外力に対する性能></p> <p>1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。</p> <p>2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行なった後、加圧板がデッドボルトを通過しない。</p> <p>3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (デッドボルトの突出量が9mm未満) にならないこと。</p> <p>4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。</p> <p>5) (シリンドラ本締まり錠はグレード3以上の形造錠の場合) ストライクプレート厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロコゲは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体設計とする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。</p> <p><使用原の質量に対する性能 (シリンドラ錠のみ) ></p> <p>1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</p> <p>2) レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。</p> <p>3) 握り玉のねじり強度試験 (3KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。</p> <p>4) ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。</p> <p>5) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解錠操作に支障がない。</p> <p><鍵></p> <p>1) かぎ (鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一削みは、最大2連続までとしていること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般-第1部:試験方法) による。</p>	⑬ 自動ドア開閉装置	<p>マスターキー ※ 製作する (組) ○ 製作しない ・ 既存に組込む</p> <p>鍵の製作本数 ※ 各室3本1組 (室名札付き)</p> <p>鍵筒 ・ 設ける (固定用 組) ○ 設けない</p> <p>[5. 8. 4]</p>	⑭ 自閉式上り引戸装置	<p>性能値等 ※ 標準仕様書5.10.1による [5. 10. 3]</p> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験</p> <p>閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から開閉位置まで動作を確認できる試験を行う。開閉に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点まで1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。</p> <p>(2) 耐衝撃性試験</p> <p>落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。</p> <p>耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸。開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。</p> <p>適用戸総質量の区分毎に試験を行う。</p> <p>(3) 気密性試験</p> <p>JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</p>	⑮ 重量シャッター	<p>シャッターの種類 ・ 管理用シャッター</p> <p>・ 外壁用防火シャッター</p> <p>・ 屋内用防火シャッター</p> <p>・ 防塵シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa</p> <p>開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式</p> <p>安全装置</p> <p>急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <p>※ 図示 ・</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 ・</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの有害防止機構の設置箇所</p> <p>※ 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和40年12月28日建設省告示第2563号) に定める基準に適合するもの</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類 ※ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの</p> <p>ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる底板及び逆板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p>	⑯ 軽量シャッター	<p>開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () N/m²</p> <p>安全装置</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <p>※ 図示 ・</p> <p>スラットの材質の種類</p> <p>※ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※ Z06 又はF06を満足するもの)</p> <p>・ JIS G 3312 (塗装溶融5.5%アルミニウム亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 (※ AZ90を満足するもの)</p> <p>スラットの形状 ※ インターロックキング形 ・ オーバーラッピング形</p> <p>シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない</p> <p>ガイドレール (中柱共) の材質 ※ ステンレス鋼板 (SUS304) 厚さ1.0mm</p> <p>底板の材質 (屋外の場合) ※ ステンレス製既製品</p>	⑰ オーバーヘッドドア	<table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧性能区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納方式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>※ スチールタイプ</td> <td>・ 125</td> <td>※ バランス式</td> <td>・ スタンダード形</td> <td>※ 溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウムタイプ</td> <td>・ 100</td> <td>・ チェーン式</td> <td>・ ローヘッド形</td> <td>・ ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ ファイバーグラスタイプ</td> <td>・ 75</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ ハイリフト形</td> <td>・ パーチカル形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ※ 図示 ・</p>	セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納方式による区分	ガイドレールの材料	※ スチールタイプ	・ 125	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板	・ アルミニウムタイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス鋼板	・ ファイバーグラスタイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ パーチカル形		・ 50				⑱ 木製建具	<p>建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>○ フラッシュ戸</p> <p>表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 標準仕様書16.7.2(イ) (a) による</p> <p>表面材の種類の品質等</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※ しな合板程度) 板面の品質 (○ 広葉樹 1等) 接合の種類 (○ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接合の種類 (1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接合の種類 (1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</td> <td>表面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.7.6による</p> <p>引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・ かまち戸</p> <p>かまち樹種 () 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>・ ふすま</p> <p>張りの種類 (・ I型 ・ II型)</p> <p>上張り (押入等の裏側) ○ ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクレーヤー塗装)</p> <p>見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>・ 戸ぶすま 見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>枠の材料 ※ 木製枠 (6畳内装改修工事による)</p> <p>・ 鋼製枠 (※ 垂れめっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板)</p> <p>くつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製</p>	合板の種類	規格等	備考	○ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※ しな合板程度) 板面の品質 (○ 広葉樹 1等) 接合の種類 (○ 1類 ・ 2類)		・ 天然木化粧合板	樹種名 () 接合の種類 (1類 ・ 2類)		・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接合の種類 (1類 ・ 2類)		・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)	表面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()	
	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																													
	○アルミ製建具	○	※ 建具表による																																																																													
	・ 樹脂製建具	・	※ 建具表による																																																																													
	・ 鋼製建具	・	※ 建具表による																																																																													
	○ 鋼製軽量建具	○	※ 建具表による																																																																													
	・ ステンレス製建具	・	※ 建具表による																																																																													
	セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納方式による区分	ガイドレールの材料																																																																											
	※ スチールタイプ	・ 125	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板																																																																											
	・ アルミニウムタイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ ステンレス鋼板																																																																											
・ ファイバーグラスタイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ パーチカル形																																																																												
	・ 50																																																																															
合板の種類	規格等	備考																																																																														
○ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※ しな合板程度) 板面の品質 (○ 広葉樹 1等) 接合の種類 (○ 1類 ・ 2類)																																																																															
・ 天然木化粧合板	樹種名 () 接合の種類 (1類 ・ 2類)																																																																															
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接合の種類 (1類 ・ 2類)																																																																															
・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)	表面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()																																																																															
② 防火戸	<p>・ 適用する 指定箇所 (建具表による) [5. 1. 4]</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動</p> <p>※ 連動させる 適用箇所 (建具表による)</p> <p>・ 連動させない</p>	③ 見本の製作等	<p>建具具本の製作 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない [5. 1. 5]</p> <p>特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない</p>	④ 防犯建物部品	<p>・ 適用する 適用箇所 (建具表による) [5. 1. 7]</p>	⑤ アルミニウム製建具	<p>性能値等 [5. 2. 2~5] [表5. 2. 2]</p> <p>・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()</p> <p>※ 改修標準仕様書5.2.11による別表</p> <p>外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>枠の見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 種類 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・</p> <p>色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 ()</p> <p>屋内の建具 種類 ○ BC-1種 ・ BC-2種 ・</p> <p>色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 ()</p> <p>結露水の処理方法 ※ 図示 ・</p> <p>取付工法</p> <p>水切り板、ぜん板 ※ 図示 ・</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する</p>	⑥ 網戸等	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>網径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○ 防虫網</td> <td>※ 合成樹脂入り ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※ 0.25mm以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	網径	網目	○ 防虫網	※ 合成樹脂入り ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ	・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	⑦ 樹脂製建具	<p>性能値等 [5. 2. 2] [5. 3. 2~5]</p> <p>・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()</p> <p>※ 改修標準仕様書5.3.11による別表</p> <p>外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>枠の見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>表面色 ※ 標準色 ・ 特注色</p> <p>取付工法</p> <p>水切り板、ぜん板 ※ 図示 ・</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する</p> <p>ガラス ※ 複層ガラス</p>	⑧ 鋼製建具	<p>性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2]</p> <p>簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3</p> <p>水密性の等級 ・ W-1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4</p> <p>・ S-5</p> <p>・ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>耐震性能 面内変形追従性の等級 ()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.21による</p> <p>使用箇所 ()</p> <p>標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による</p>																																																							
種類	材質	網径	網目																																																																													
○ 防虫網	※ 合成樹脂入り ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ																																																																													
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																													
<p>有限会社 谷口設計事務所</p> <p>〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号</p> <p>TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799</p>		<p>一般建築士事務所登録 18 (1) 第1191号</p> <p>一般建築士 第257054号 竹中 智成</p> <p>構造設計一般建築士 第4109号</p>	<p>担当</p> <p>高野中学校トイレ洋式化工事</p>	<p>工事名称</p> <p>高野中学校トイレ洋式化工事</p>	<p>図面名称</p> <p>建築改修工事特記仕様書 (4)</p>	<p>縮尺</p>	<p>設計</p> <p>令和6年度</p>	<p>種別</p> <p>A</p> <p>図面番号</p> <p>2</p>																																																																								

22	合成樹脂塗床	[6. 1. 0. 2. 3]				<p>・化粧パーティクルボード</p> <p>・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃)</p> <p>・ハードボード (素地) HB ・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード RN) ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード RS)</p> <p>・ハードボード (化粧) ・内装用DI ・外装用DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・</p> <p>・インシュレーションボード IB A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ) ・9 ・12 ・15 ・18</p> <p>天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※ 図示による 合板の張付け ・A種 ・B種 せつこうボードの目地工法 ※ 仕上表による</p>
		種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	
23	防じん用塗床	材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする 仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ) (※ 標準色) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆				<p>(4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水溜しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上げ塗料」の7.10.付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に到達するまで切り込みを入れ、シゲリ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さを試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm²以上を確保していること) また、試験後の部材破断面位置の表示を下記の中から選び明記する。 T : タイルの母材破断 MG : 既調査合モルタルと下地板の界面破断 TM : 既調査合モルタルとタイルの界面破断 G : 下地板の母材破断 M : 既調査合モルタルの母材破断</p> <p>ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水溜しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ (温冷縮後) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 温冷縮後試験 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上げ塗料」に規定する7.11温冷縮後試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷縮後) の接着強さ試験方法 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷縮後試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスページョン及び再乳化粉体樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗料」の7.11曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p>
		24	フローリング張り	単層フローリング [6. 1. 1. 2 ~ 6]		
種類	工法			樹種	厚さ (mm)	
25	畳敷き	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※D種 (農床： ・ KT-I ・ KT-II ※KT-III ・ KT-K ・ KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)				<p>① 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()</p> <p>② 塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7. 2. 1 ~ 7] ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ</p> <p>③ 禁止塗料塗りの種別 [7. 4. 2. 3] 工程の種類</p> <p>④ 仕上げ塗料塗りの種別 [7. 5. 2 ~ 7. 12. 2] 塗装の種類</p>
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)	
26	せつこうボードその他ボード及び合板張り	MD F、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6. 1. 3. 2. 3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.7.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか				<p>① 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()</p> <p>② 塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7. 2. 1 ~ 7] ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ</p> <p>③ 禁止塗料塗りの種別 [7. 4. 2. 3] 工程の種類</p> <p>④ 仕上げ塗料塗りの種別 [7. 5. 2 ~ 7. 12. 2] 塗装の種類</p>
		種類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等		
27	壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 [6. 1. 4. 2. 3]				<p>① 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()</p> <p>② 塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7. 2. 1 ~ 7] ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ</p> <p>③ 禁止塗料塗りの種別 [7. 4. 2. 3] 工程の種類</p> <p>④ 仕上げ塗料塗りの種別 [7. 5. 2 ~ 7. 12. 2] 塗装の種類</p>
		紙	織	塩化ビニル	その他	
28	モルタル塗り	モルタル・せつこうプaster一面の素地ごしらえの種別 ※ B種 コンクリート面の素地ごしらえの種別 ※ B種 せつこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種別 ※ B種				<p>① 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()</p> <p>② 塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7. 2. 1 ~ 7] ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ</p> <p>③ 禁止塗料塗りの種別 [7. 4. 2. 3] 工程の種類</p> <p>④ 仕上げ塗料塗りの種別 [7. 5. 2 ~ 7. 12. 2] 塗装の種類</p>
		項目	品質・性能	項目	品質・性能	
29	タイル張り	伸縮調整目地の位置 床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示) 床タイル以外 (※ 図示) ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り				<p>① 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()</p> <p>② 塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7. 2. 1 ~ 7] ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ</p> <p>③ 禁止塗料塗りの種別 [7. 4. 2. 3] 工程の種類</p> <p>④ 仕上げ塗料塗りの種別 [7. 5. 2 ~ 7. 12. 2] 塗装の種類</p>
		施工箇所	形状/寸法の適用	再生材料の適用	吸水率による区分	
30	セルフレベリング材塗り	耐滑り性：JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部：耐滑り性試験方法) で規定するC.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験体 ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ※ 行わない				<p>① 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()</p> <p>② 塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7. 2. 1 ~ 7] ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ</p> <p>③ 禁止塗料塗りの種別 [7. 4. 2. 3] 工程の種類</p> <p>④ 仕上げ塗料塗りの種別 [7. 5. 2 ~ 7. 12. 2] 塗装の種類</p>
		項目	品質・性能	項目	品質・性能	



有限会社 谷口設計事務所
〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号
TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所登録 18 (1) 第1191号
一級建築士 第257054号 竹中 智成
構造設計一級建築士 第4109号

工事名称
高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 (6)

縮尺
設計
種別
A
令和6年度
図面番号
4

9	1	<p>石綿含有建材の除去工事</p> <p>・ 石綿粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点 [9.1.1.3~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>セキユリティゾーン入口</td> <td>セキユリティゾーン入口</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>集じん・排気装置の排出口の位置</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業室外</td> <td>処理作業室外</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ JIS K 3850-IIに基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定 ()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>測定 ()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>測定 ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有吹付け材の除去 <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 ※ 図示 除去方法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> 埋立処分 (管理型最終処分場) ※ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 又は、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。 石綿含有保温材等の除去 <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 ※ 図示 除去方法 ※ 原形のまま、手ばらし・破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> 埋立処分 (管理型最終処分場) ※ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有成形板等 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外) の除去 <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有せっこうボード <ul style="list-style-type: none"> ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 <ul style="list-style-type: none"> 埋立処分 (安定型最終処分場) 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有成形板等 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種) の除去 <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 ※ 図示 養生方法 <ul style="list-style-type: none"> 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 <ul style="list-style-type: none"> 埋立処分 (安定型最終処分場) 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 <ul style="list-style-type: none"> 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去方法 <ul style="list-style-type: none"> ※ 石綿障害予防規則 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6条による措置と同程度の効果を得る措置とされる工法 <ul style="list-style-type: none"> 集じん装置併用手工具ケレン工法 集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度) 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) 超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用) 剥離剤併用手工具ケレン工法 剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度) 剥離剤併用超音波ケレン工法 (100MPa以上) 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 	適用測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	測定2	調査対象室外部の付近	調査対象室外部の付近	計点	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	測定4	セキユリティゾーン入口	セキユリティゾーン入口	計点	測定5	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	集じん・排気装置の排出口の位置	計点	測定6	処理作業室外	処理作業室外	計点	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点	測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計点	測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計点	測定名称	測定方法	測定4・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4・測定5	25	5	30	測定 ()	47	10	120	測定 ()	47	10	240	測定 ()				<p>3 断熱・防露改修工事</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4]</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>・ 断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td> <td>※ 2種 b A ※ 25 ※ 外壁</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 3種 b A ※ 25</td> <td>※ スラブ</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による</p> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロリ試験) に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック一液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 発泡体試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調整は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。 <p>・ 断熱材後張り工法</p> <p>断熱材の種類 ()</p> <p>断熱材の厚さ (mm)</p> <p>・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル (材質 厚さ mm)</p> <p>・ 張り付け工法</p> <p>断熱材の張り付け工法</p> <p>断熱材へのボードの張り付け工法</p> <p>4 屋上緑化改修工事 [9.4.2~4]</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>屋上緑化経年システム ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※ 図示</p> <p>見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材 ※ 図示</p> <p>(品質・性能等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水・排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>透水層</td> <td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補込済み土を流出させない構造であること。</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240 L/m²・h以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)</td> <td>一般メンテナンス時の歩行に際し破壊しないこと。 3×10⁴ N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10⁴ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮率に対する変形率 (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/min以下とする。 <p>1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類)</p> <p>既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯損補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年</p> <p>5 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~5、9]</p> <p>下記以外は、10章その他による</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	※ 2種 b A ※ 25 ※ 外壁	※		※ 3種 b A ※ 25	※ スラブ	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・	・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロリ試験) に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。	項目	品質・性能	透水・排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補込済み土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/m ² ・h以上	耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。	<p>10 その他</p> <p>11 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構造</th> <th>置換式</th> <th>支柱調整式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所定荷重</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> </tr> <tr> <td>耐震性能</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル寸法 (mm)</p> <p>高さ (mm)</p> <p>表面仕上材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ タイルカーペット ※ 帯電防止床タイル ※ タイルカーペット ※ 帯電防止床タイル <p>施工箇所 ※ 図示</p> <p>寸法精度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 標準仕様書20.2.2(2)(a)~(c)による <p>スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による</p> <p>配線用取り出しパネル</p> <p>フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による</p> <p>配線用取り出し開口 ※ 製造所の仕様による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 <p>空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所: ※ 図示)</p> <p>(性能)</p> <ol style="list-style-type: none"> 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと ローリングロード性能 耐久性 <p>イ) 固定台試験による耐震性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td> <td>水平荷重の1/2が下記<適用地震時水平力>以上</td> </tr> <tr> <td>② 上記①以外の部分が耐力に達したとき</td> <td>水平荷重の1/1.5が下記<適用地震時水平力>以上</td> </tr> <tr> <td>③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td> <td>構造床面からの高さの1/50以下</td> </tr> </tbody> </table> <p><適用地震時水平力></p> <p>3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数] × 0.6</p> <p>3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数] × 1.0</p> <p>5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数] × 0.6</p> <p>5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数] × 1.0</p> <p>ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≤300mmの場合のみ)</p> <p>振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 耐燃焼性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒 帯電防止性能評価値 (U) 0.6以上 感電防止性能 漏えい抵抗 (Ω) ≥ 1×10⁸Ω 歩行感 通常の歩行において空音響がたつきがなく、歩行時に違和感がない メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 <p>(試験方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 耐震性能 1) 設計床高さ≤300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N: 200kg 5000N: 350kg 加振 0.6: 所定加速度600cm/S² 1.0: 所定加速度1000cm/S² 300mm<設計床高さ≤600mmの場合 ① 固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。 ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。 ② 試験方法-1 イ、試験体は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③ 試験方法-2 イ、試験体は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N (3,000N/1m²相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④ 帯点補正及び測定記録 試験体と試験体の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を帯点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーペット 繊維素材: ナイロン100% パイル形態: ループパイル パイル長: 3.0mm~4.0mm バッキング素材: 塩化ビニル樹脂 金厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0kg/m²~6.0kg/m² 人体耐電圧: 2KV以下	構造	置換式	支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6	項目	性能	① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記<適用地震時水平力>以上	② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記<適用地震時水平力>以上	③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下	<p>2 表示 (20.2.11)</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。</p> <p>誘導標識、非常用出入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品</p> <p>署名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示</p> <p>3 ブラインド (20.2.14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックスレールの材質</th> <th>幅・高さ</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 横形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ 千ア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※ アルミニウム 合金製</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式</td> <td>※ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>アルミニウム 合金製</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <p>4 ロールスクリーン (20.2.15)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>透光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製</td> <td>・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式</td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様</p> <p>5 カーテン (20.2.16)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ シングル ・ ダブル</td> <td>・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動</td> <td>・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>(暗幕)</td> </tr> </tbody> </table> <p>暗幕カーテンの間隔、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上</p> <p>6 カーテンレール (20.2.16)</p> <p>材質による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ステンレス製 <p>強さによる区分 ※ 10-90</p> <p>仕上げ ※ アルマイト</p> <p>形状 ※ 角形</p> <p>7 ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.16)</p> <p>溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示</p> <p>材質 ・ 集成材 (仕上げ:)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルミニウム製 押出し成型材 (市販品) 表面処理 ・ BC-1 ・ BC-2 (※ 標準色 () ・ 特注色 ()) ・ 鋼製 (仕上げ:) <p>8 天井点検口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450 ・ 600×600</td> <td>※ 一脱形</td> <td>・ 屋内外用 ※ 屋内用</td> <td>※ 縁縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能)</p> <p>内外枠の材質 アルミニウム製</p> <p>JIS H 4100 A6035-5又は同等の性能を有するもの</p> <p>表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの (外枠に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)</p> <p>内枠及び外枠のコーナースペース</p> <p>鋼板に垂れ込み等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>外枠の取付け金物</p> <p>鋼板に垂れ込み等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>内枠の仕上げ材取付金物</p> <p>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材、垂れ込み鋼板又は同等の性能を有するもの</p> <p>耐久性能 (繰り返し開閉試験)</p> <ol style="list-style-type: none"> 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下りがあり、0.5mm以内。 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 <p>枠の寸法許容差 ±0.5mm以内</p> <p>外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法)</p> <p>内蓋 (内枠) の繰り返し開閉試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、枠を天井下取付用補強材に直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従って取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」の08-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回以内の垂れ下り状態を測定する。 	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ	取付箇所	・ 横形	※ 手動	※ 千ア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示	※ 図示	・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	※ 図示	※ 図示	材質	操作方式	透光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	※ 図示		形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・ シングル ・ ダブル	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ		※ 図示	(暗幕)	材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一脱形	・ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ
		適用測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																																																			
測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																					
測定2	調査対象室外部の付近	調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																																																																																					
測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																					
測定4	セキユリティゾーン入口	セキユリティゾーン入口	計点																																																																																																																																																																																					
測定5	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	集じん・排気装置の排出口の位置	計点																																																																																																																																																																																					
測定6	処理作業室外	処理作業室外	計点																																																																																																																																																																																					
測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																					
測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計点																																																																																																																																																																																					
測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計点																																																																																																																																																																																					
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																							
測定4・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																							
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																																					
測定4・測定5	25	5	30																																																																																																																																																																																					
測定 ()	47	10	120																																																																																																																																																																																					
測定 ()	47	10	240																																																																																																																																																																																					
測定 ()																																																																																																																																																																																								
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																						
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																						
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	※ 2種 b A ※ 25 ※ 外壁	※																																																																																																																																																																																						
	※ 3種 b A ※ 25	※ スラブ																																																																																																																																																																																						
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																						
・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・																																																																																																																																																																																						
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																							
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロリ試験) に適合していること。																																																																																																																																																																																							
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																																																																																																																																																							
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																							
透水・排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																							
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補込済み土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																																							
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補込み土を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																																							
排水層の鉛直方向の排水性能	240 L/m ² ・h以上																																																																																																																																																																																							
耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																																							
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																							
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																																							
構造	置換式	支柱調整式																																																																																																																																																																																						
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N																																																																																																																																																																																						
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6																																																																																																																																																																																						
項目	性能																																																																																																																																																																																							
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																							
② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																							
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																																																							
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ	取付箇所																																																																																																																																																																																	
・ 横形	※ 手動	※ 千ア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																																	
・ 縦形	※ 手動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																																	
材質	操作方式	透光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																			
・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																																				
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																			
・ シングル ・ ダブル	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ		※ 図示	(暗幕)																																																																																																																																																																																			
材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																				
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一脱形	・ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ																																																																																																																																																																																				
2	外断熱改修工事	<p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示</p> <p>断熱材</p> <p>断熱材の種類 ()、断熱材の厚さ (mm) [9.2.1~4]</p> <p>施工箇所 ・ 図示</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存外壁の処置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存外壁仕上材の撤去</td> <td>・ あり</td> <td>・ なし</td> </tr> <tr> <td>下地の清掃</td> <td>・ 行う</td> <td>・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>欠損部がある場合の改修工法</td> <td>※ 4章外壁改修工事による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法</p> <p>1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>不陸等の下地調整 ・ 図示</p> <p>通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし</p> <p>断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け</p> <p>※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による</p>	種類	防火性能	備考	既存外壁の処置			既存外壁仕上材の撤去	・ あり	・ なし	下地の清掃	・ 行う	・ 行わない	欠損部がある場合の改修工法	※ 4章外壁改修工事による		<p>有限会社 谷口設計事務所</p> <p>〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799</p> <p>一級建築士事務所登録 18 (1) 第1191号 一級建築士 第257054号 竹中 智成 構造設計一級建築士 第4109号</p> <p>担当</p> <p>工事名称</p> <p>高野中学校トイレ洋式化工事</p> <p>図面名称</p> <p>建築改修工事特記仕様書 (7)</p> <p>縮尺</p> <p>設計</p> <p>令和6年度</p> <p>種別</p> <p>A A 5</p>																																																																																																																																																																						
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																						
既存外壁の処置																																																																																																																																																																																								
既存外壁仕上材の撤去	・ あり	・ なし																																																																																																																																																																																						
下地の清掃	・ 行う	・ 行わない																																																																																																																																																																																						
欠損部がある場合の改修工法	※ 4章外壁改修工事による																																																																																																																																																																																							

9	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ※ 600×600</td> <td>○ 一般形 ・ 密閉形</td> <td>・ 屋内外用 ○ 屋内用</td> </tr> <tr> <td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものをとする。 (品質・性能)</td> </tr> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td>受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製</td> <td>-</td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底板材コーナーステンレス板</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>ビス底板補強材</td> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装膜 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td>-</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td></td> <td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材</td> <td>取手</td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>取手</td> <td>黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td></td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td></td> <td>蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、特見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>手すり</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ S O P ・ E P - G</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>天井見切り縁等</td> <td>壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ・ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)</td> <td>(1.1.2.2、1.9.2.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>鉄筋</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ D 2 9 5 A</td> <td>※ D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ D 3 4 5</td> <td>※ D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>溶接金網</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 溶接金網</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>鉄筋の継手及び定着</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは 4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5.3.4 による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 種類 ・ 図示による ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>[N/mm²]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 2 4</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2iによる</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>セメント</td> <td>種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>型枠</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 1 2 mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ 2 5 mm 以下かつ熱伝率値 1 m h ° C / k C a l 以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>無筋コンクリート</td> <td>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td>[N/mm²]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 1 8</td> <td>※ 1 5</td> <td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>床コンクリート 直均し仕上げ</td> <td>種類 (8.1.4)(表8.1.5) 仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類別 a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(置敷式) () b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り () c種 タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>あと施工アンカー</td> <td>(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ○ 行わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>トイレブース</td> <td>(2.0.2.5) <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>細部 形状</th> <th>ドアエッジ 材質</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ ・</td> <td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(品質・性能) (1) パネル <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>持材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(2) 構造金物 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(3) 付属金物 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(4) 外観は、JIS A 6512「可動開仕切」の5.b)による。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>耐薬品性及び耐汚染性 耐引っかき性</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性試験 特殊加工化粧板に示された耐引っかき性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MDF</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード</td> <td>JIS A 5908「バーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	○ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ○ 屋内用	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものをとする。 (品質・性能)				部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度		鋼製	-	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200			その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604			ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステンレス板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	ビス底板補強材	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装膜 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	-		鋼材	-	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの		アンカー材	取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの			取手	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする		鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする		蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。				受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、特見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。		10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ S O P ・ E P - G</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45		・ ステンレスパイプ	・ HL程度			・ 鋼製パイプ	・ S O P ・ E P - G			・ ビニル製ハンドレール					11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ・ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品		12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	(1.1.2.2、1.9.2.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	屋外	・ コンクリート製			・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・			・ コンクリート製			13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ D 2 9 5 A</td> <td>※ D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ D 3 4 5</td> <td>※ D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下		※ D 3 4 5	※ D 1 9 以上			14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 溶接金網</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網	図示		・ 鉄筋格子				15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは 4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5.3.4 による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 種類 ・ 図示による ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定		16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>[N/mm²]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 2 4</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2iによる</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _c)	スランプ (cm)	適用箇所	[N/mm ²]			※ 2 4	※ 標準仕様書表6.2.2iによる	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)		17	セメント	種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種		18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 1 2 mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ 2 5 mm 以下かつ熱伝率値 1 m h ° C / k C a l 以上		19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td>[N/mm²]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 1 8</td> <td>※ 1 5</td> <td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td> </tr> </table>	種 類	設計基準強度 (F _c)	スランプ (mm)	施 工 箇 所		[N/mm ²]			※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による		20	床コンクリート 直均し仕上げ	種類 (8.1.4)(表8.1.5) 仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類別 a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(置敷式) () b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り () c種 タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ()		21	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ○ 行わない		22	トイレブース	(2.0.2.5) <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>細部 形状</th> <th>ドアエッジ 材質</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ ・</td> <td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table>	表面材の材料	細部 形状	ドアエッジ 材質	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材				(品質・性能) (1) パネル <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>持材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	持材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。				(2) 構造金物 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。				(3) 付属金物 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。				(4) 外観は、JIS A 6512「可動開仕切」の5.b)による。				(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>耐薬品性及び耐汚染性 耐引っかき性</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性試験 特殊加工化粧板に示された耐引っかき性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MDF</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード</td> <td>JIS A 5908「バーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能		耐薬品性及び耐汚染性 耐引っかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。	ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性試験 特殊加工化粧板に示された耐引っかき性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「バーティクルボード」の表11の規定に適合していること。				(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上	
	材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	○ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ○ 屋内用																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものをとする。 (品質・性能)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		鋼製	-	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																																																																																																																																																
目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
底板材コーナーステンレス板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ビス底板補強材	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装膜 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	鋼材	-	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
アンカー材	取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	取手	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、特見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ S O P ・ E P - G</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45		・ ステンレスパイプ	・ HL程度			・ 鋼製パイプ	・ S O P ・ E P - G			・ ビニル製ハンドレール																																																																																																																																																																																																																																																																																
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ ステンレスパイプ	・ HL程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 鋼製パイプ	・ S O P ・ E P - G																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ ビニル製ハンドレール																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ・ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	(1.1.2.2、1.9.2.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジンコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・	屋外	・ コンクリート製			・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・			・ コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
屋外	・ コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		・ コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ D 2 9 5 A</td> <td>※ D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ D 3 4 5</td> <td>※ D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下		※ D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※ D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※ D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 溶接金網</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網	図示		・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※ 溶接金網	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは 4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5.3.4 による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 種類 ・ 図示による ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>[N/mm²]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 2 4</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2iによる</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _c)	スランプ (cm)	適用箇所	[N/mm ²]			※ 2 4	※ 標準仕様書表6.2.2iによる	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																																																																																																																																																																																								
設計基準強度 (F _c)	スランプ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
[N/mm ²]																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ 2 4	※ 標準仕様書表6.2.2iによる	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
17	セメント	種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 1 2 mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ 2 5 mm 以下かつ熱伝率値 1 m h ° C / k C a l 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td>[N/mm²]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 1 8</td> <td>※ 1 5</td> <td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td> </tr> </table>	種 類	設計基準強度 (F _c)	スランプ (mm)	施 工 箇 所		[N/mm ²]			※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種 類	設計基準強度 (F _c)	スランプ (mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	[N/mm ²]																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※ 普通コンクリート	※ 1 8	※ 1 5	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																
20	床コンクリート 直均し仕上げ	種類 (8.1.4)(表8.1.5) 仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類別 a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(置敷式) () b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り () c種 タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
21	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ○ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
22	トイレブース	(2.0.2.5) <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>細部 形状</th> <th>ドアエッジ 材質</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ ・</td> <td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table>	表面材の材料	細部 形状	ドアエッジ 材質	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材																																																																																																																																																																																																																																																																																											
表面材の材料	細部 形状	ドアエッジ 材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		(品質・性能) (1) パネル <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>持材</td> <td>JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	持材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。																																																																																																																																																																																																																																																																																			
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
裏打材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
心材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
持材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
エッジ材	処理を施した材料とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
小口	防水処理を施す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		(2) 構造金物 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																													
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		(3) 付属金物 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																									
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ラッチセット																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		(4) 外観は、JIS A 6512「可動開仕切」の5.b)による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>耐薬品性及び耐汚染性 耐引っかき性</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性試験 特殊加工化粧板に示された耐引っかき性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MDF</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード</td> <td>JIS A 5908「バーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能		耐薬品性及び耐汚染性 耐引っかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。	ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性試験 特殊加工化粧板に示された耐引っかき性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「バーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																			
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	耐薬品性及び耐汚染性 耐引っかき性																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性試験 特殊加工化粧板に示された耐引っかき性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「バーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																	



有限会社 谷口設計事務所
〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号
☎ (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所登録 18(1)第1191号
一級建築士 第257054号 竹中 智成
構造設計一級建築士 第4109号



担当

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書(8)

縮尺

設計

種別

令和6年度
A
図面番号
6

工 事 概 要		用途地域		用途指定なし		材料略記号	
建築主	庄原市長 木山耕三	用途地域	用途指定なし	RC	鉄筋コンクリート下地	C	コンクリート下地
工事名称	高野中学校トイレ洋式化工事	主要用途	中学校(第7号第1類)	CB	コンクリートブロック(16(C種)ブロック)下地	LGS	軽量鉄骨下地
工事場所	庄原市高野町新市1314番地1	敷地面積	15,270㎡	W	木下地	M	モルタル下地
地域・地区	都市計画区域外	建物概要	鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積:1,993.72㎡	PB	石膏ボード	SPB	シーリング石膏ボード
				SUS	ステンレス材	AL	アルミ

内 部 仕 上 表

階	室名	床		巾木		壁		天井		廻縁	備考	塗装材料略記号		
		下地		下地		下地		下地	天井高			SOP	CL	
1階	男子便所①	改修前	C	トイレ:磁器質50角タイル貼り 手洗場:モルタル金銀押えの上、コイルマット敷 撤去			C	磁器質100角タイル貼り 撤去(下地モルタル共)	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 撤去		塩ビ製 撤去	換気扇:撤去 SUS床見切:撤去 小便器用手摺:一時撤去 洋式便器用手摺:撤去	合成樹脂調合ペイント
		改修後	C	トイレ:既存タイルの上、下地モルタル、ビニル床シート t=2.5 新設 手洗場:既存モルタル金銀押え、下地モルタル、ビニル床シート t=2.5 新設		ソト巾木 H=100 新設	C	ケレン・薄塗モルタルの上、EP塗装	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 新設		塩ビ製 新設	換気扇:新設 SUS床見切:新設 小便器用手摺:再取付	クリヤラッカー
	女子便所①	改修前	C	トイレ:磁器質50角タイル貼り 手洗場:モルタル金銀押えの上、コイルマット敷 撤去			C	磁器質100角タイル貼り 撤去(下地モルタル共)	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 撤去		塩ビ製 撤去	換気扇:撤去 手摺:撤去 SUS床見切:撤去 床下点検口(600口):撤去 天井点検口(450口):撤去	アクリル樹脂系非水形塗料
		改修後	C	トイレ:既存タイルの上、下地モルタル、ビニル床シート t=2.5 新設 手洗場:既存モルタル金銀押え、下地モルタル、ビニル床シート t=2.5 新設		ソト巾木 H=100 新設	C	ケレン・薄塗モルタルの上、EP塗装	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 新設		塩ビ製 新設	換気扇:新設 SUS床見切:新設 床下点検口(600口):新設 天井点検口(450口):新設	耐水性塗料
	多目的便所	改修前	C	ビニル床シート貼り t=2.5 撤去			C	磁器質100角タイル貼り 浮き部補修	C	リシン吹付				合成樹脂エマルジョンペイント
		改修後	C	ビニル床シート貼り t=2.5 新設			C	磁器質100角タイル貼り 浮き部補修	C	既存仕上のまま				つや有合成樹脂エマルジョンペイント
	男子便所②	改修前	C	磁器質50角タイル			C	壁:コンクリート打放し仕上げの上、EP塗装 腰壁:磁器質100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 撤去		塩ビ製 撤去	換気扇:撤去	合成樹脂エマルジョン模様塗料
		改修後	C	既存タイルの上、薄塗モルタル、ビニル床シート t=2.5 新設			C	壁:ケレン・清掃・下地調整の上、EP塗装 腰壁:100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 新設		塩ビ製 新設	換気扇:新設	1液形油性ウレタン樹脂ワニス
	女子便所②	改修前	C	磁器質50角タイル貼り			C	壁:コンクリート打放し仕上げの上、EP塗装 腰壁:磁器質100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 撤去		塩ビ製 撤去	換気扇:撤去	2液形ポリウレタン樹脂ワニス
		改修後	C	既存タイルの上、薄塗モルタル、ビニル床シート t=2.5 新設			C	壁:ケレン・清掃・下地調整の上、EP塗装 腰壁:100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 新設		塩ビ製 新設	換気扇:新設	オイルステイン
	校長室・会議室	改修前	C	ビニル床シート貼り t=2.5 既存のまま	C・W	ソト巾木 H=100 既存のまま	C	コンクリート打放し仕上げの上、EP塗装 既存のまま	LGS	PB t=9.5 + 化粧石膏ボード t=9.5 一部一時撤去		塩ビ製 一部撤去	天井点検口(450口):撤去	木材保護塗料
		改修後	C	ビニル床シート貼り t=2.5 既存のまま	C・W	ソト巾木 H=100 既存のまま	C	コンクリート打放し仕上げの上、EP塗装 既存のまま	LGS	PB t=9.5 + 化粧石膏ボード t=9.5 一部再取付		塩ビ製 一部再取付	天井点検口(450口):新設	フタル酸樹脂ワニス
2階	男子便所	改修前	C	ビニル床シート貼り t=2.5 撤去			LGS	防水PB t=12.5の上、磁器質100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 撤去		塩ビ製 撤去	換気扇:撤去 SUS床見切:撤去 小便器用手摺・L型手摺:一時撤去	複層塗材E(合成樹脂エマルジョン系)
		改修後	C	ビニル床シート貼り t=2.5 新設			LGS	防水PB t=12.5の上、磁器質100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 新設		塩ビ製 新設	換気扇:新設 SUS床見切:新設 小便器用手摺・L型手摺:再取付	複層塗材R E(反応硬化型合成樹脂エマルジョン系)
	女子便所	改修前	C	ビニル床シート貼り t=2.5 撤去			LGS	防水PB t=12.5の上、磁器質100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 撤去		塩ビ製 撤去	換気扇:撤去 SUS床見切:撤去 L型手摺:一時撤去	
		改修後	C	ビニル床シート貼り t=2.5 新設			LGS	防水PB t=12.5の上、磁器質100角タイル貼り 既存のまま	LGS	化粧石膏ボード貼り t=9.5 新設		塩ビ製 新設	換気扇:新設 SUS床見切:新設 L型手摺:再取付	

防火材料認定番号

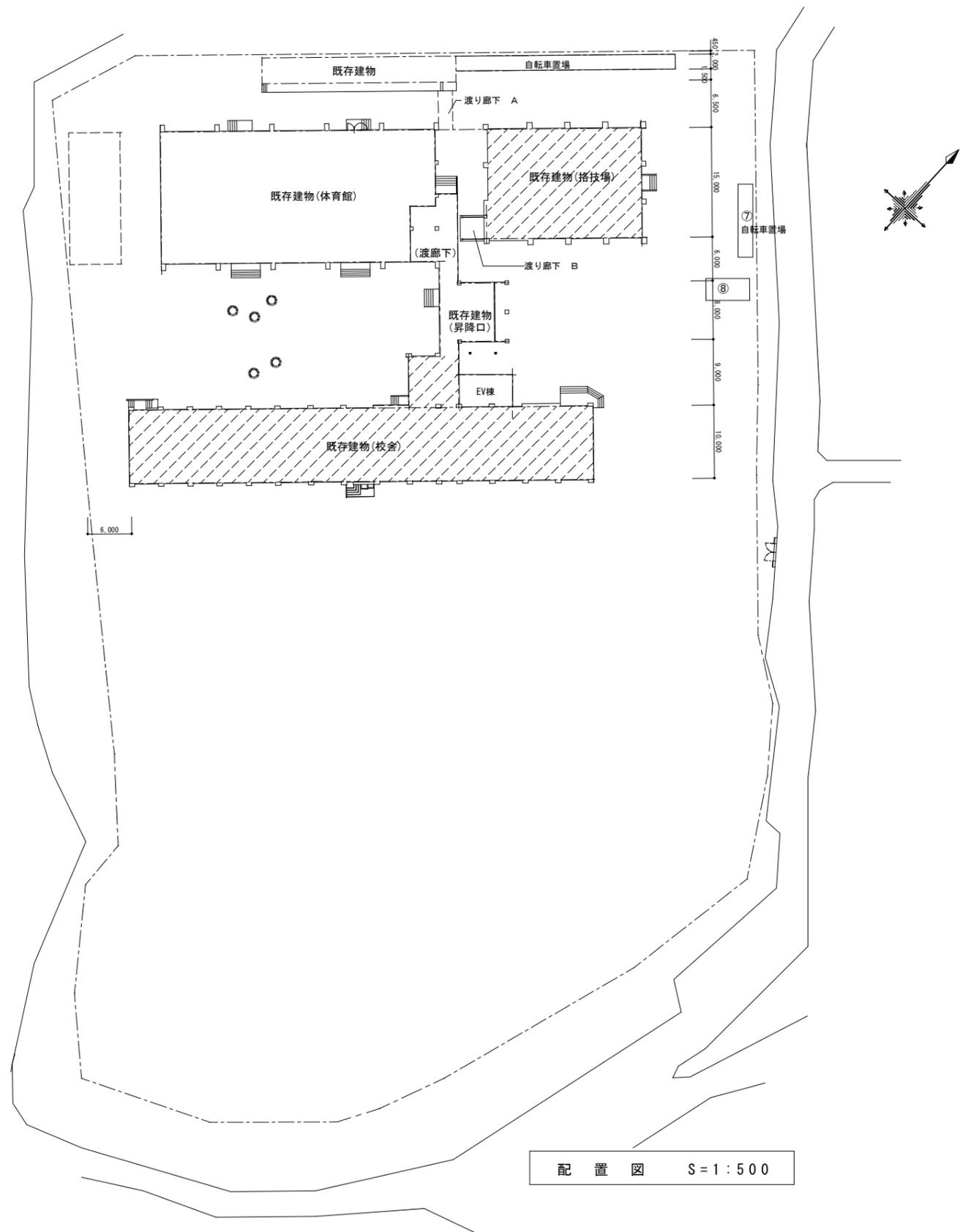
石膏ボード 9.5mm	QM-9828
石膏ボード 12.5mm	NM-8619
化粧石膏ボード 9.5mm	QM-9824
化粧石膏ボード 12.5mm	NM-0127 吉野天井板
シーリング石膏ボード	QM-9826
シーリング石膏ボード(不燃)	NM-9826 (※厚12.5)
繊維混入けい酸加減板	NM-3021 (ID8578)
化粧ボード用セメント板(スリット)	NM-2923 (ID8577)
ロックウール吸音板	NM-8599
セラル(ガラス不燃化粧板)	NM-2183

シックハウス関係

F☆☆☆	F S4
F☆☆	F S3

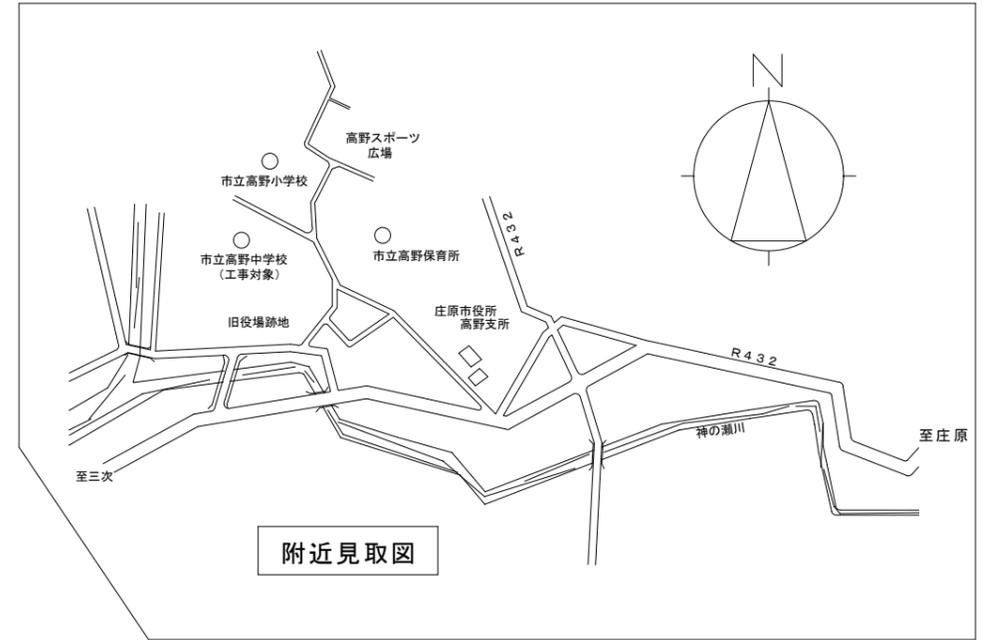
記号

	コンクリート壁
	軽鉄(LGS)間仕切壁
	界壁または区画壁
	垂壁
<数値>	厚さを示す
(())	別途工事
	仕上区分線
	シーリング(材種、サイズ、特記による)
±□□	GLからのレベルを示す。



配置図 S=1:500

工事対象建物



附近見取図



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

配置図・附近見取図

縮尺

1:500

設計

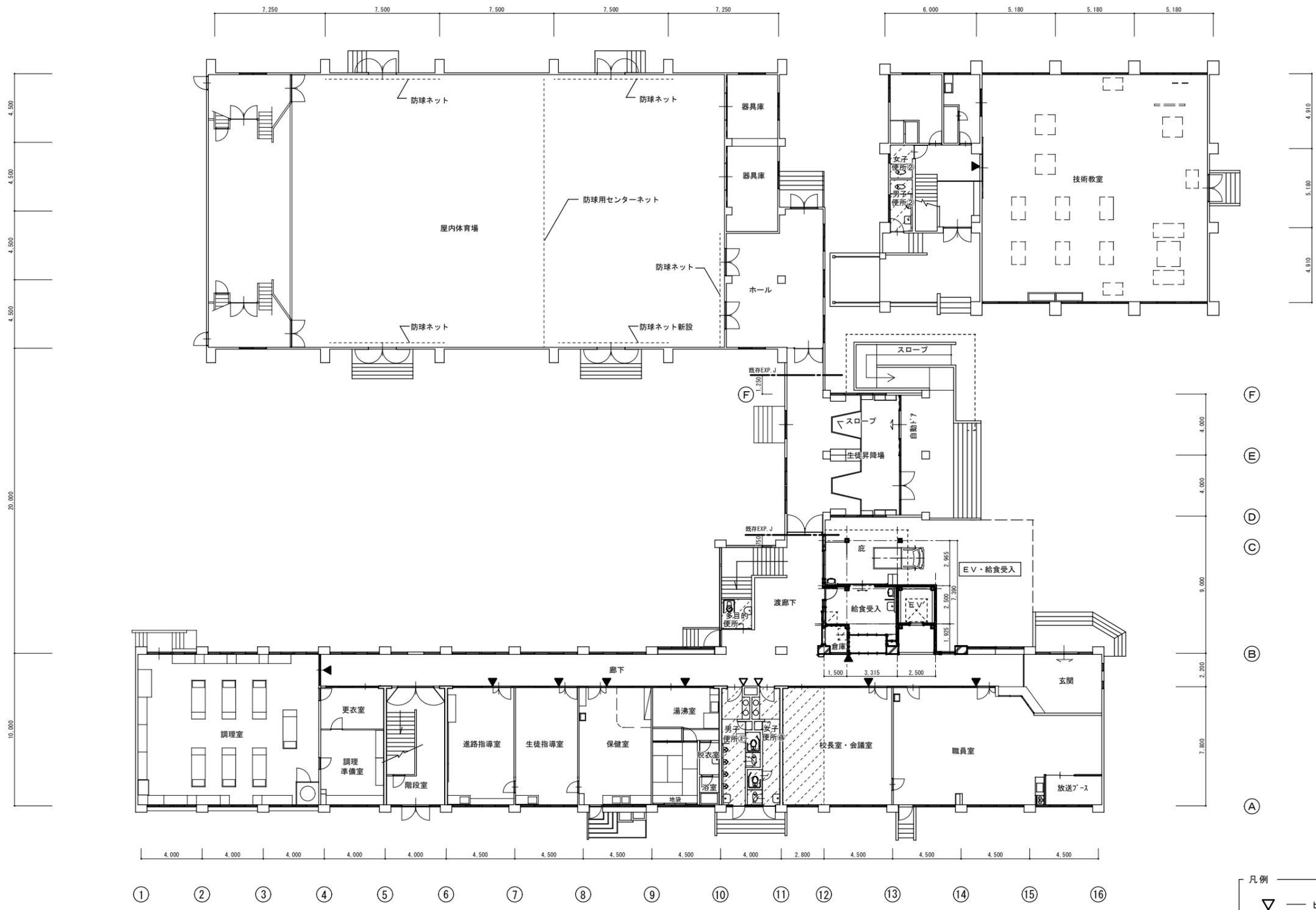
令和6年度

種別

A

図面番号

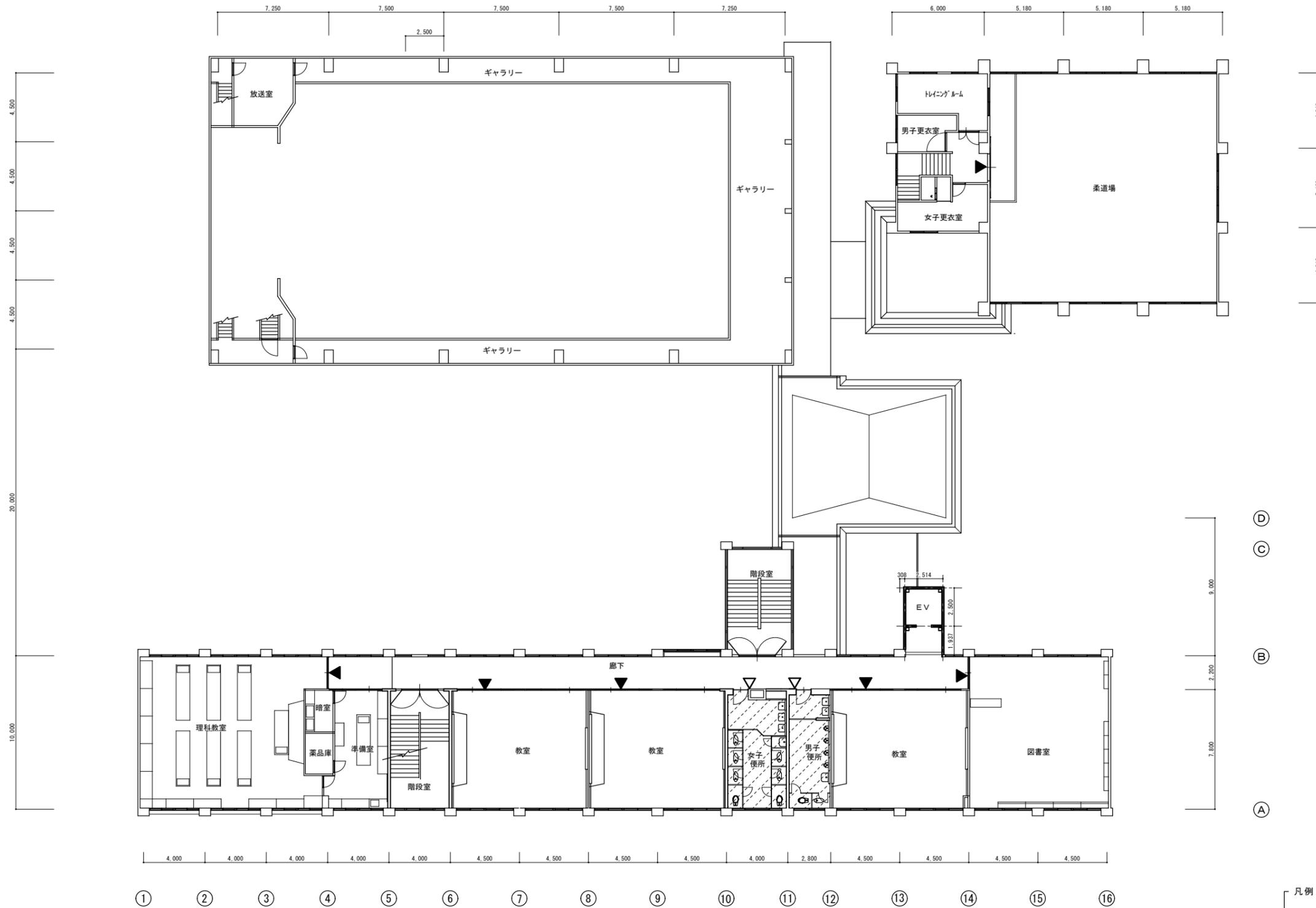
8



斜線部分：工事対象室
改修前1階平面図 S=1:200

凡例

- ▽ — ピクトサイン
- ▼ — 室名札



斜線部分：工事対象室
改修前2階平面図 S=1:200

- 凡例
- ▽ — ピクトサイン
 - ▼ — 室名札



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

改修前2階平面図

縮尺

1:200

設計

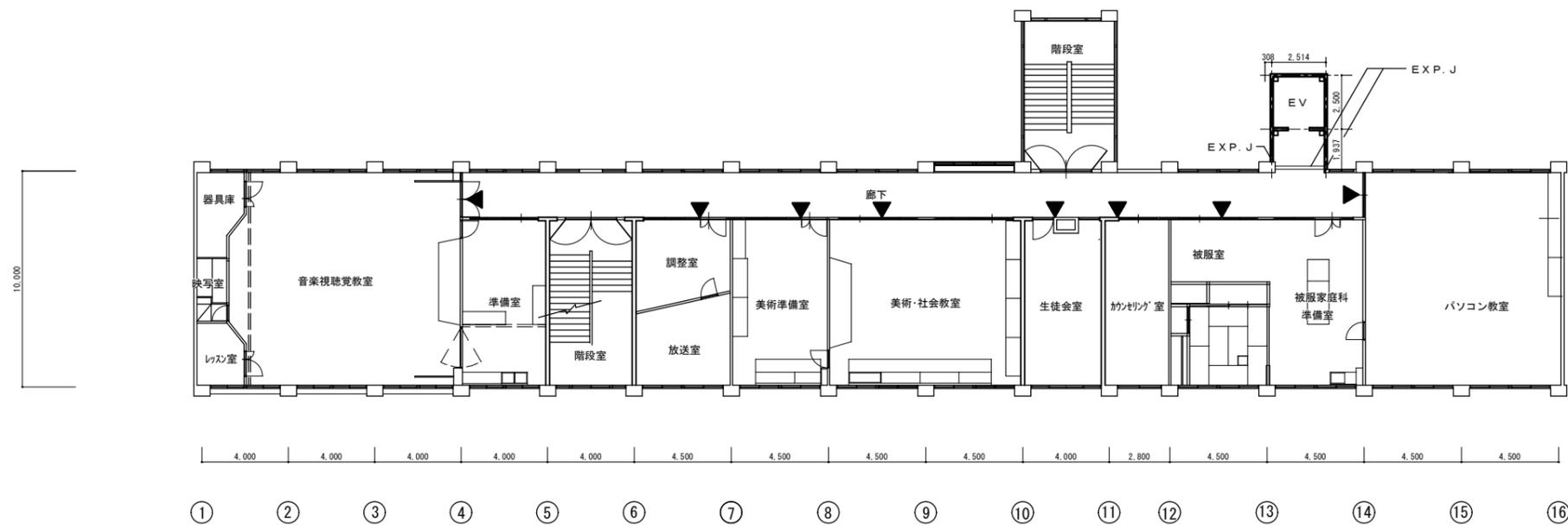
令和6年度

種別

A

図面番号

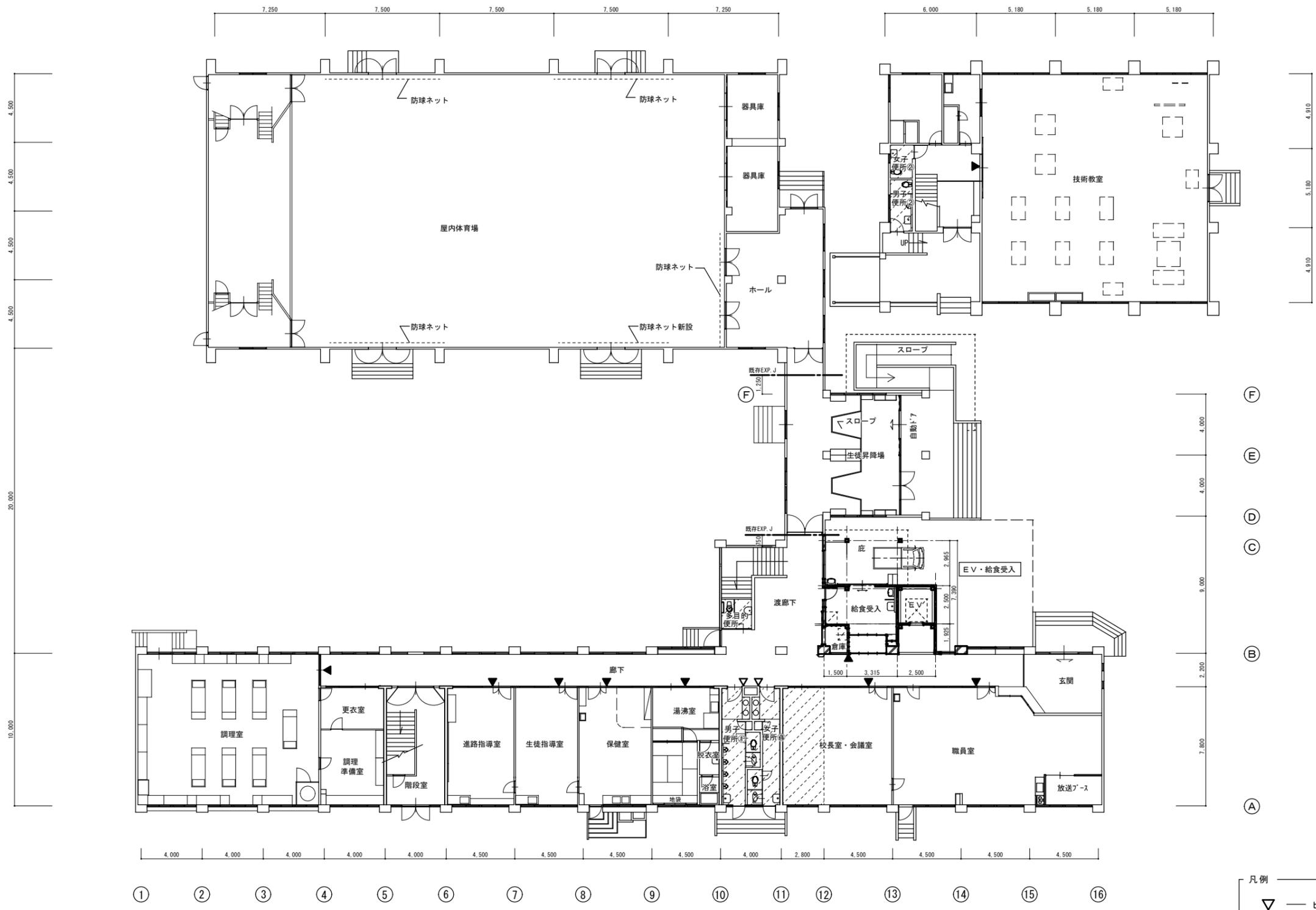
10



既存3階平面図 S=1:200

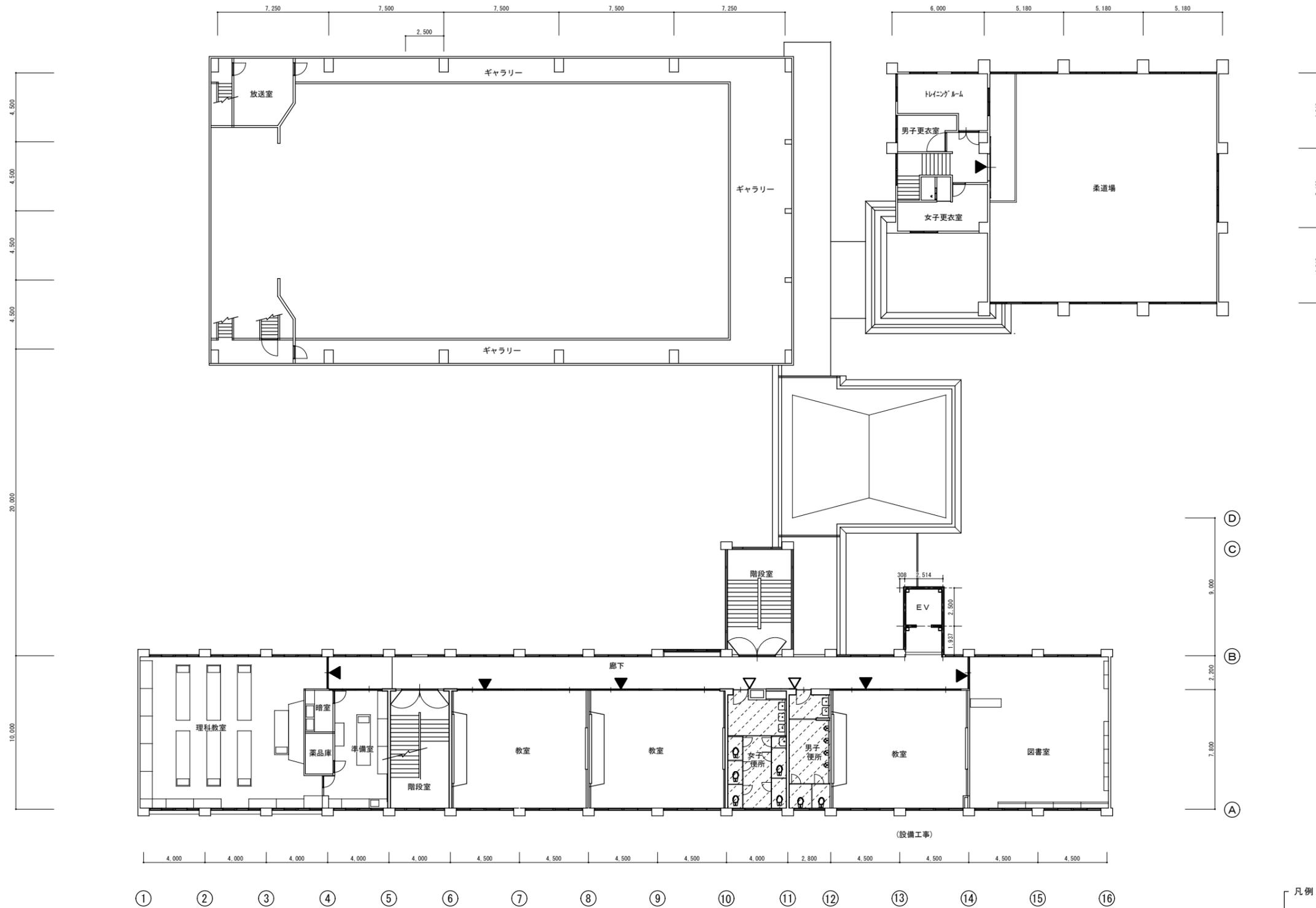
凡例

- ▽ — ピクトサイン
- ▼ — 室名札



斜線部分：工事対象室
 改修後1階平面図 S=1:200

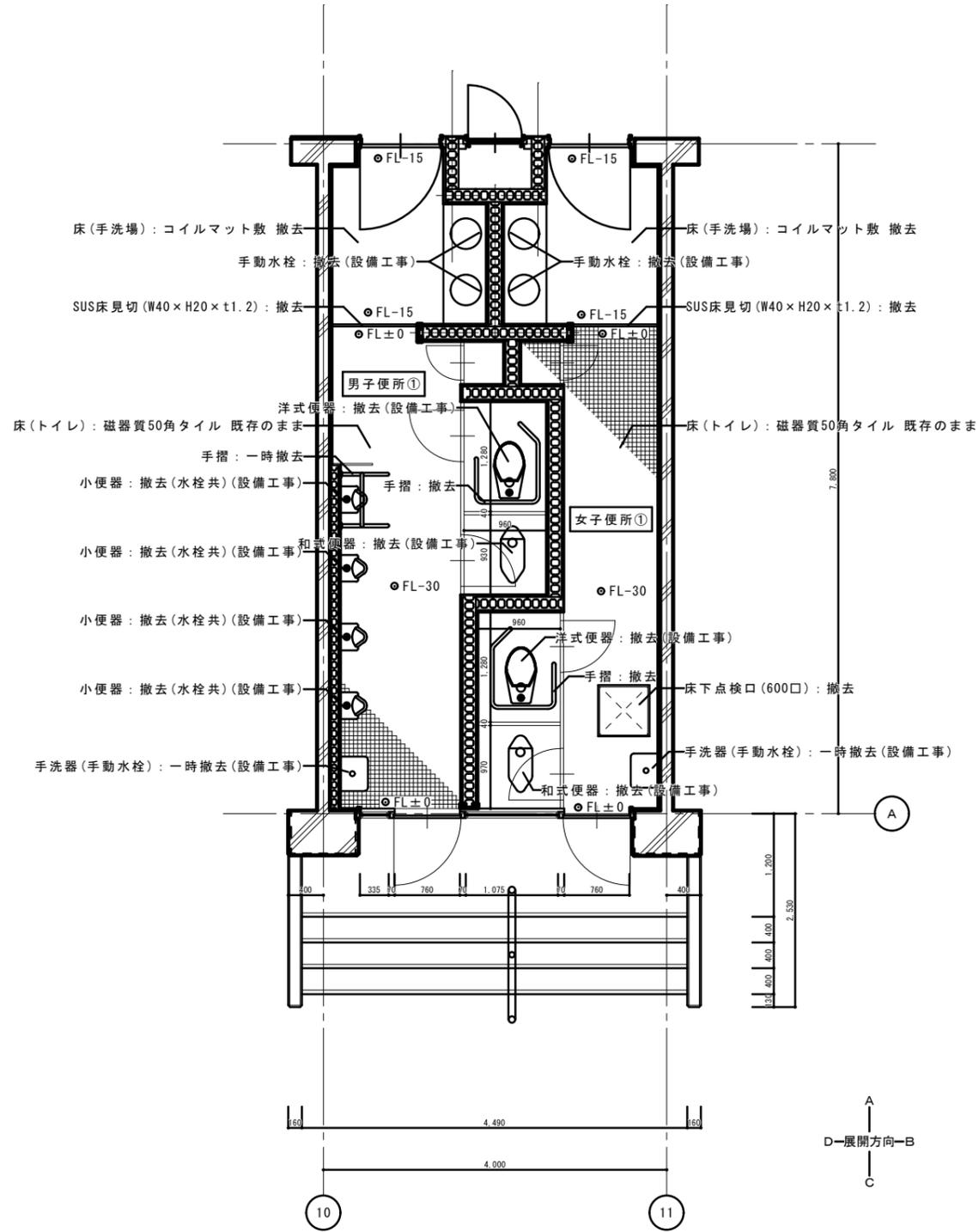
凡例
 ▼ — ピクトサイン
 ▲ — 室名札



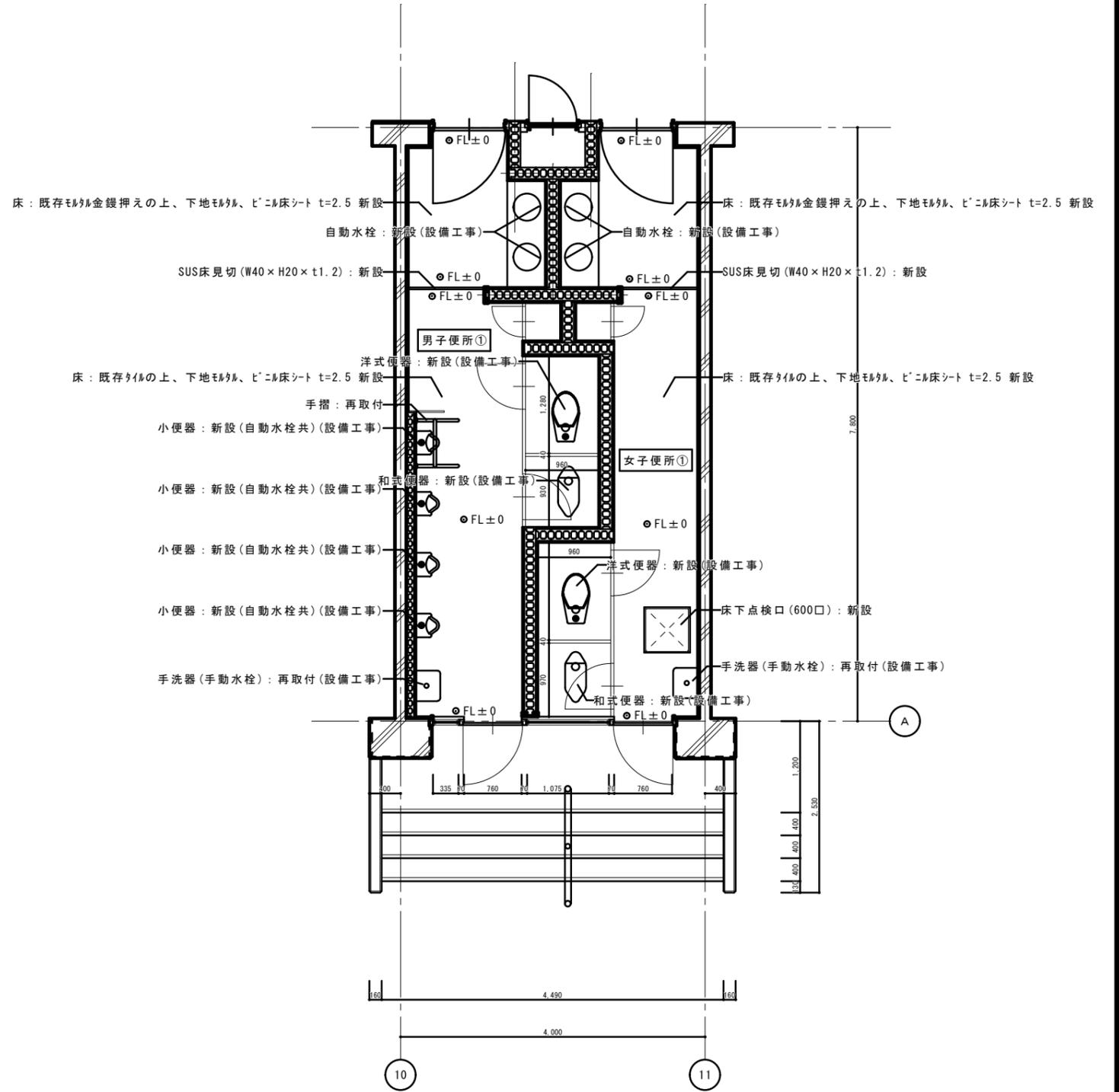
斜線部分：工事対象室
 改修後2階平面図 S=1:200

凡例

- ▽ — ピクトサイン
- ▼ — 室名札



1階男子・女子便所①平面詳細図(改修前) S=1:50



1階男子・女子便所①平面詳細図(改修後) S=1:50



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 Tel. (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階男子便所①・女子便所①平面詳細図 改修前・後

縮尺

1:50

設計

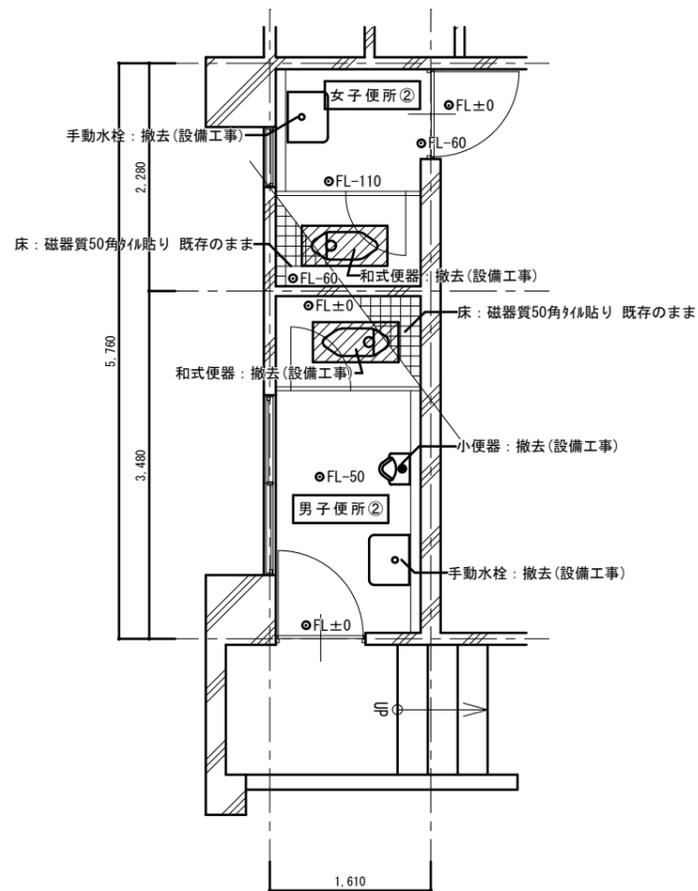
令和6年度

種別

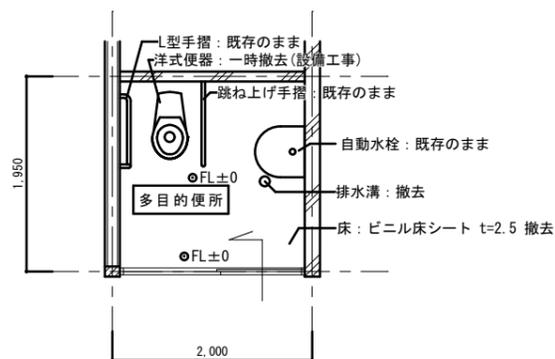
A

図面番号

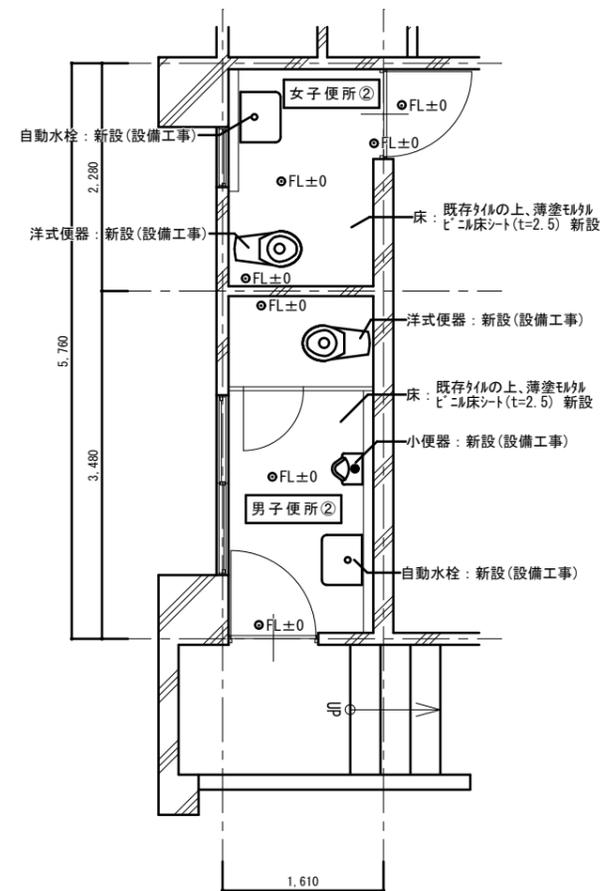
14



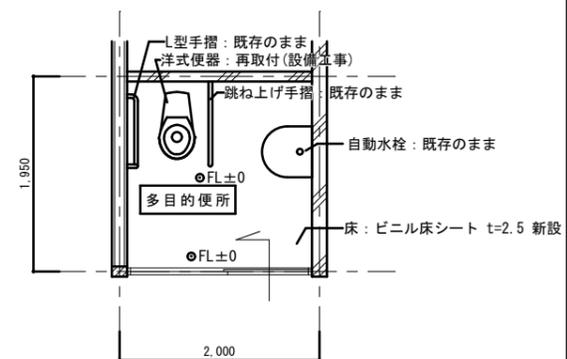
1階男子・女子便所②平面詳細図 (改修前) S = 1 : 50



多目的便所平面詳細図 (改修前) S = 1 : 50



1階男子・女子便所②平面詳細図 (改修後) S = 1 : 50



多目的便所平面詳細図 (改修後) S = 1 : 50

: 和式便器撤去跡補修範囲 (700×400)



和式便器撤去後は下記とする
 * ネールインアンカー D10@2500 タップル (両方向共)
 * 配筋 D10@200 タップル (両方向共)
 * コンクリート (FC=24) 打設 (厚120)



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階男子便所②・女子便所②平面詳細図 改修前・後
 多目的便所

縮尺

1:50

設計

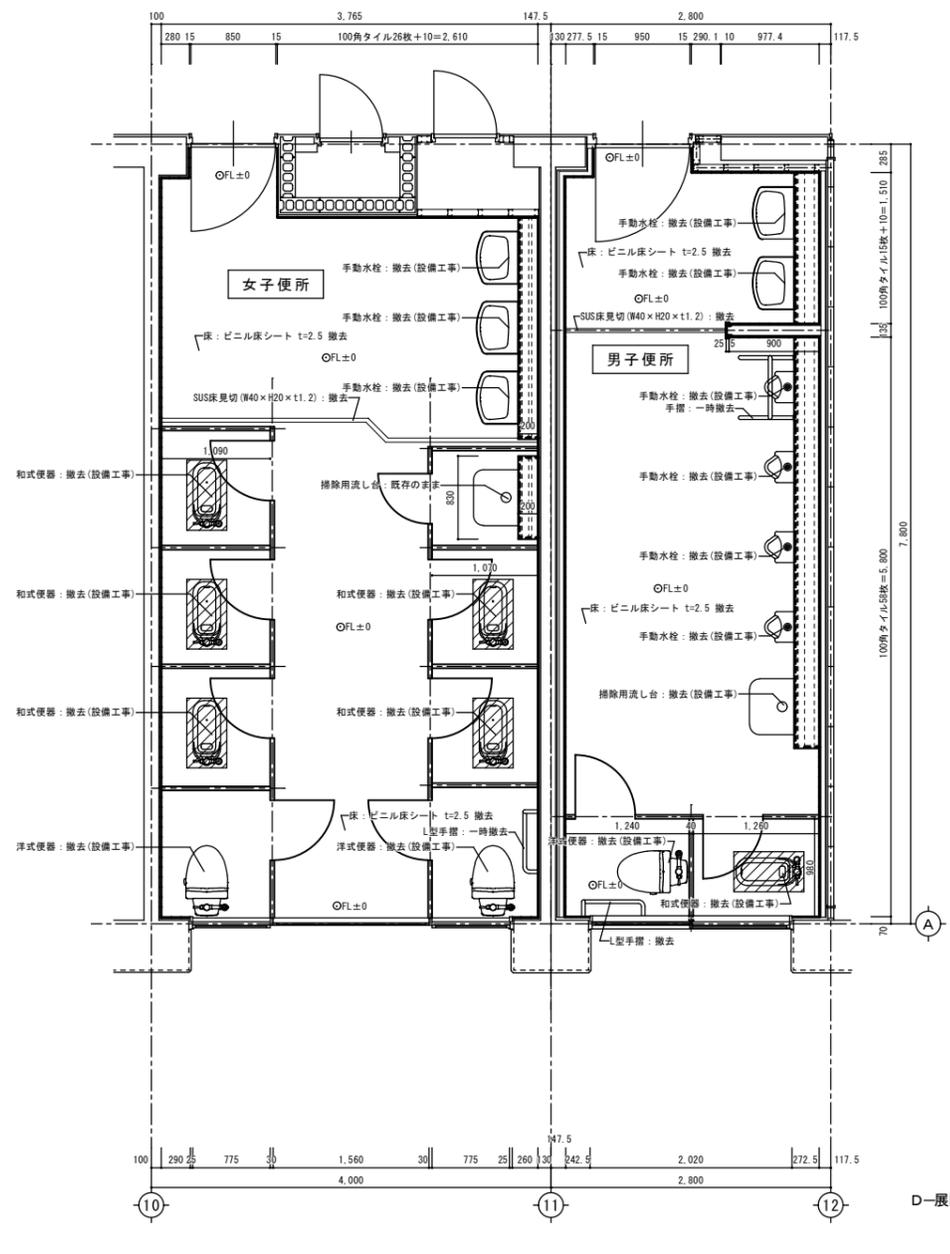
令和6年度

種別

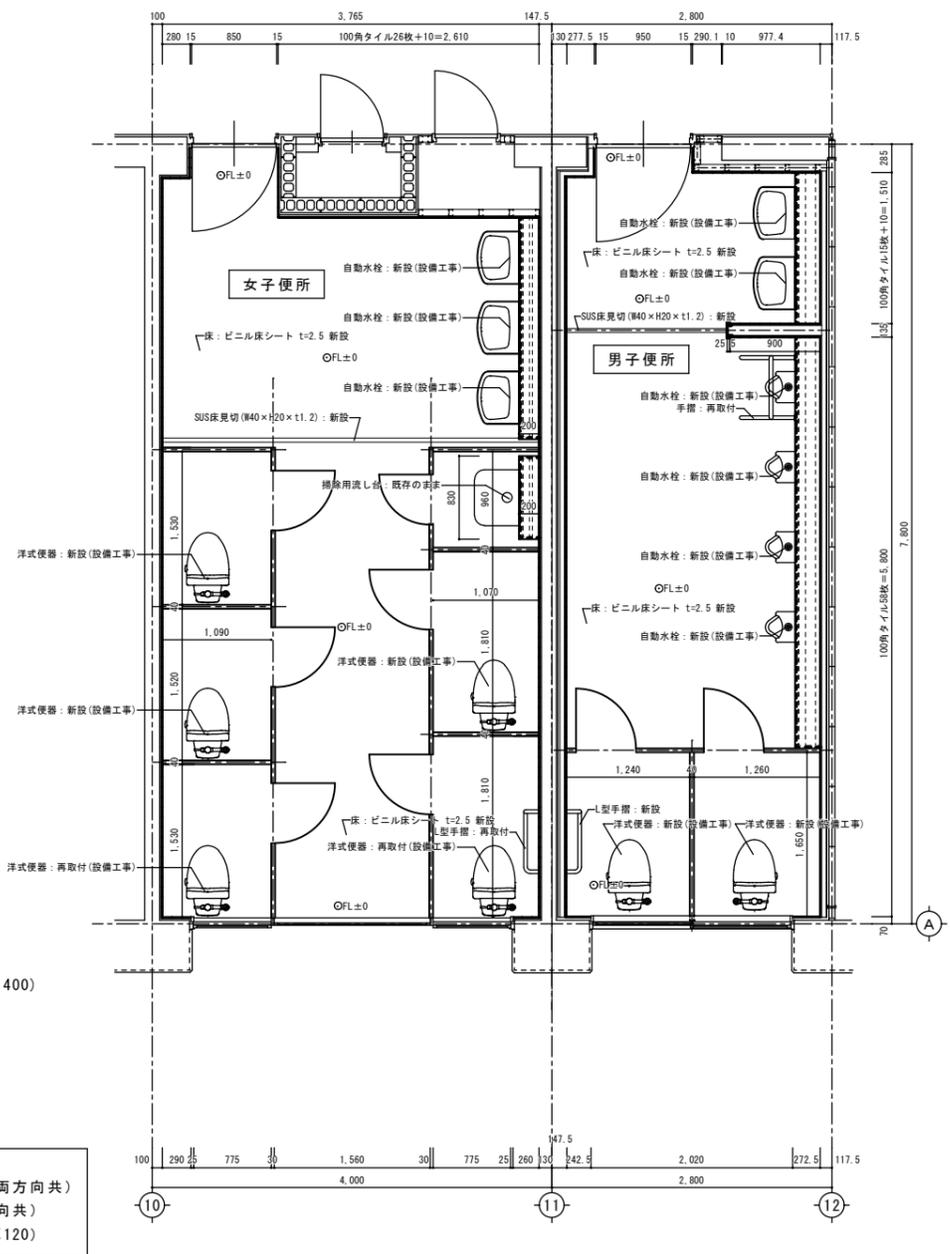
A

図面番号

15



2階便所平面詳細図 (改修前) S=1:50



2階便所平面詳細図 (改修後) S=1:50

: 和式便器撤去跡補修範囲 (700×400)

和式便器撤去後は下記とする
 * 本-ルインアンカ D10@2500 タ'フル (両方向共)
 * 配筋 D10@200 タ'フル (両方向共)
 * コンクリート (FC=24) 打設 (厚120)

A
 D-展開方向-B
 C



有限会社 谷口設計事務所

一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成
 〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 Tel. (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

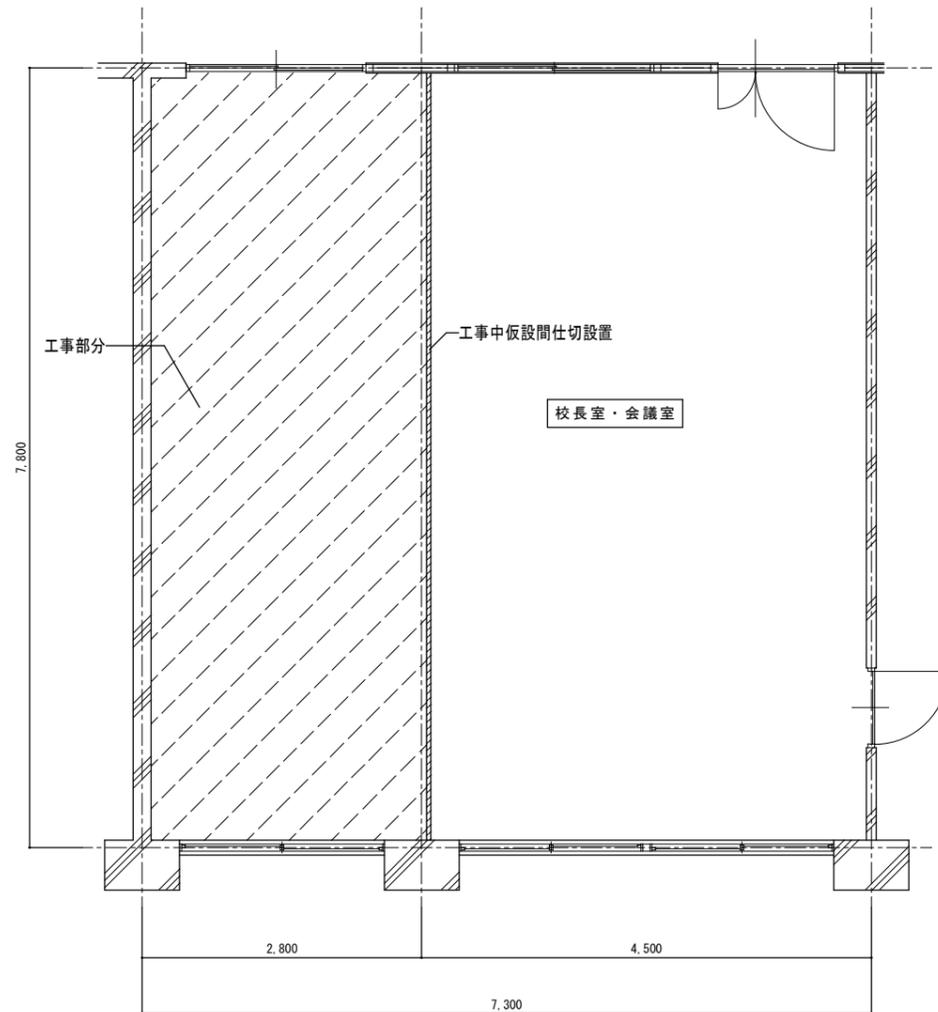
工事名称
 高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称
 2階便所平面詳細図 改修前・後

縮尺
 1:50

設計
 令和6年度

種別
 A
 図面番号
 16



校長室・会議室平面詳細図 (工事中) S = 1 : 5 0



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 Ⅱ (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

校長室・会議室平面詳細図

縮尺

1:50

設計

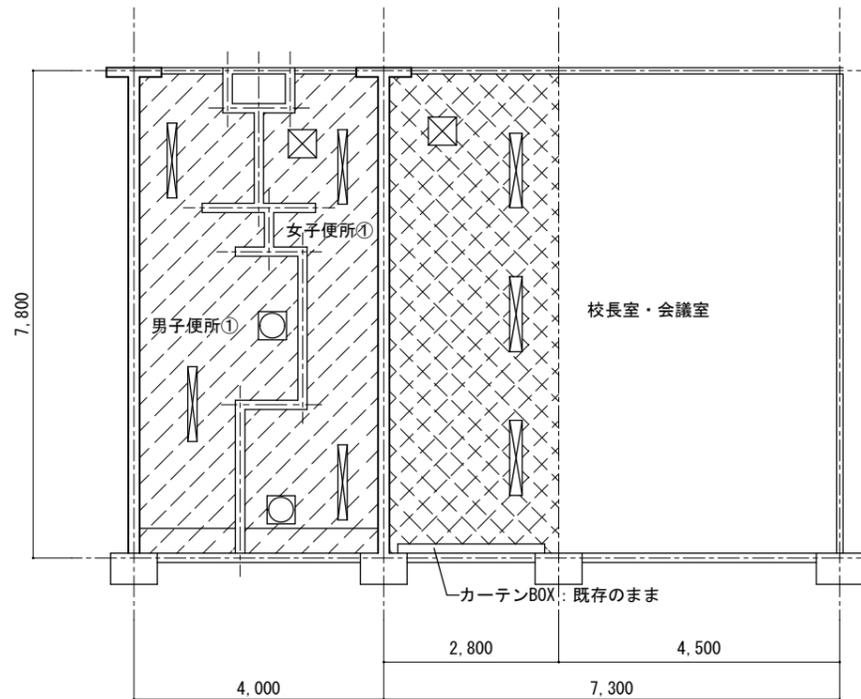
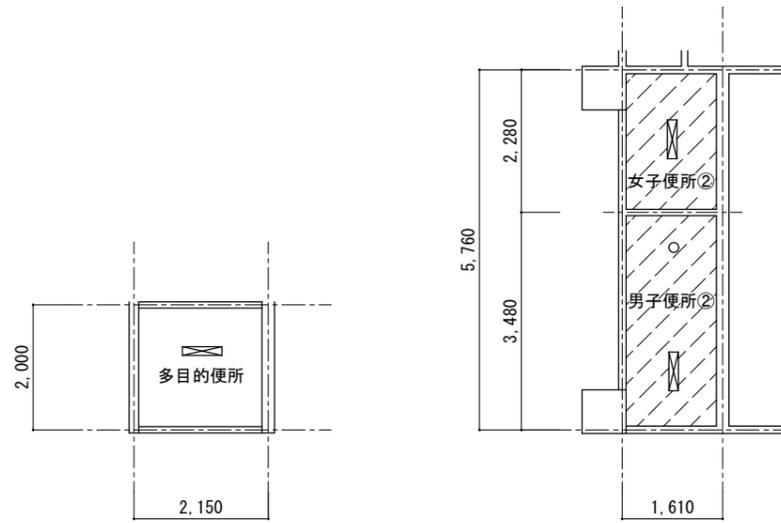
令和6年度

種別

A

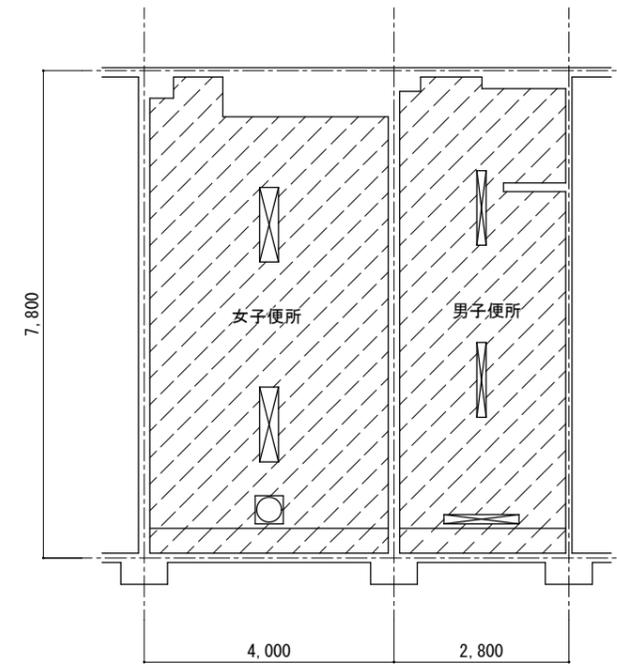
図面番号

17



1階天井伏図 S=1:80

- : 蛍光灯 撤去 (設備工事)
- : LED 新設 (設備工事)
- : 天井点検口 (450口) 撤去・新設
- : 天井換気扇 撤去・新設 (設備工事)
- : 仕上げ撤去・新設範囲
- : 仕上げ撤去・再取付範囲



2階天井伏図 S=1:80

室名	仕上げ
1階男子便所①	化粧石膏ボード貼り t=9.5
1階女子便所①	化粧石膏ボード貼り t=9.5
1階男子便所②	化粧石膏ボード貼り t=9.5
1階女子便所②	化粧石膏ボード貼り t=9.5
多目的便所	リシン吹付
校長室・会議室	化粧石膏ボード貼り t=9.5
2階男子便所	化粧石膏ボード貼り t=9.5
2階女子便所	化粧石膏ボード貼り t=9.5



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

天井伏図

縮尺

1:80

設計

令和6年度

種別

A

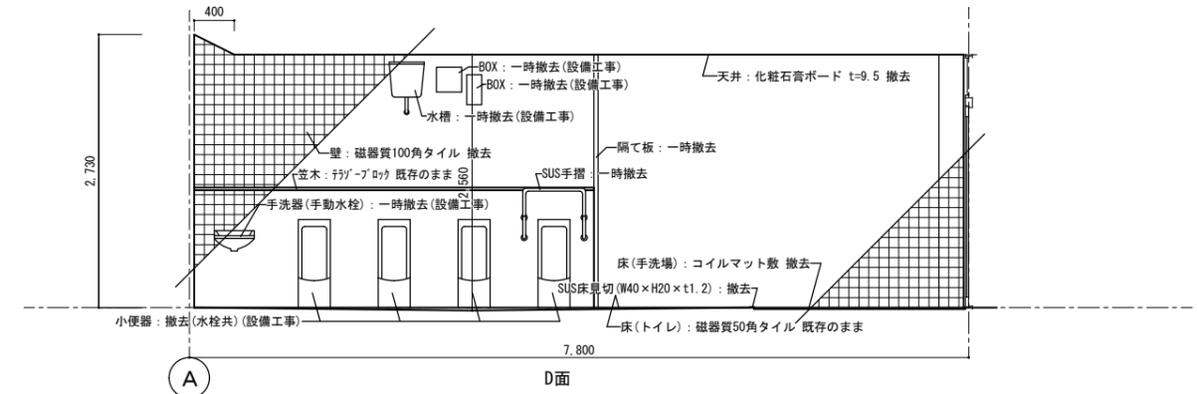
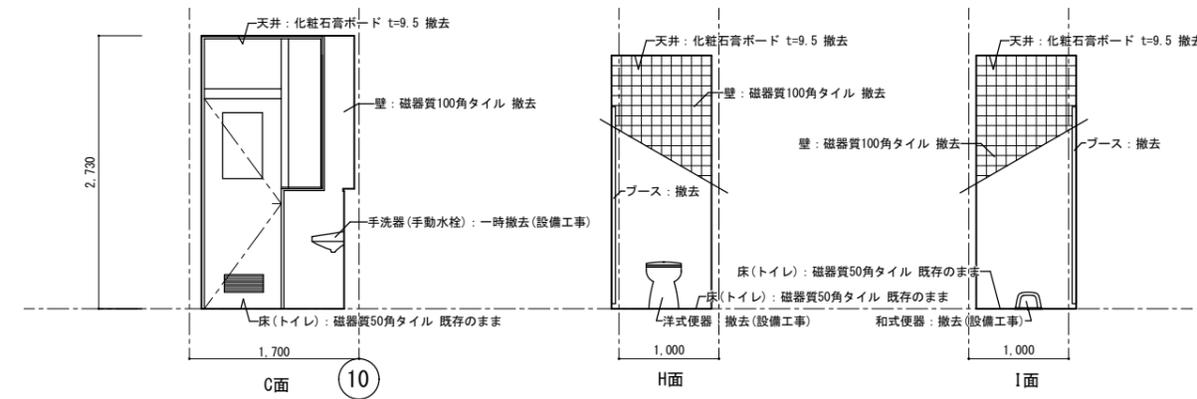
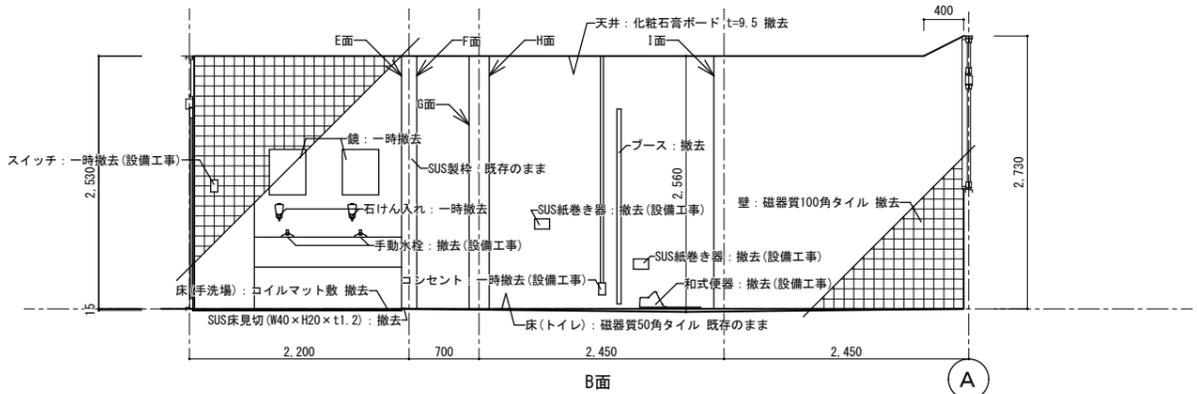
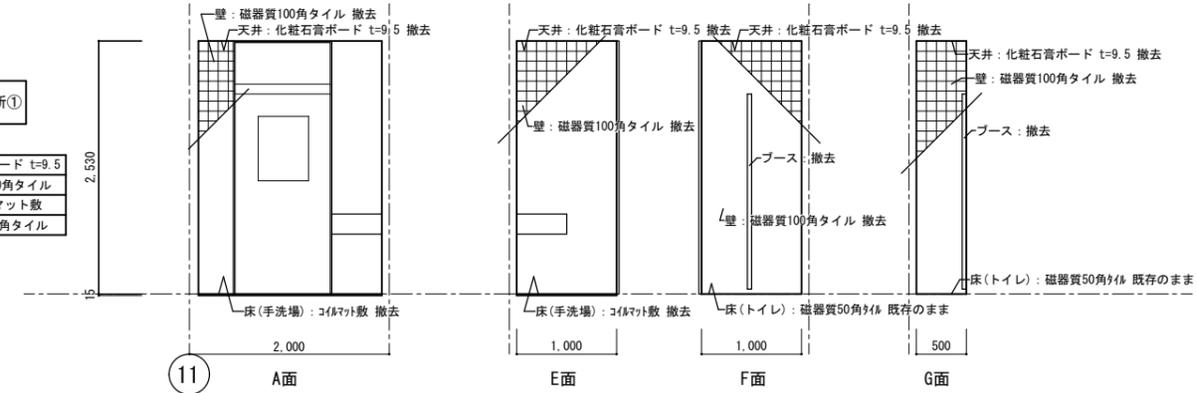
図面番号

18

1階男子便所① (改修前)

1階男子便所①

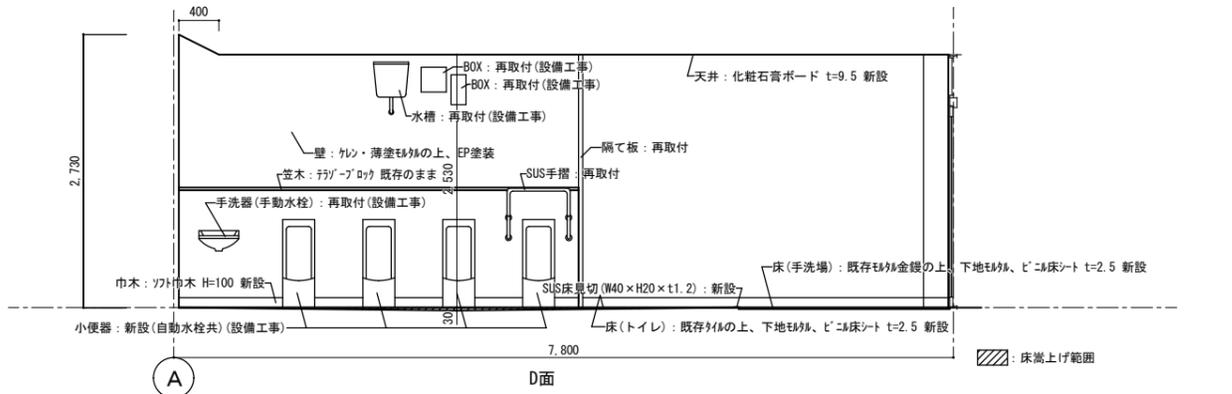
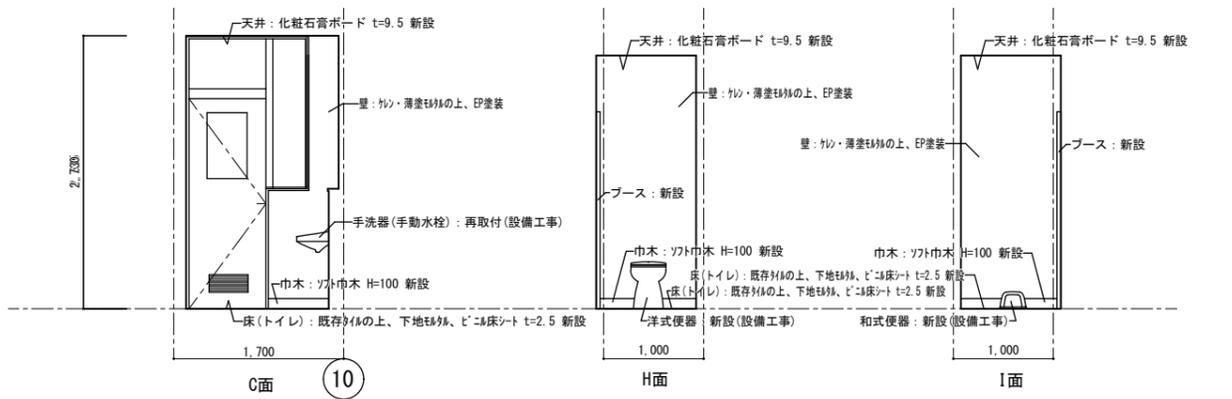
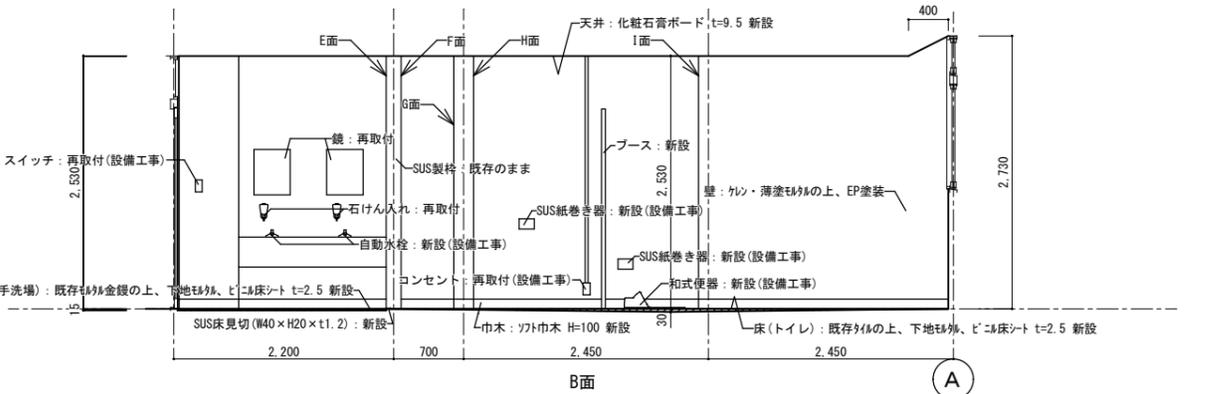
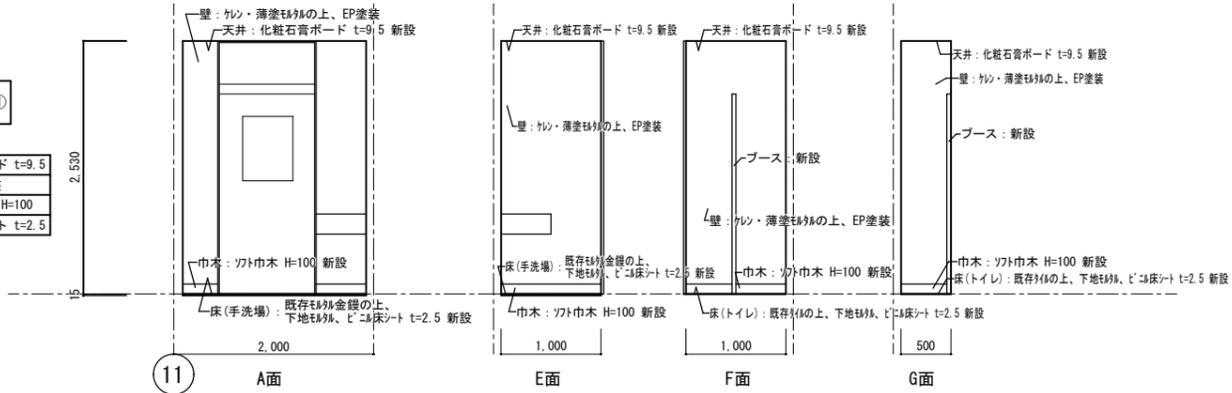
天井	化粧石膏ボード t=9.5
壁	磁器質100角タイル
床	磁器質50角タイル



1階男子便所① (改修後)

1階男子便所①

天井	化粧石膏ボード t=9.5
壁	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=100
床	ビニル床シート t=2.5



床嵩上げ範囲



有限会社 谷口設計事務所

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成
〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

工事名称
高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称
1階男子便所① 展開図

縮尺
1:50

設計
令和6年度

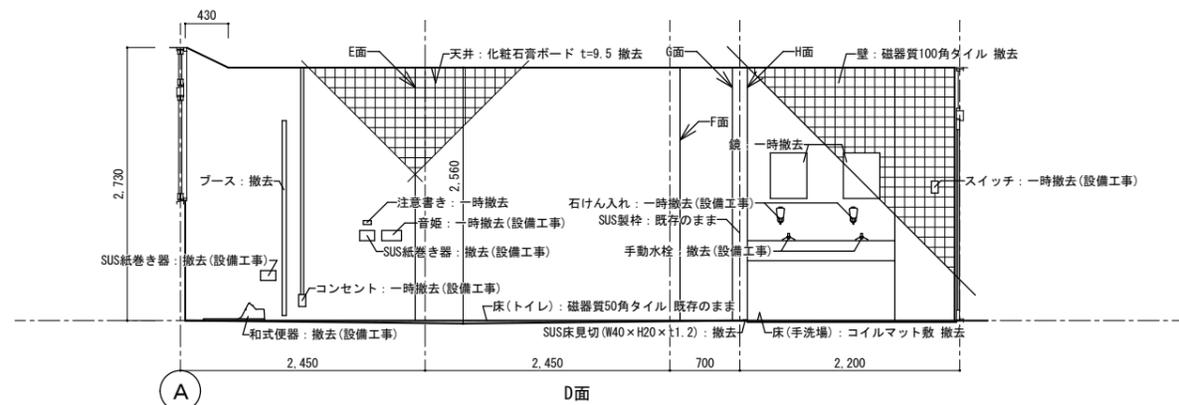
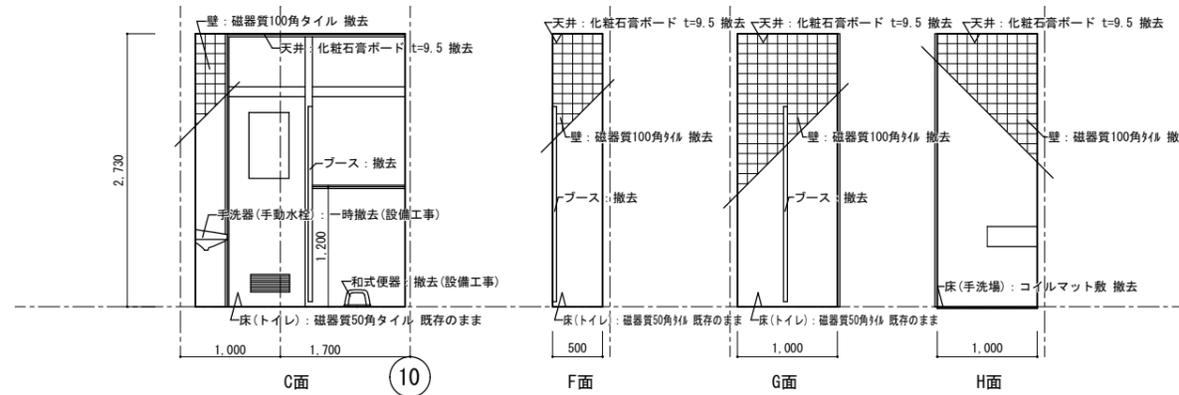
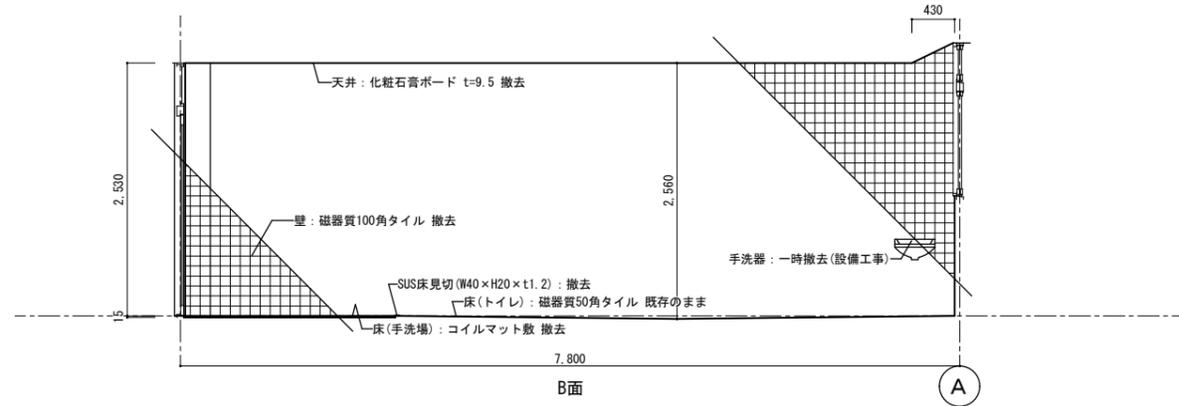
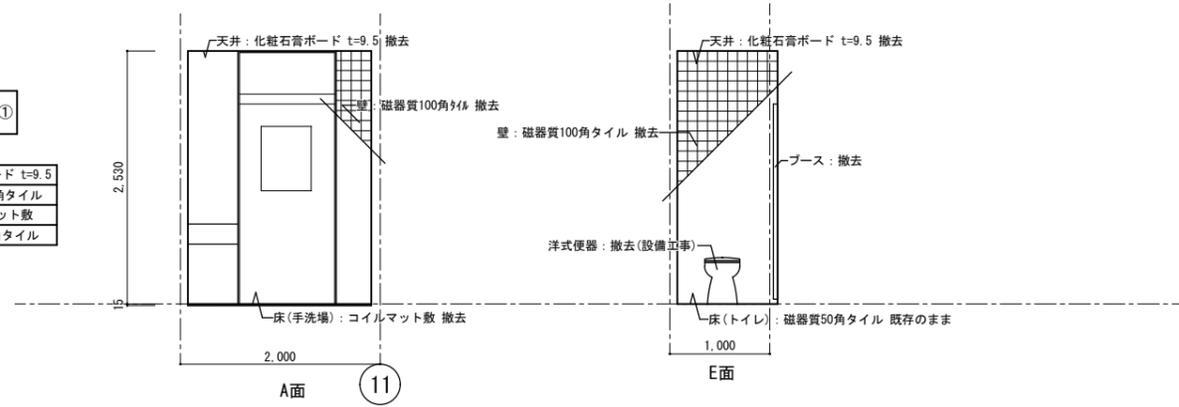
種別
A

図面番号
19

1階女子便所① (改修前)

1階女子便所①

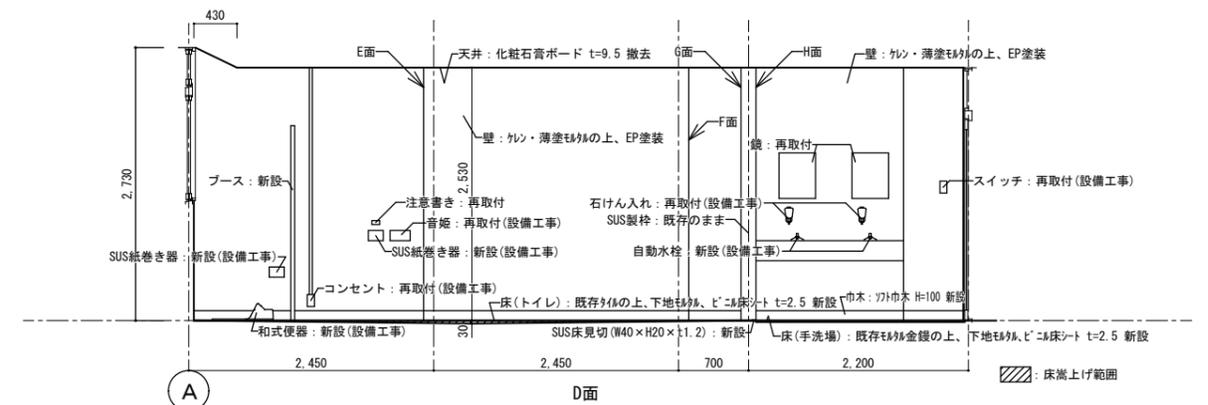
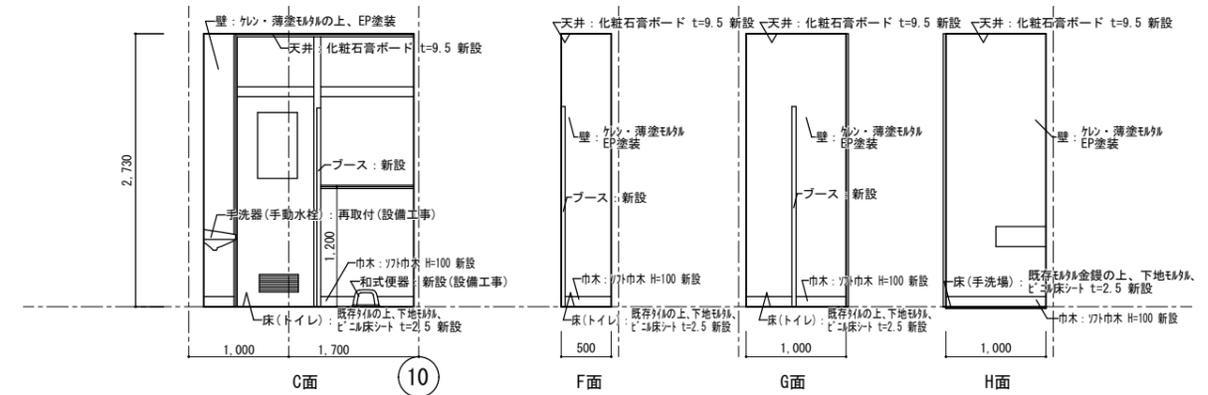
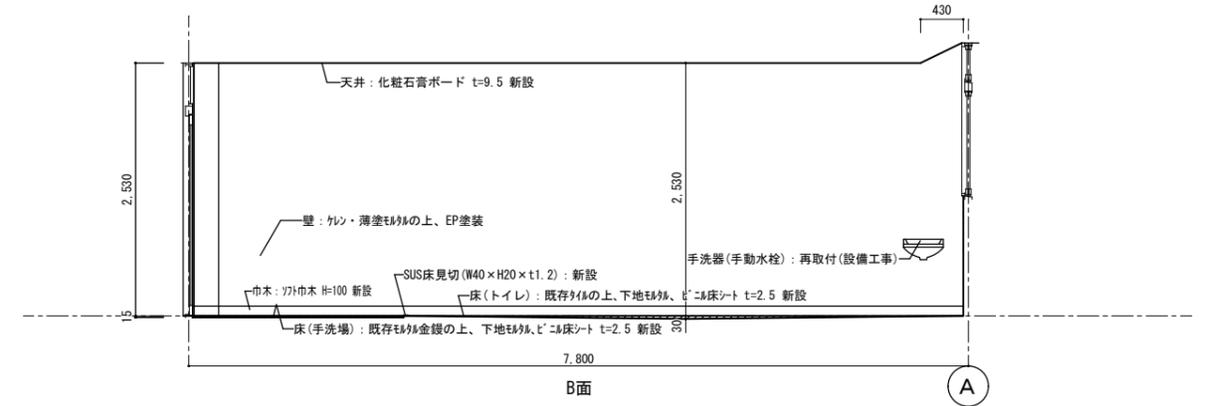
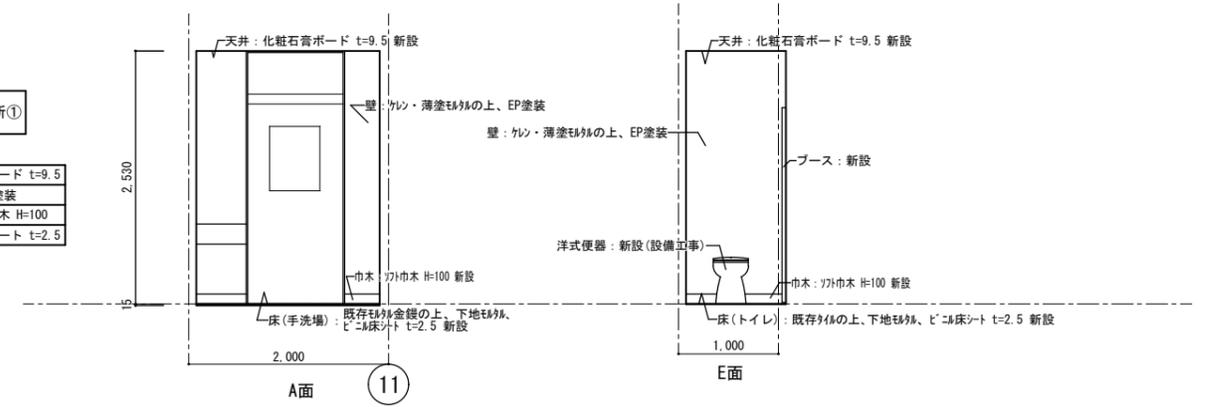
天井	化粧石膏ボード t=9.5
壁	磁器質100角タイル
巾木	コイルマット敷
床	磁器質50角タイル



1階女子便所① (改修後)

1階女子便所①

天井	化粧石膏ボード t=9.5
壁	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=100
床	ビニル床シート t=2.5



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

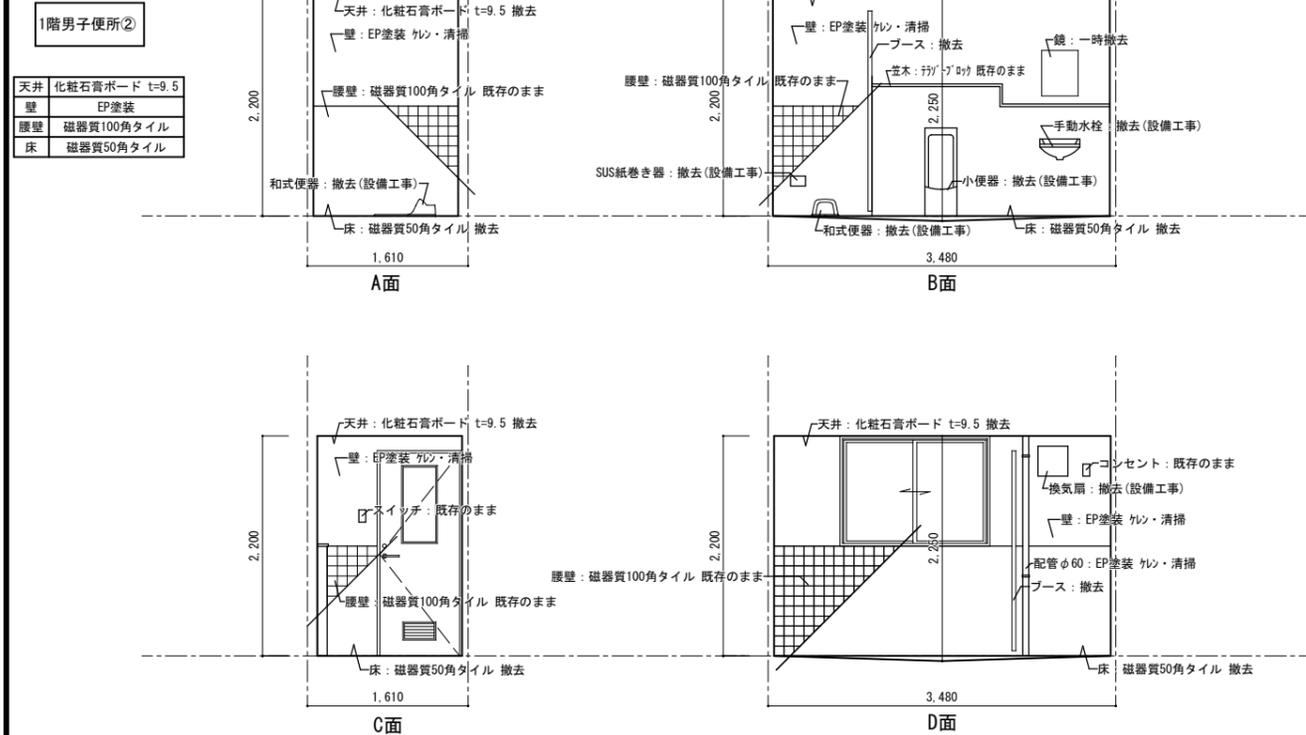
図面名称

1階女子便所① 展開図

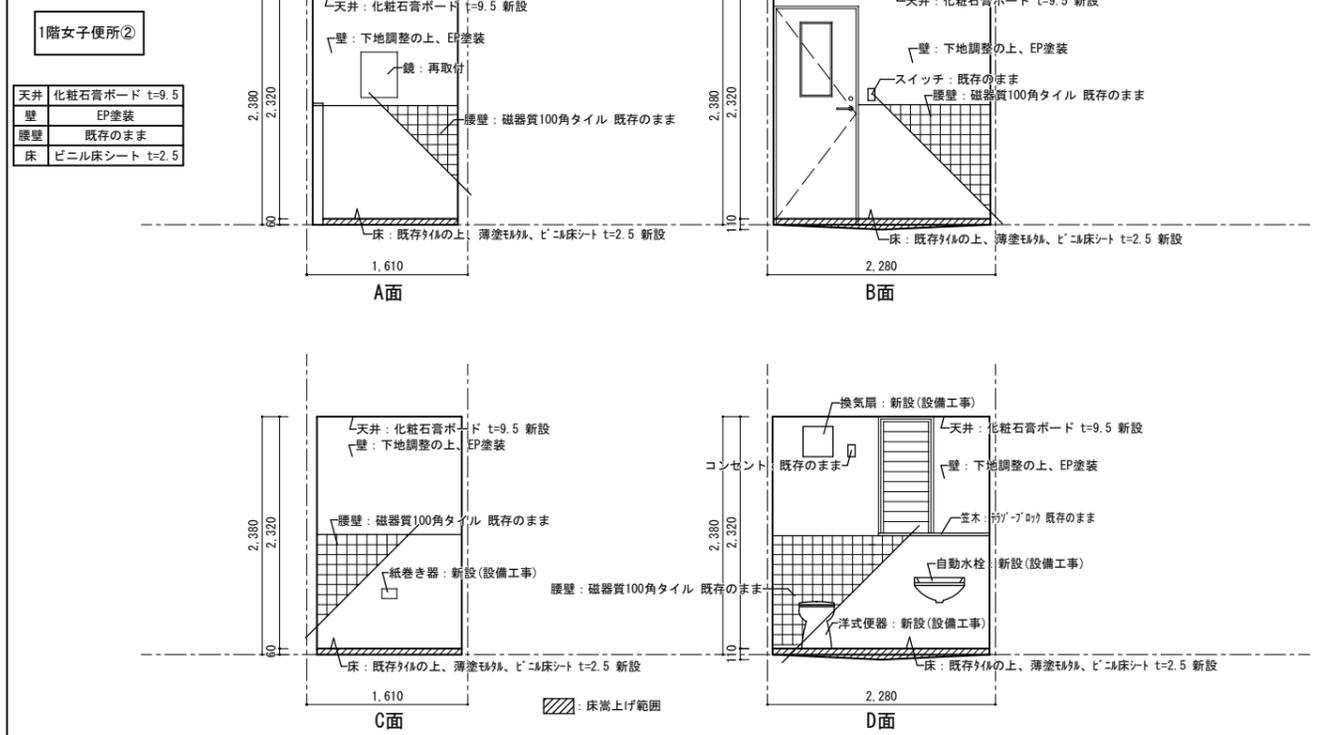
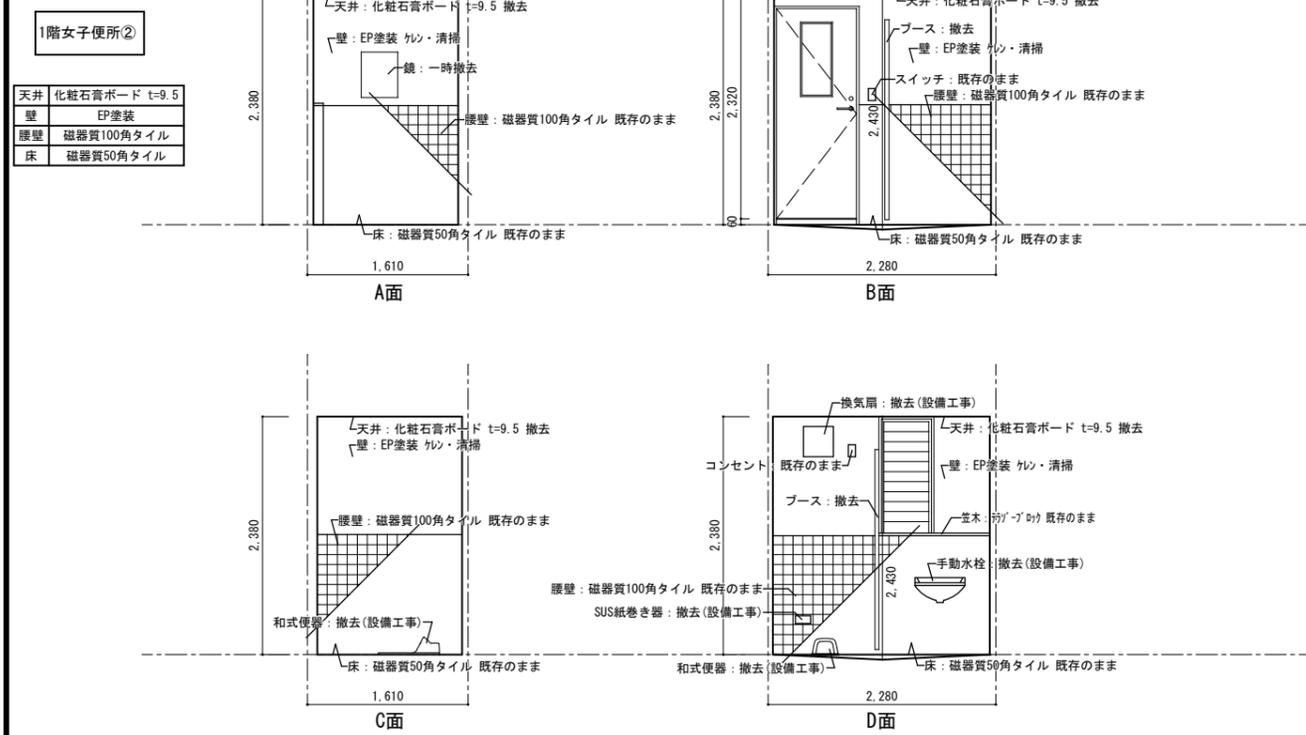
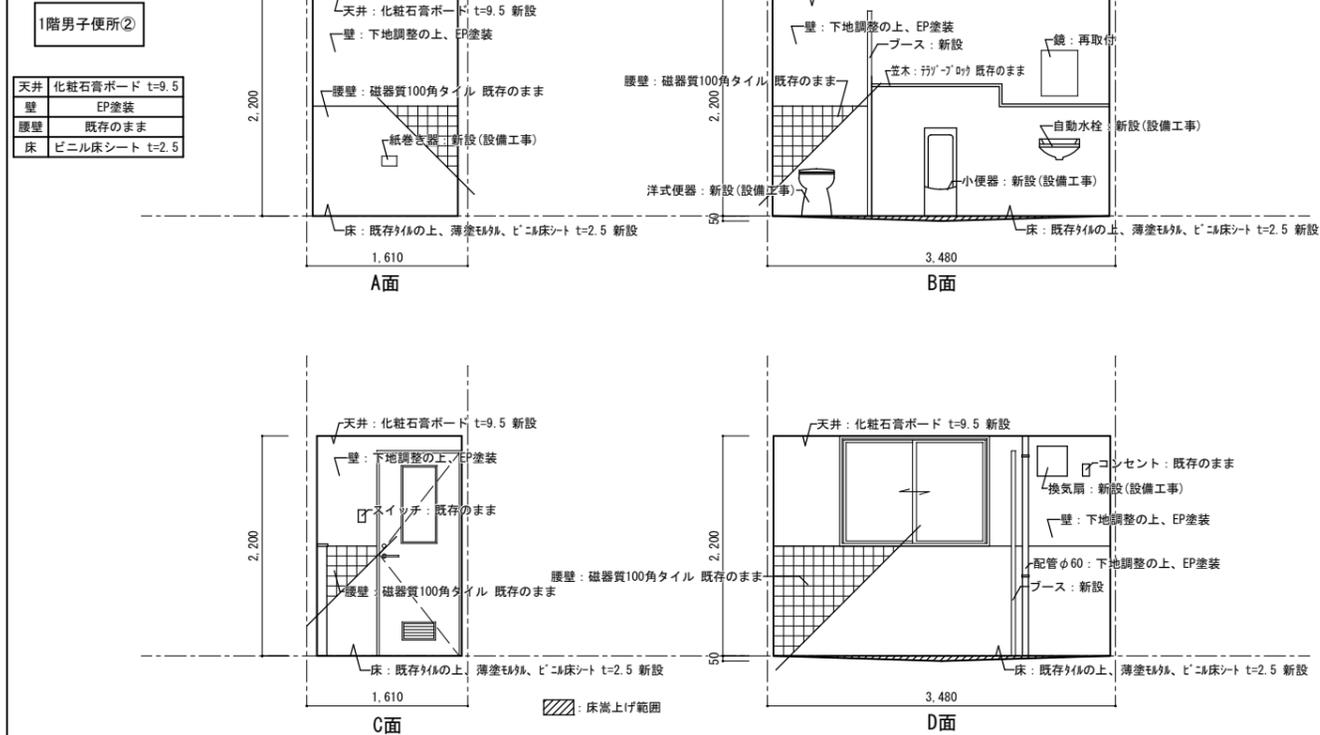
縮尺 1:50
設計 令和6年度

種別 A
図面番号 20

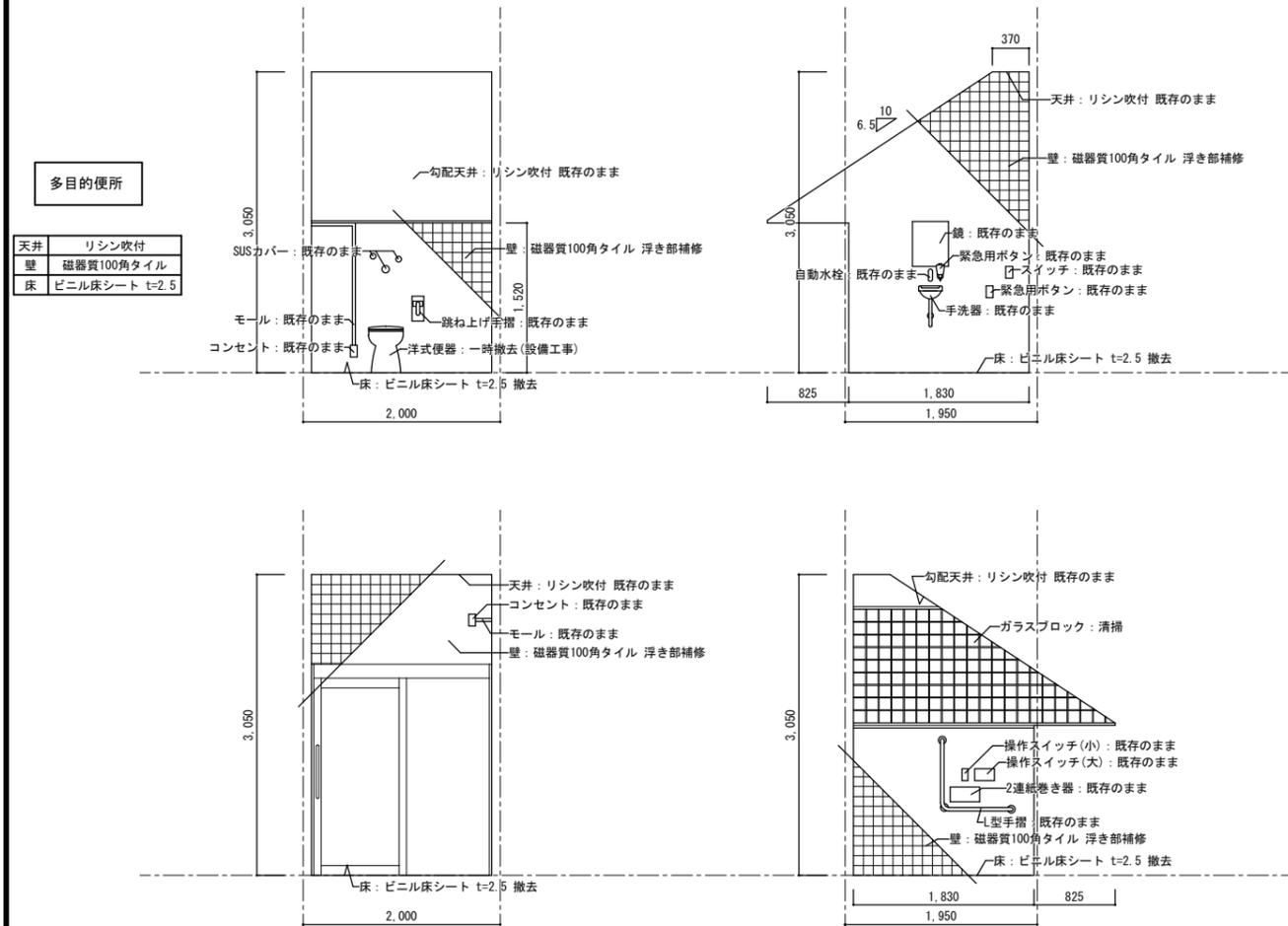
1階男子便所②・1階女子便所② (改修前)



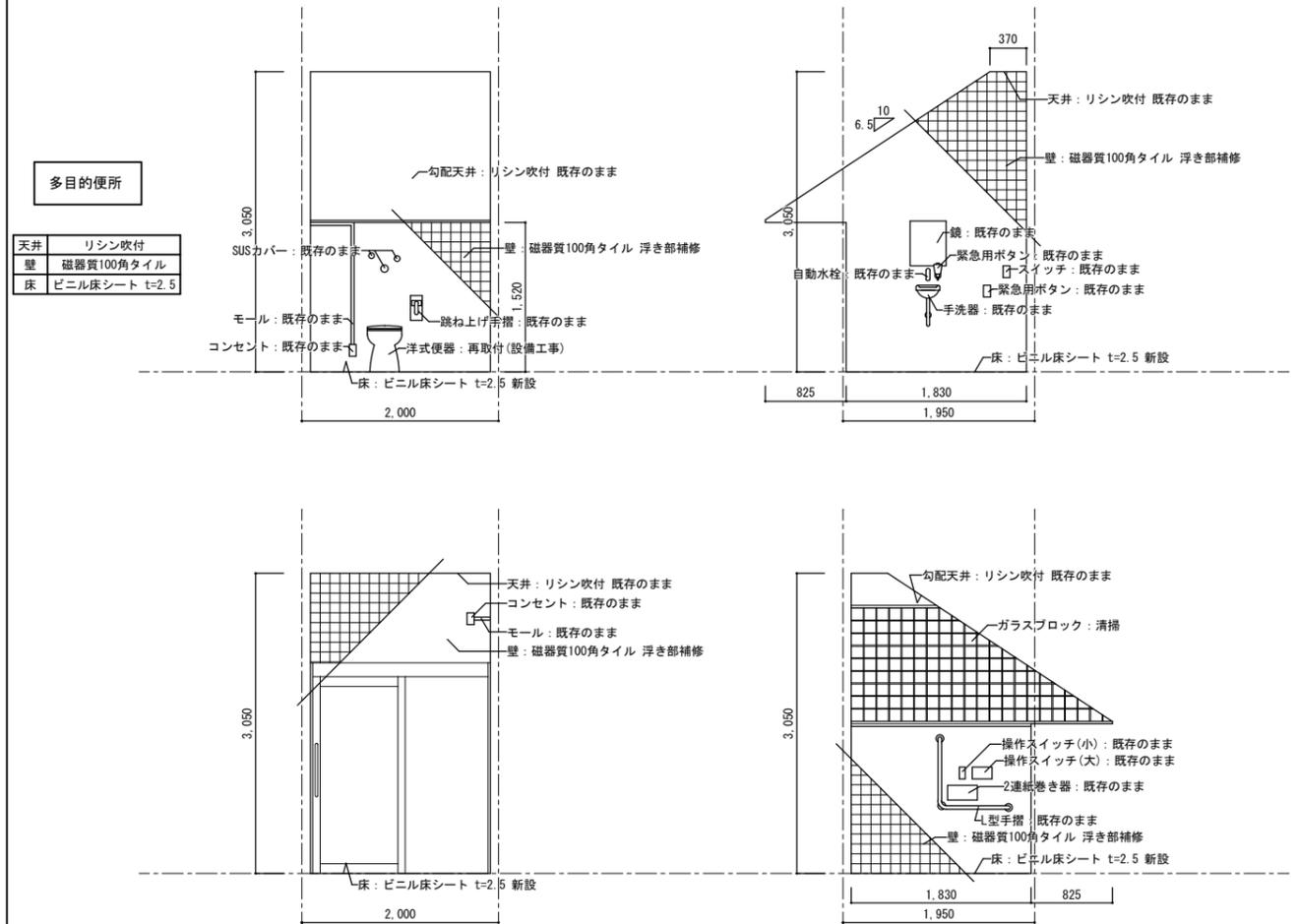
1階男子便所②・1階女子便所② (改修後)



多目的便所 (改修前)



多目的便所 (改修後)



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

多目的便所 展開図

縮尺

1:50

設計

令和6年度

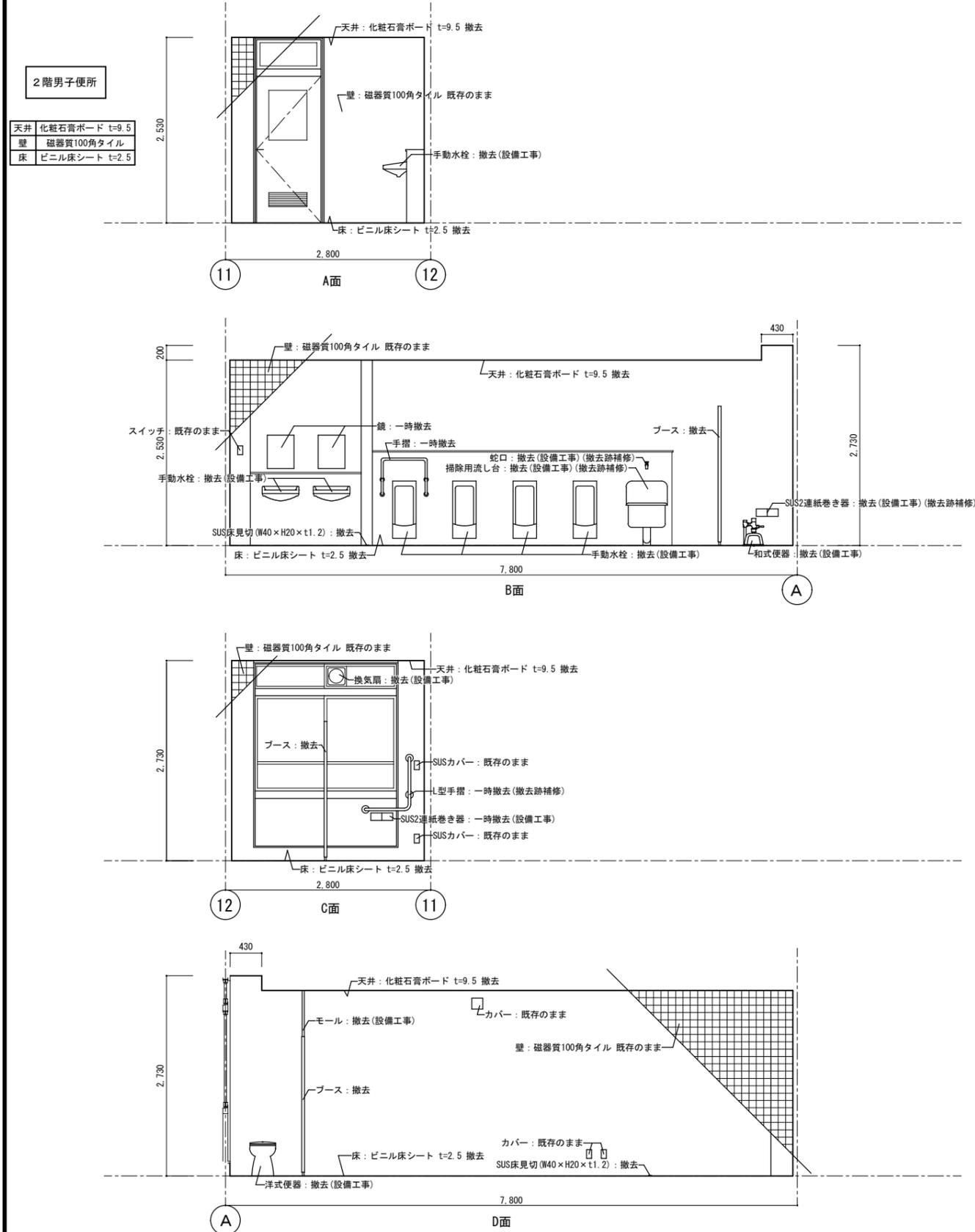
種別

A

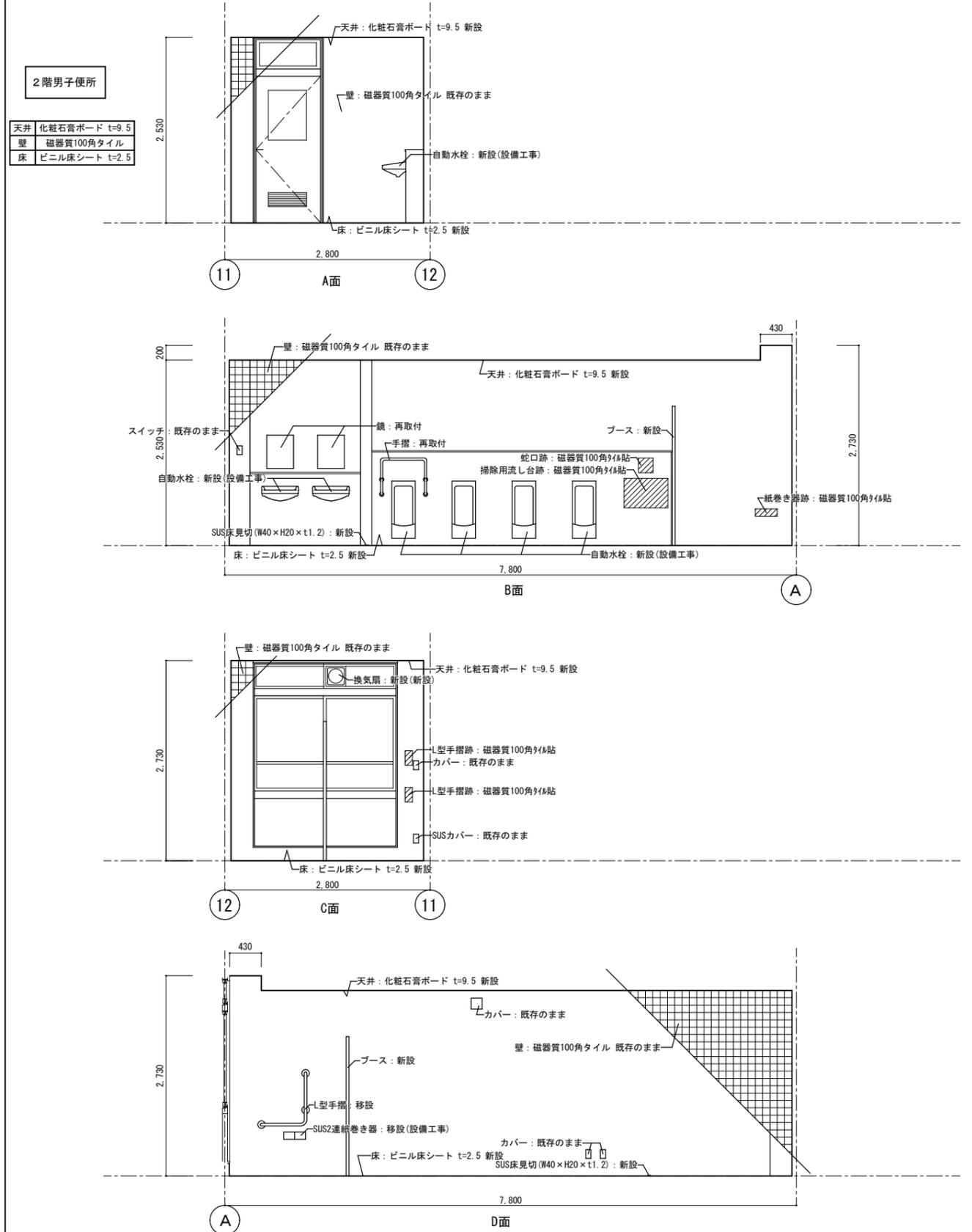
図面番号

22

2階男子便所 (改修前)



2階男子便所 (改修後)



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

2階男子便所 展開図

縮尺

1:50

設計

令和6年度

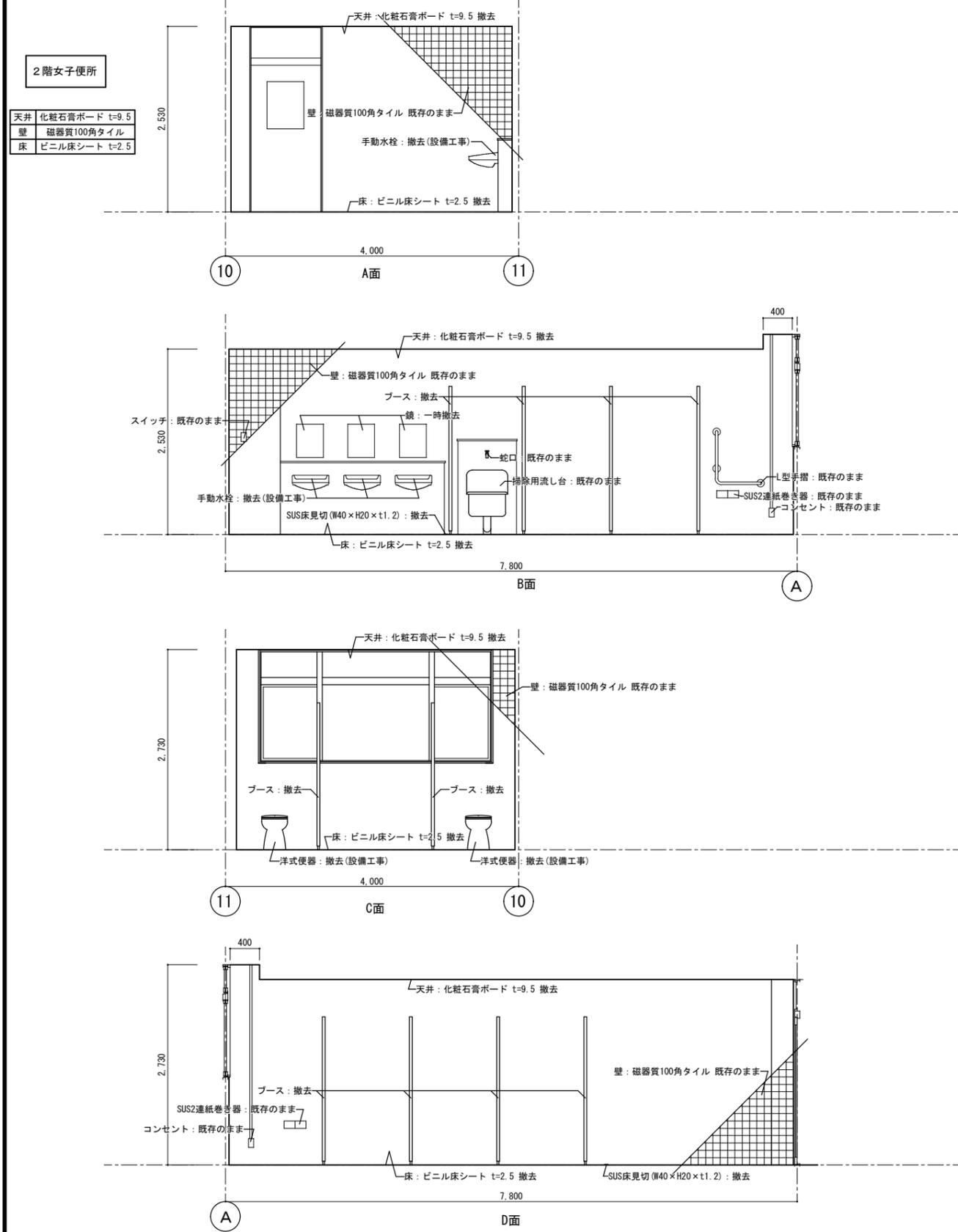
種別

A

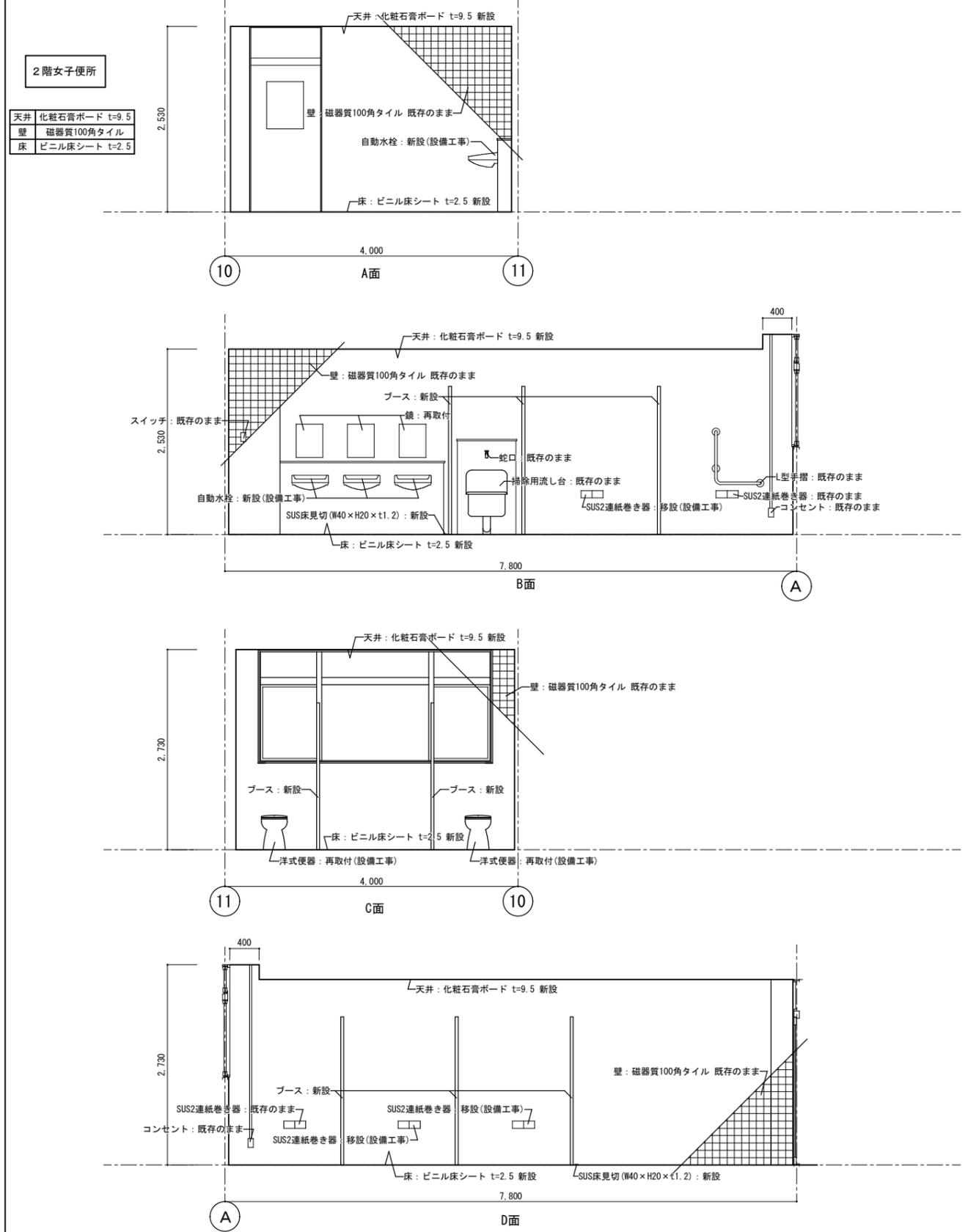
図面番号

23

2階女子便所 (改修前)



2階女子便所 (改修後)



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

2階女子便所 展開図

縮尺

1:50

設計

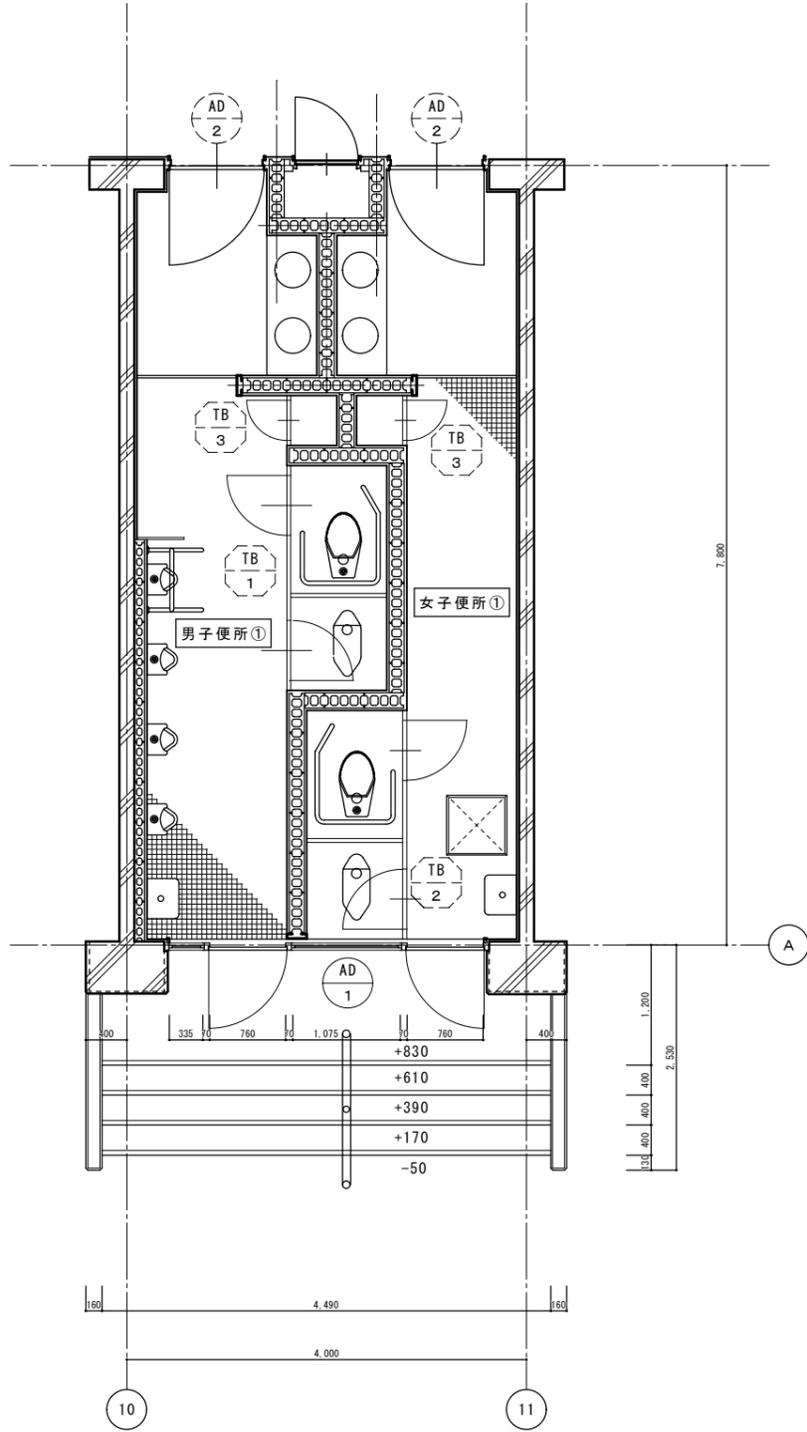
令和6年度

種別

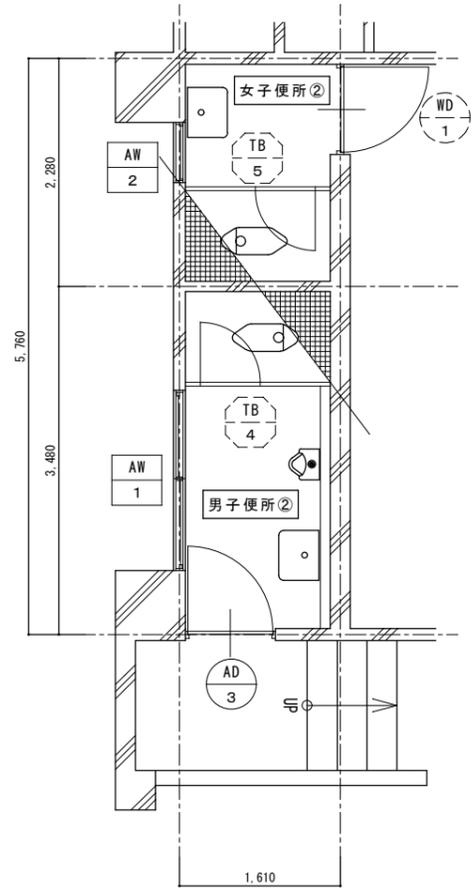
A

図面番号

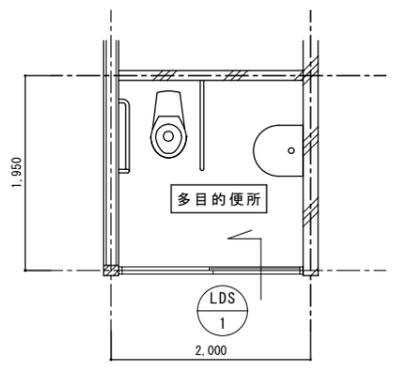
24



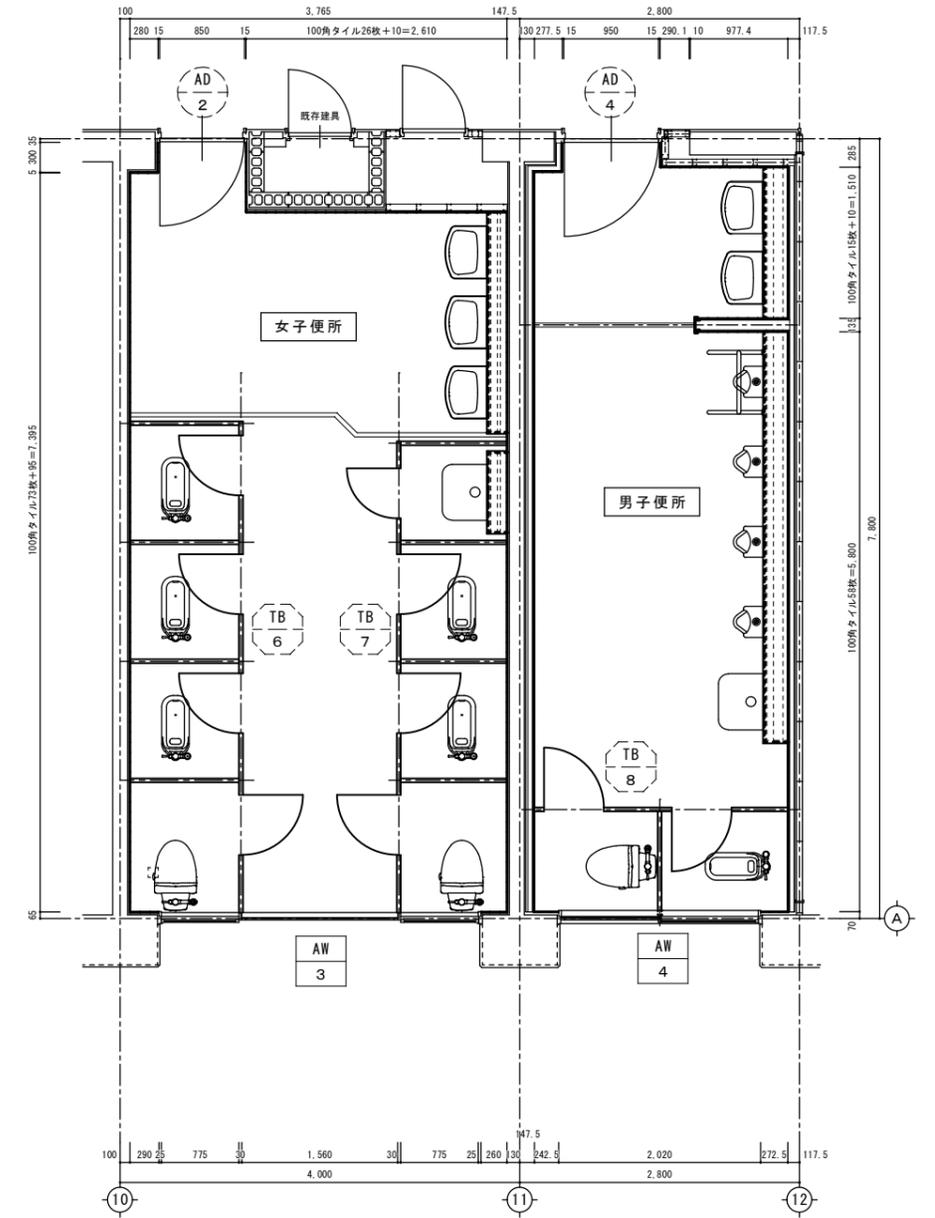
1階便所①建具配置図 (改修前) S=1:50



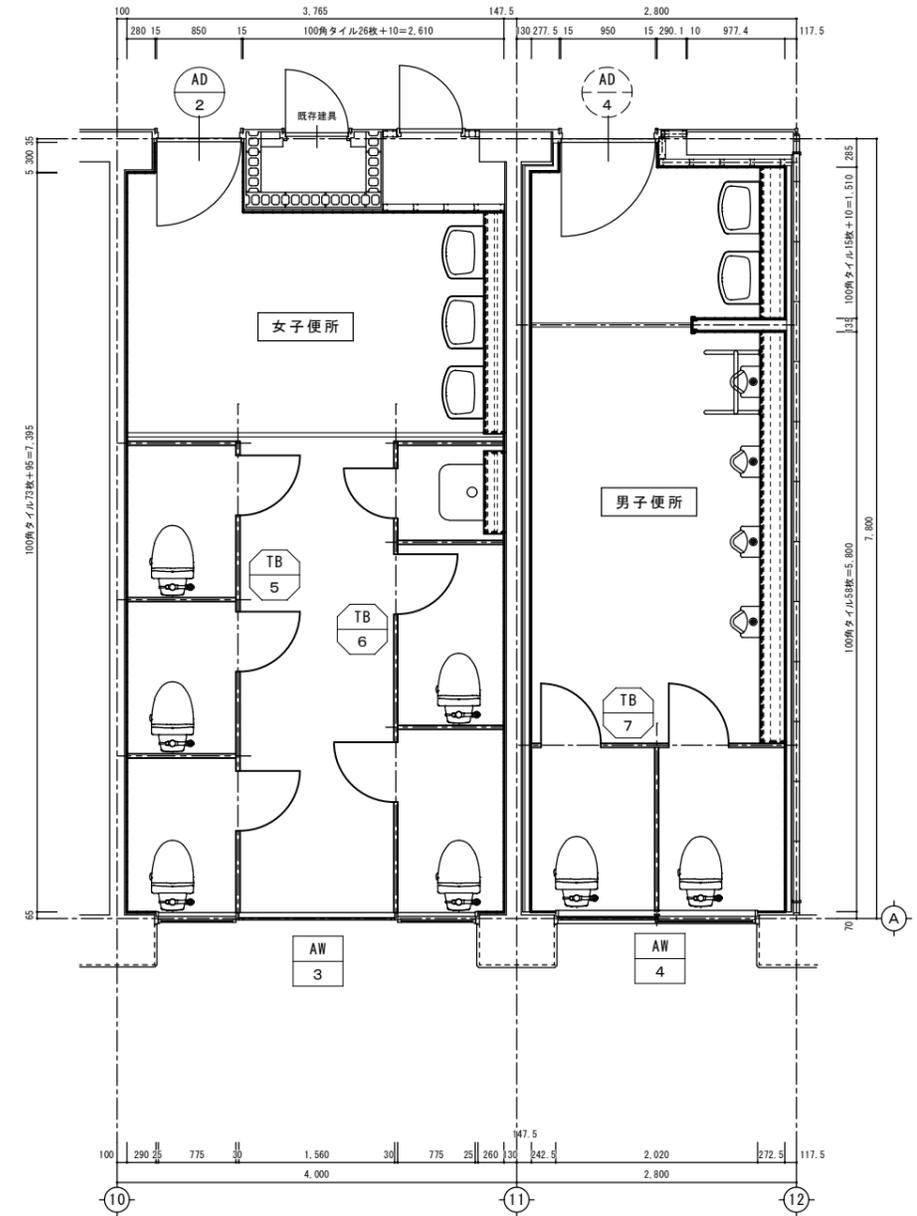
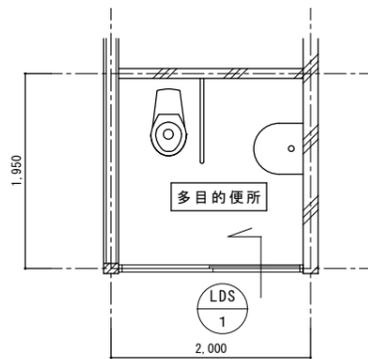
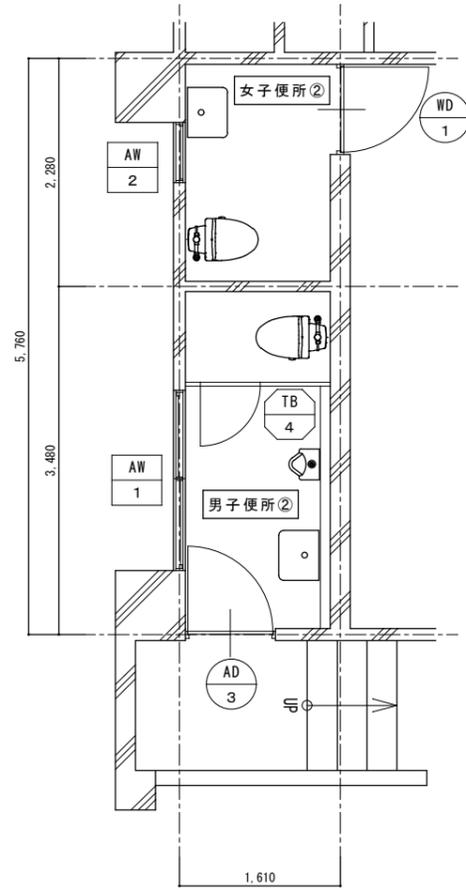
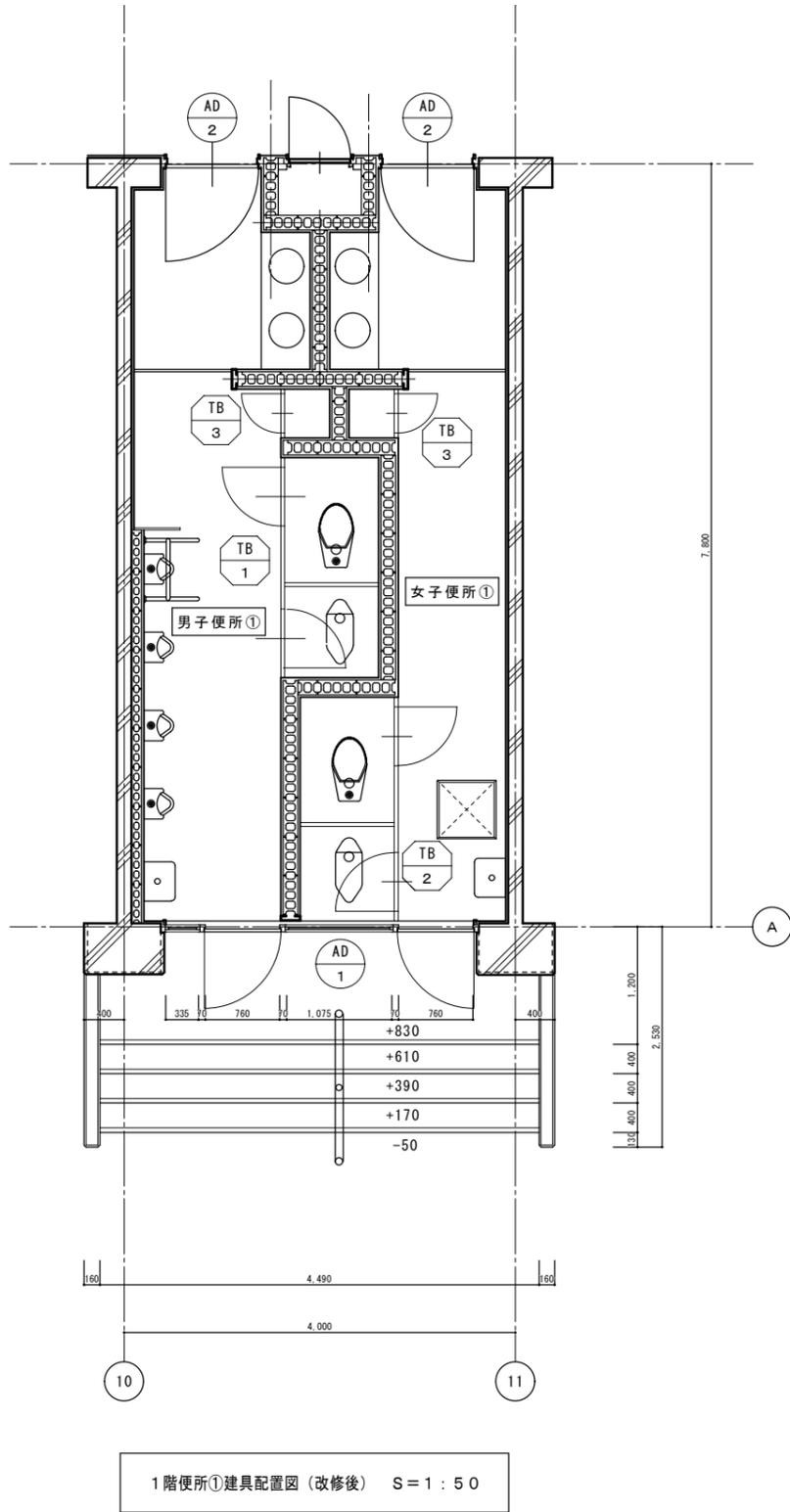
1階便所②建具配置図 (改修前) S=1:50



多目的便所建具配置図 (改修前) S=1:50



2階便所建具配置図 (改修前) S=1:50



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

改修後建具配置図

縮尺

1:50

設計

令和6年度

種別

A

図面番号

26

記号	AW 1	引違窓 1ヶ所	AW 2	ルーバー窓 1ヶ所	AW 3	FIX窓 1ヶ所	AW 4	FIX窓 1ヶ所		
姿図										
材質・場所	アルミサッシ	1階男子便所②	アルミサッシ	1階女子便所②	アルミサッシ	2階女子便所	アルミサッシ	2階男子便所		
見込	70		70		70		70			
付属金物	クレセント 付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式			
ガラス	型板ガラス 4MM				型板ガラス 4MM パネル 3MM		型板ガラス 4MM パネル 3MM			
塗装					シルバー艶ナシ		シルバー艶ナシ			
備考	清掃		清掃		清掃		清掃 パネル：一部撤去(斜線部分)			
記号	AD 1	片開きドア+引違窓 1ヶ所	AD 2	片開きドア 3ヶ所	AD 3	片開きドア 1ヶ所	AD 4	ランマ付き片開きドア 1ヶ所	LDS 1	片引きドア 1ヶ所
姿図										
材質・場所	アルミサッシ	1階男子・女子便所①	アルミサッシ	1階男子・女子便所① 2階女子便所	アルミサッシ	1階男子便所②	アルミサッシ	2階男子便所	LDS	多目的便所
見込	70		70		70		70		70	
付属金物	クレセント レバーハンドル シリンダー錠 付属金物一式 アルミ額縁		付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式 アルミ額縁		レバーハンドル 付属金物一式 アルミ額縁		付属金物一式	
ガラス	強化ガラス 5MM パネル3MM フィルム貼(ルーチェ)		型板ガラス 4MM		型板ガラス 4MM		型板ガラス 4MM		パネル 3MM	
塗装	シルバー艶ナシ SGコート同等品						シルバー艶ナシ SGコート同等品			
備考	清掃		枠：既存のまま 戸：撤去 ガラリ：清掃・防虫ネット取替		清掃		枠：既存のまま 戸：撤去		戸：表示錠新設 枠：既存のまま	
記号	WD 1	片開きドア 1ヶ所								
姿図										
材質・場所	木製	1階女子便所②								
見込	70									
付属金物	レバーハンドル シリンダー錠 付属金物一式									
ガラス	型板ガラス 4MM									
塗装										
備考	枠：既存のまま 戸：撤去									



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

改修前建具表1

縮尺

1:50

設計

令和6年度

種別

A

図面番号

27

記号	(TB) 1 トイレブース 1ヶ所	(TB) 2 トイレブース 1ヶ所	(TB) 3 トイレブース 2ヶ所
姿図			
材質・場所	メラミン化粧板 1階男子便所①	メラミン化粧板 1階女子便所①	メラミン化粧板 1階男子・女子便所①
見込	40	40	40
付属金物	表示錠付ドアノブ 丁番 戸当たり	表示錠付ドアノブ 丁番 戸当たり	ドアノブ 丁番 戸当たり
ガラス			
塗装			
備考	撤去	撤去	撤去
記号	(TB) 4 トイレブース 1ヶ所	(TB) 5 トイレブース 1ヶ所	(TB) 6 トイレブース 1ヶ所
姿図			
材質・場所	木製 1階男子便所②	木製 1階女子便所②	メラミン化粧板 2階女子便所
見込	40	40	40
付属金物	表示錠 戸当たり	表示錠 戸当たり	表示錠 丁番 戸当たり
ガラス			
塗装			
備考	撤去	撤去	撤去
記号	(TB) 7 トイレブース 1ヶ所	(TB) 8 トイレブース 1ヶ所	
姿図			
材質・場所	メラミン化粧板 2階女子便所	メラミン化粧板 2階男子便所	
見込	40	40	
付属金物	表示錠 丁番 戸当たり	表示錠 丁番 戸当たり	
ガラス			
塗装			
備考	撤去	撤去	



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

改修前建具表2

縮尺

1:50

設計

令和6年度

種別

A

図面番号

28

記号	AW 1	引違窓 1ヶ所	AW 2	ルーバー窓 1ヶ所	AW 3	FIX窓 1ヶ所	AW 4	FIX窓 1ヶ所	
図面									
材質・場所	アルミサッシ	1階男子便所②	アルミサッシ	1階女子便所②	アルミサッシ	2階女子便所	アルミサッシ	2階男子便所	
見込	70		70		70		70		
付属金物	クレスント 付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		
ガラス	型板ガラス 4MM				型板ガラス 4MM		型板ガラス 4MM		
塗装					シルバー艶ナシ		シルバー艶ナシ		
備考	清掃		清掃		清掃		清掃 ガラス：一部新設(斜線部分)		
記号	AD 1	片開きドア+引違窓 1ヶ所	AD 2	片開きドア 3ヶ所	AD 3	片開きドア 1ヶ所	AD 4	ランマ付き片開きドア 1ヶ所	LDS 1
図面									
材質・場所	アルミサッシ	1階男子・女子便所①	アルミサッシ	1階男子・女子便所① 2階女子便所	アルミサッシ	1階男子便所②	アルミサッシ	2階男子便所	LDS 多目的便所
見込	70		70		70		70		70
付属金物	クレスント レバーハンドル シリゲ-錠 付属金物一式 アルミ額縁		付属金物一式		レバーハンドル 付属金物一式 アルミ額縁		レバーハンドル 付属金物一式 アルミ額縁		表示錠 付属金物一式
ガラス	強化ガラス 5MM パネル3MM フィルム貼(ルーチェ)		型板ガラス 4MM		型板ガラス 4MM		型板ガラス 4MM		
塗装	シルバー艶ナシ SGコート同等品						シルバー艶ナシ SGコート同等品		
備考	清掃		枠：既存のまま 戸：新設 ガラリ：清掃・防虫ネット取替		清掃		枠：既存のまま 戸：新設		枠：既存のまま 戸：表示錠新設
記号	WD 1	片開きドア 1ヶ所							
図面									
材質・場所	木製	1階女子便所②							
見込	70								
付属金物	レバーハンドル 表示錠 付属金物一式								
ガラス	型板ガラス 4MM								
塗装									
備考	枠：既存のまま 戸：新設								



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

改修後建具表1

縮尺

1:50

設計

令和6年度

種別

A

図面番号

29

記号	トイレブース 1ヶ所	トイレブース 1ヶ所	トイレブース 2ヶ所
姿図			
材質・場所	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板
見込	40	40	40
付属金物	表示錠付ドアノブ 丁番 戸当たり	表示錠付ドアノブ 丁番 戸当たり	ドアノブ 丁番 戸当たり
ガラス			
塗装			
備考	新設	新設	新設
記号	トイレブース 1ヶ所	トイレブース 1ヶ所	トイレブース 1ヶ所
姿図			
材質・場所	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板
見込	40	40	40
付属金物	表示錠 戸当たり	表示錠 丁番 戸当たり	表示錠 丁番 戸当たり
ガラス			
塗装			
備考	新設	新設	新設
記号	トイレブース 1ヶ所		
姿図			
材質・場所	メラミン化粧板		
見込	40		
付属金物	表示錠 丁番 戸当たり		
ガラス			
塗装			
備考	新設		



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

改修後建具表2

縮尺

1:50

設計

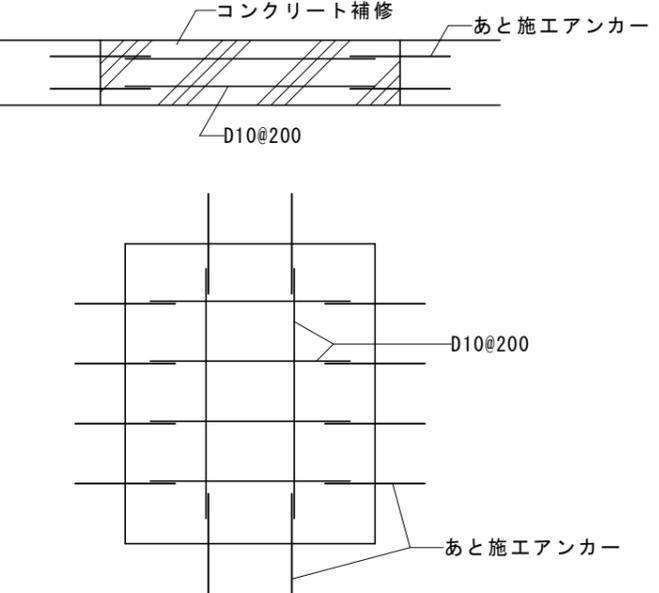
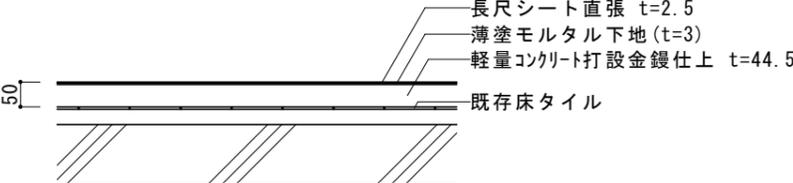
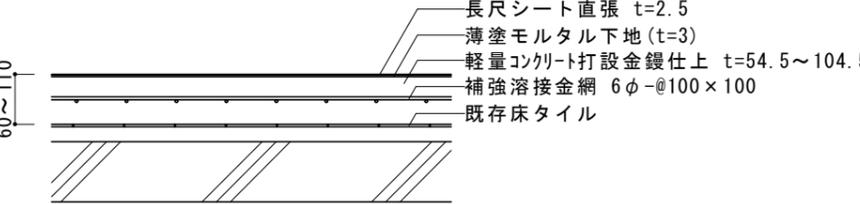
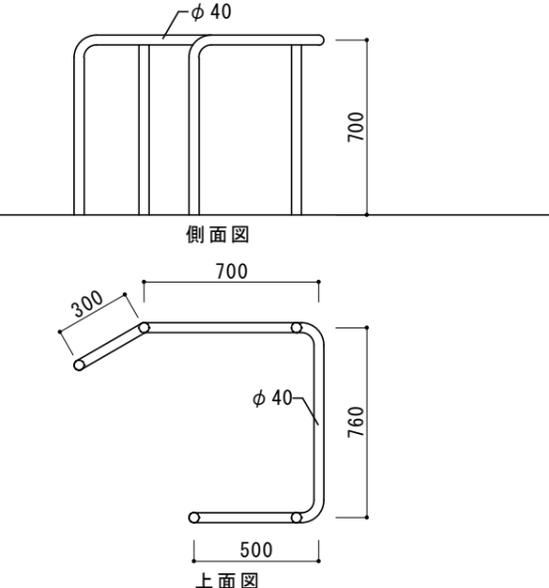
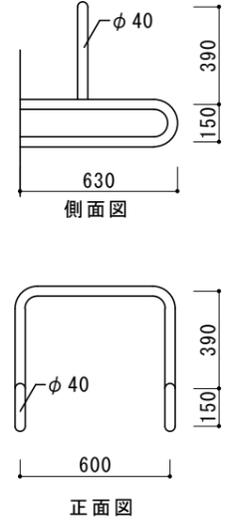
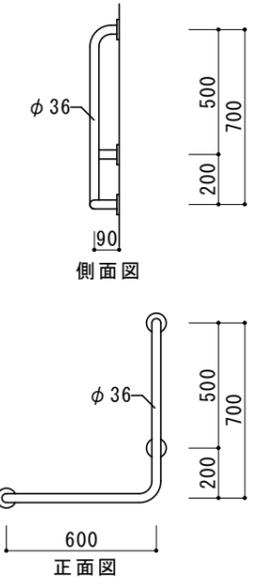
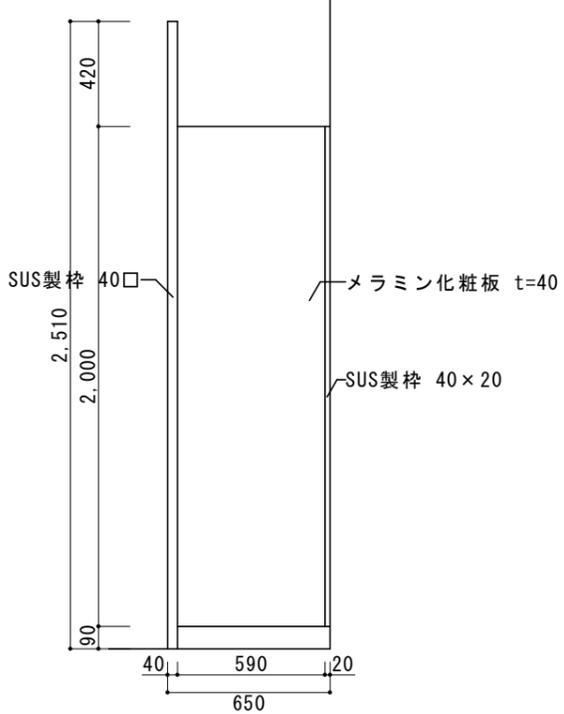
令和6年度

種別

A

図面番号

30

便所共通	1階男子便所②	1階女子便所②	
和式便器撤去跡補修・コンクリート補修	1/10 床嵩上げ部分	1/10 床嵩上げ部分	
 <p>※1階土間はシングル配筋とする。</p>			
1階男子・女子便所① 2ヶ所	1階男子便所①・2階男子便所 2ヶ所	2階男子・2階女子便所 3ヶ所	1階男子便所① 1ヶ所
洋式ブース内SUS製手摺 撤去	小便器用SUS製手摺 一時撤去・再取付	樹脂製L型手摺 一時撤去・移設・再取付	小便器横隔て板 一時撤去・再取付
			



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

部分詳細図1

縮尺

1:10
1:20

設計

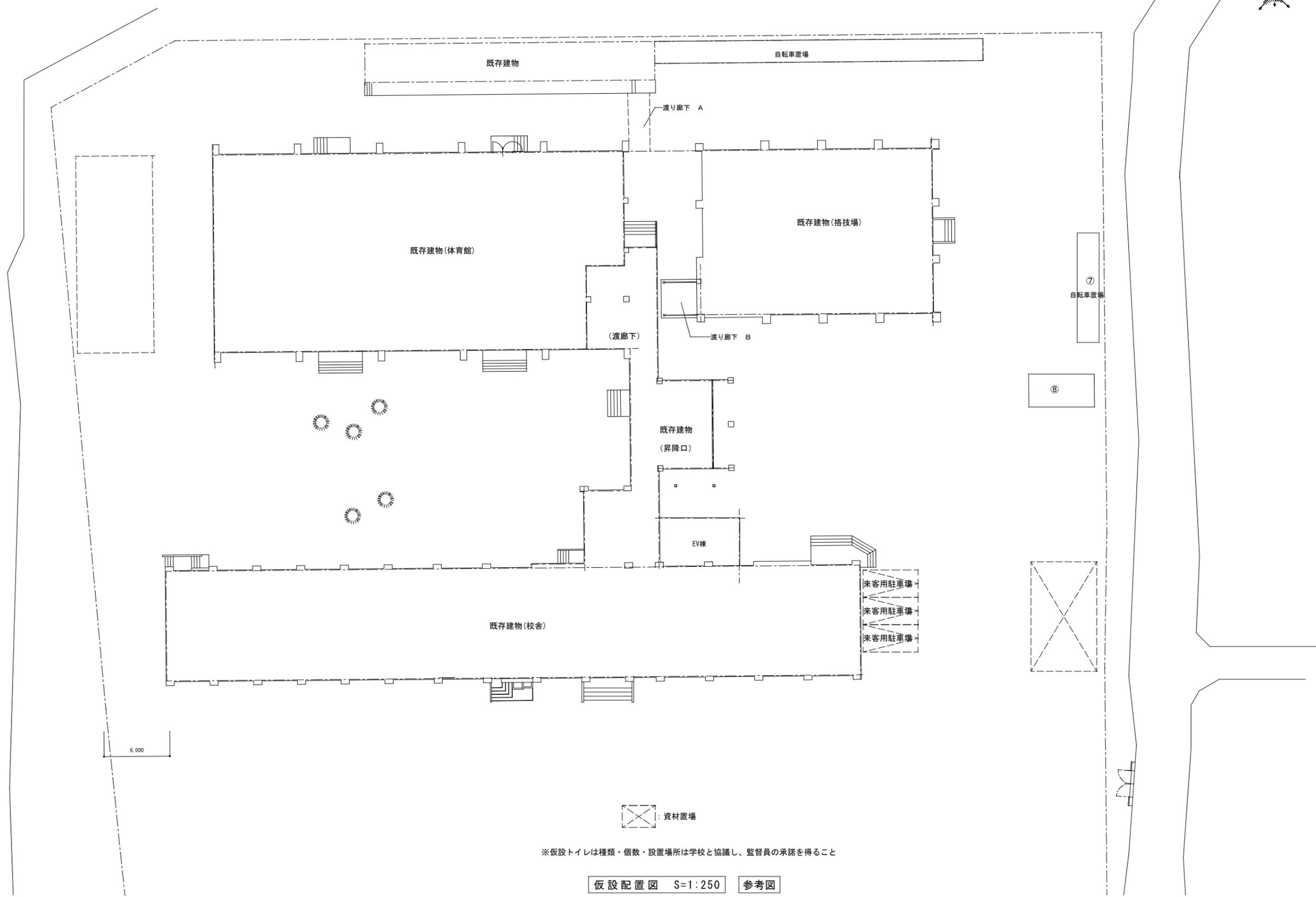
令和6年度

種別

A

図面番号

31



※仮設トイレは種類・個数・設置場所は学校と協議し、監督員の承諾を得ること

仮設配置図 S=1:250

参考図



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 Ⅱ (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

仮設配置図 (参考図)

縮尺

1:250

設計

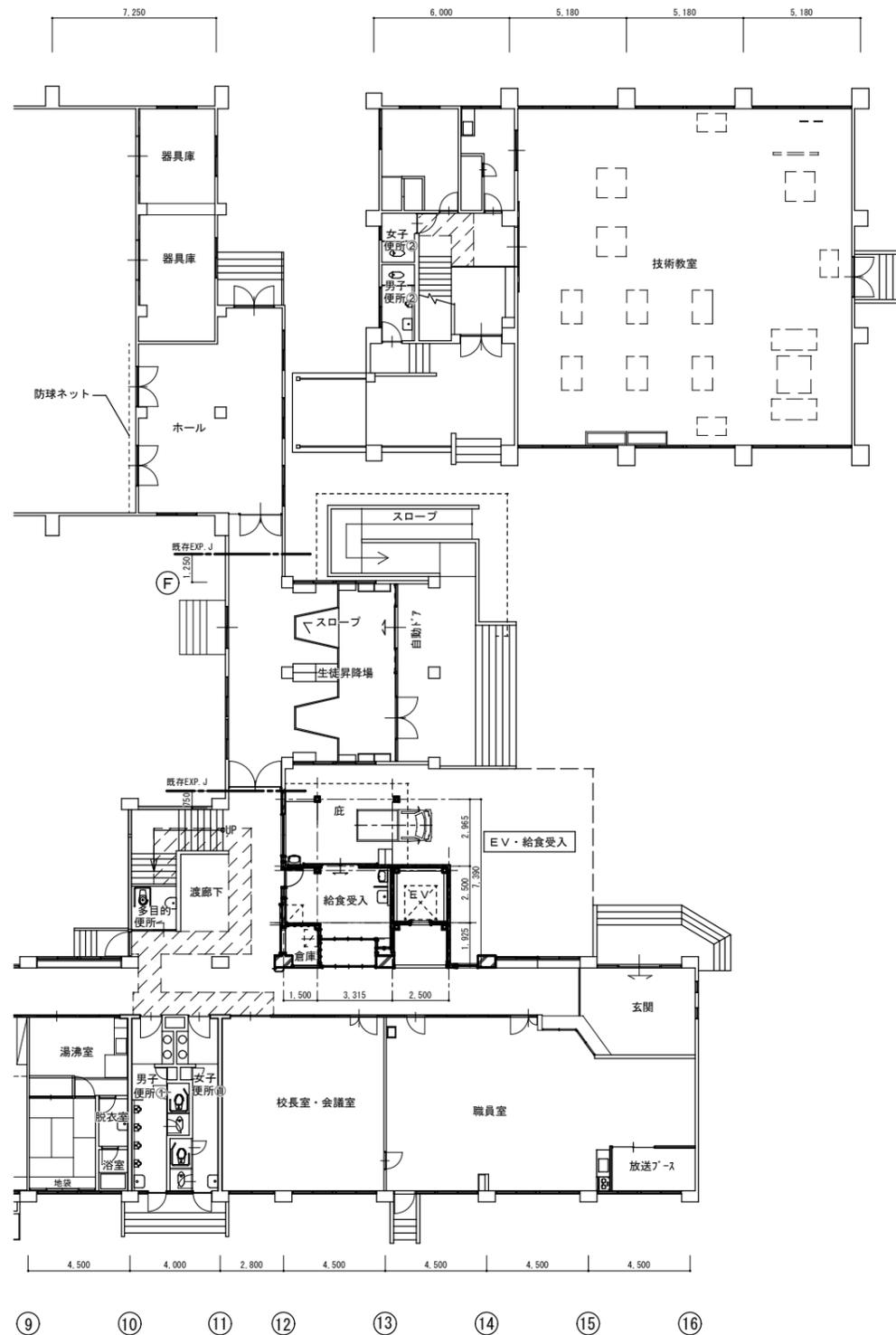
令和6年度

種別

A

図面番号

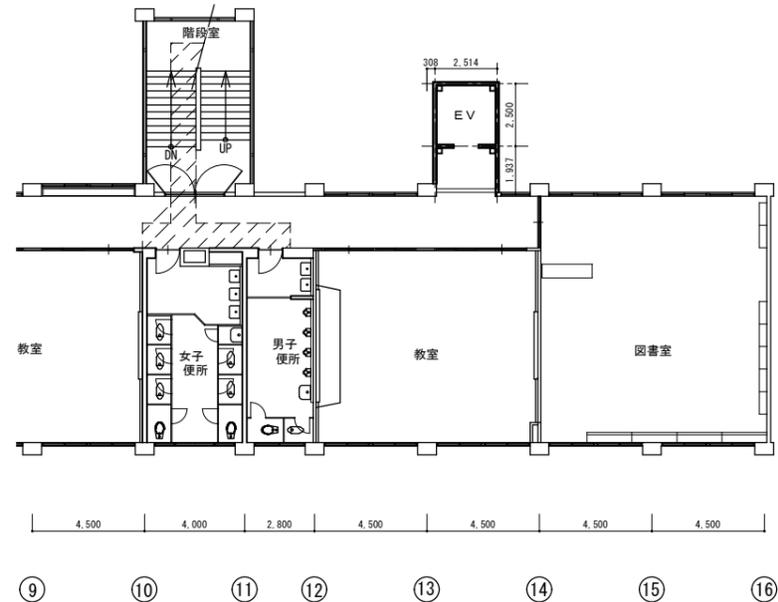
32



仮設1階平面図 S=1:200

養生シート(工事用通路)

※工事用通路は生徒動線と重なるので、登下校及び休憩時には資材運搬を行わない。
 ※工事用通路の材料運搬時間は学校側と調整の上、監督員の承諾を得ること。
 ※工事用通路の使用にあたっては生徒に十分注意し、養生清掃を行うこと。



仮設2階平面図 S=1:200

参考図



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

仮設平面図(参考図)

縮尺

1:200

設計

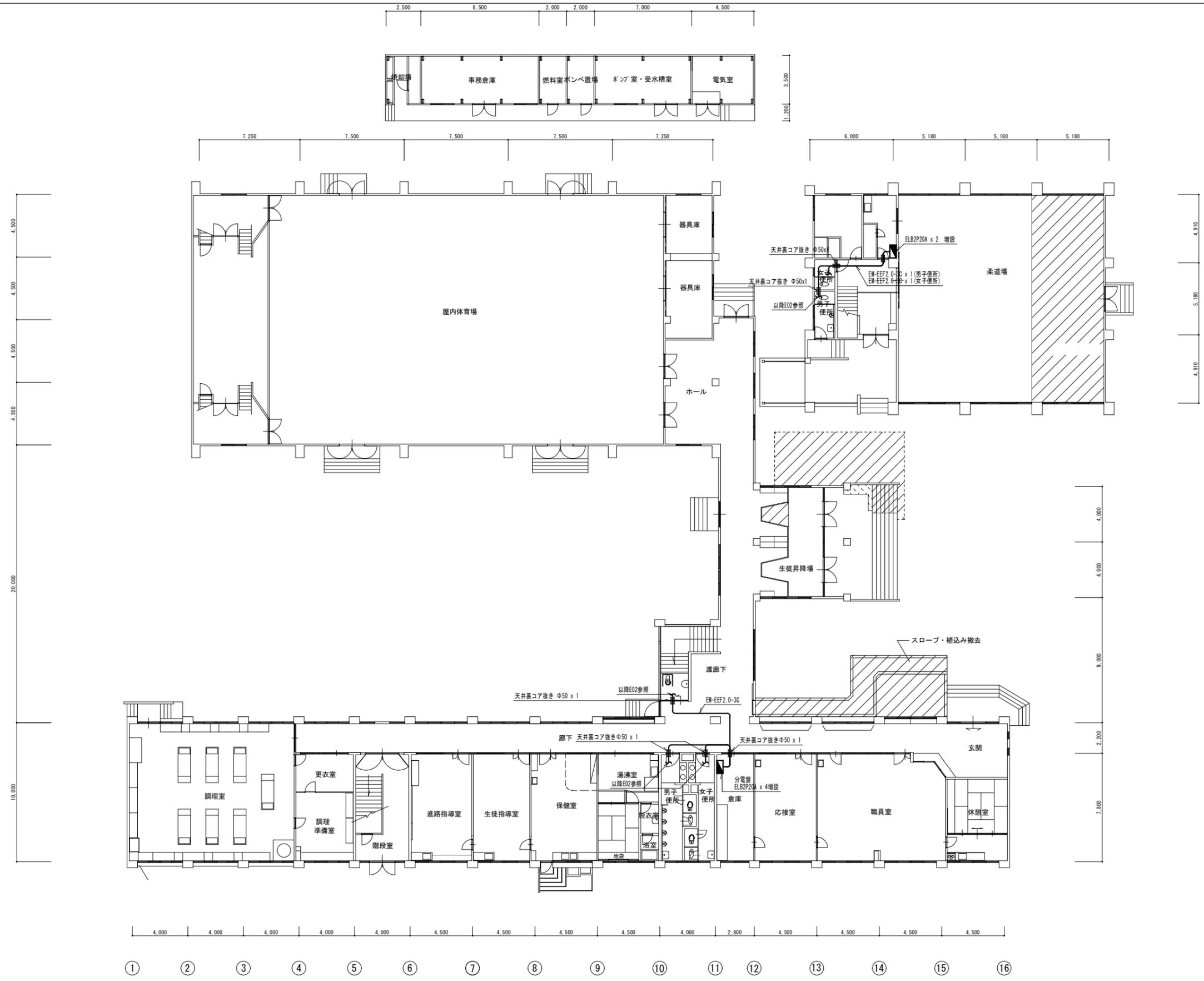
令和6年度

種別

A

図面番号

33



既存1階平面図 S=1:200



有限会社 谷口設計事務所
〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 Ⅱ (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 08(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲



工事名称
高野中学校トイレ様式化工事

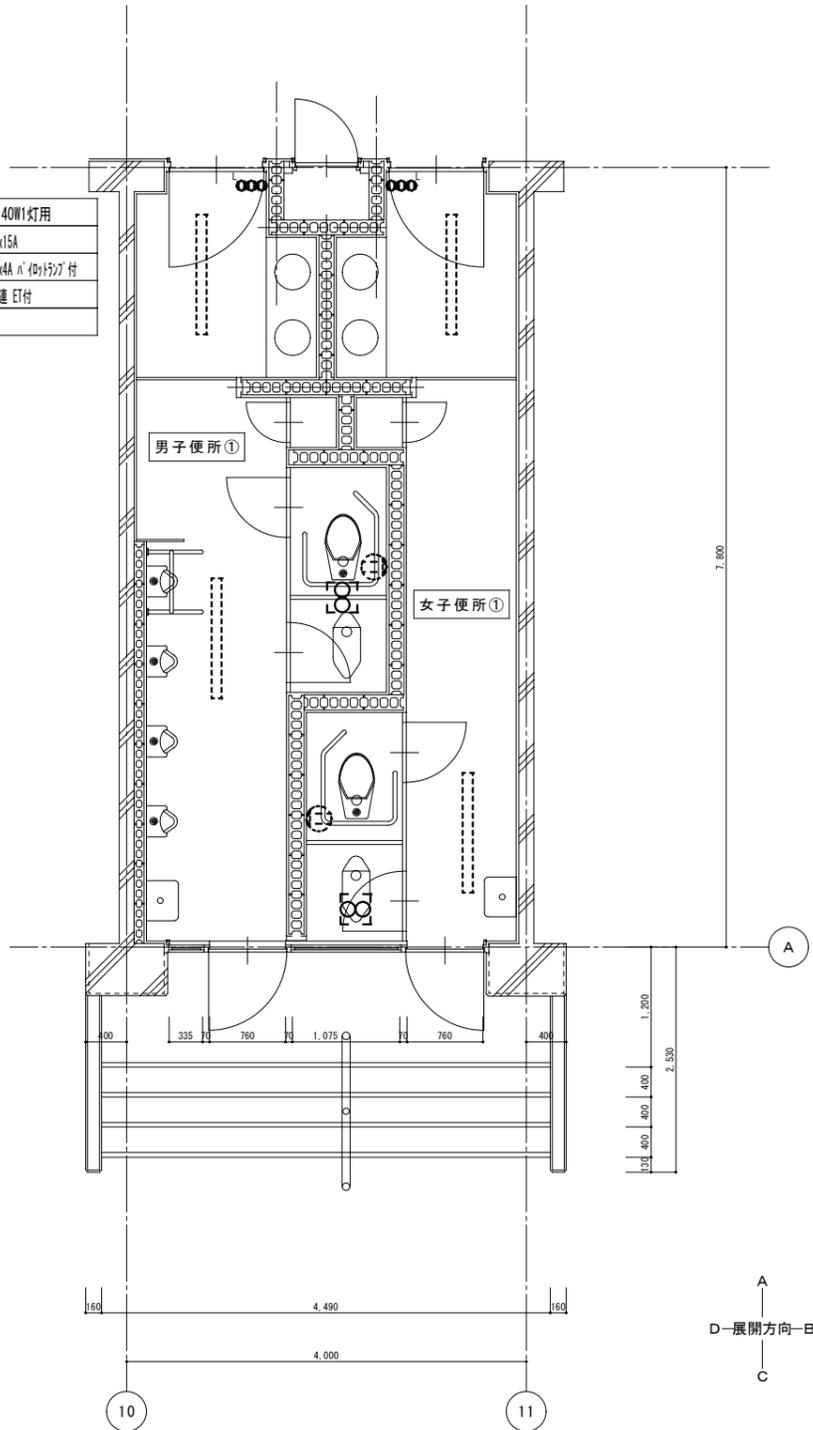
図面名称
コンセント設備
1階改修図面

縮尺
1:200

設計
令和6年

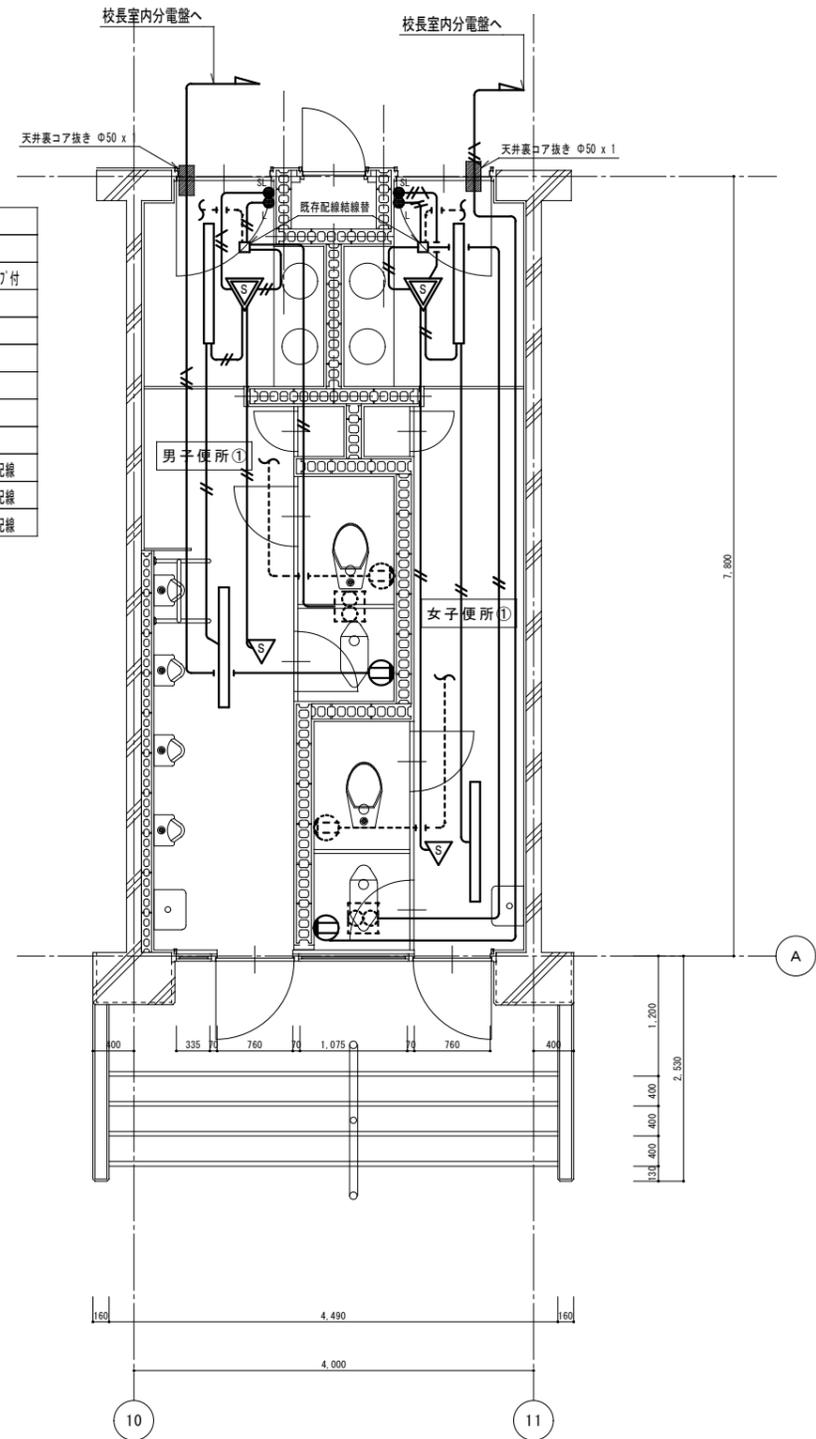
種別
E
図面番号
02

-----	既設照明(撤去)	蛍光灯 40W1灯用
○	既設埋込スイッチ(撤去)	大角 1P15A
○L	既設埋込スイッチ(撤去)	大角 1P4A n' (0y157) 付
⊕	既設コネクタ(再利用)	2P15AEx1連 ET付
⊗	既設換気扇(電源撤去)	



1階男子・女子便所①平面詳細図(改修前) S=1:50

—	LED照明(新設)	40W1灯用
○SL	照明操作ユニット	
○L	既設埋込スイッチ(撤去)	大角 1P4A n' (0y157) 付
⊕	既設コネクタ(再利用)	2P15AEx1連 ET付
⊕	増設コネクタ	2P15AEx2 ET付
▽	熱線センサ(親機)	
▽	熱線センサ(子機)	
⊗	新設換気扇(電源接続)	
-----	既存配線再用	
///	EM-EEF2.0-3C	立下げ部分はMMAにて配線
///	EM-EEF1.6-3C	立下げ部分はMMAにて配線
///	EM-EEF1.6-2C	立下げ部分はMMAにて配線



1階男子・女子便所①平面詳細図(改修後) S=1:50



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階男子便所①・女子便所①平面詳細図 既存・改修

縮尺

1:50

設計

令和6年度

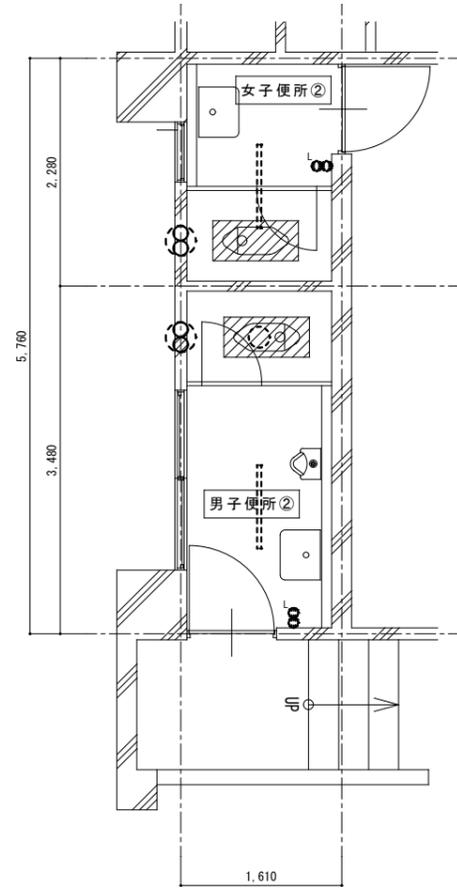
種別

E

図面番号

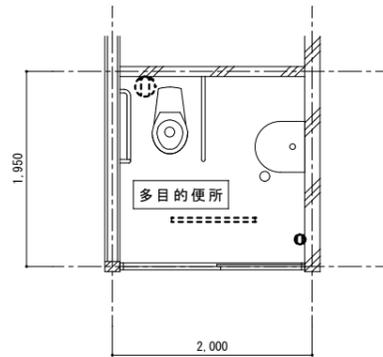
03

撤去凡例		
	既設照明(撤去)	蛍光灯 20W1灯用
	既設照明(撤去)	白熱灯 30W
	既設埋込スイッチ(撤去)	大角 1Px15A
	既設埋込スイッチ(撤去)	大角 1Px4A N(2015)付
	既設換気扇(電源撤去)	



1階男子・女子便所②平面詳細図(改修前) S=1:50

撤去凡例		
	既設照明(撤去)	蛍光灯 20W1灯用
	既設埋込スイッチ(撤去)	大角 1Px15A
	既設コンセント(撤去)	

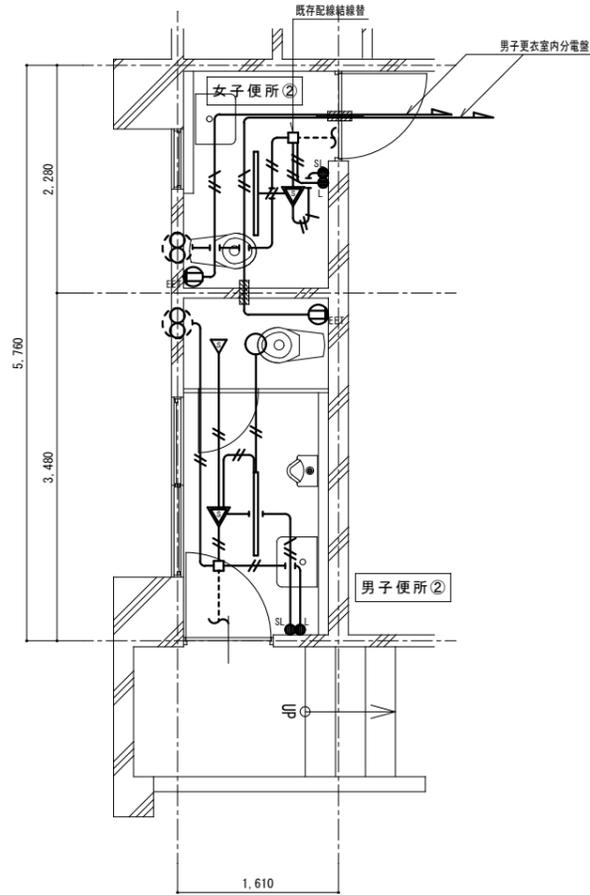


多目的便所平面詳細図(改修前) S=1:50

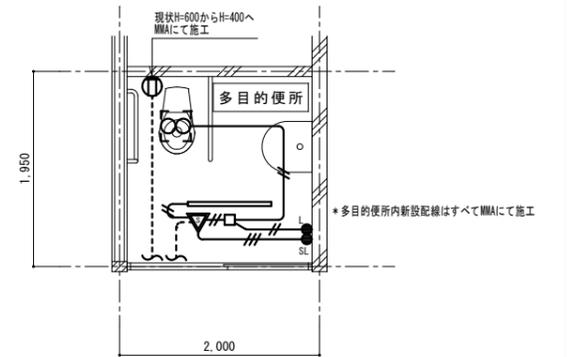
: 和式便器撤去跡補修範囲(700×400)



和式便器撤去後は下記とする
 * ネールインアンカー D10@2500 タプル(両方向共)
 * 配筋 D10@200 タプル(両方向共)
 * コンクリート(FC=24)打設(厚120)



1階男子・女子便所②平面詳細図(改修後) S=1:50



多目的便所平面詳細図(改修後) S=1:50

改修凡例		
	LED照明(新設)	40W1灯用
	LED照明(新設)	白熱灯 30W相当
	照明操作ユニット	
	新設埋込スイッチ	大角 1Px4A N(2015)付
	増設コンセント	2P15AEx2 ET付
	熱線センサー(親機)	
	熱線センサー(子機)	
	新設換気扇(電源接続)	
	新設換気扇(電源接続)	
	既存配線再用	
	EM-EFF2.0-3C	立下げ部分はMMAにて配線
	EM-EFF1.6-3C	立下げ部分はMMAにて配線
	EM-EFF1.6-2C	立下げ部分はMMAにて配線



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階男子便所②・女子便所②平面詳細図 改修前・後 多目的便所

縮尺

1:50

設計

令和6年度

種別

E

図面番号

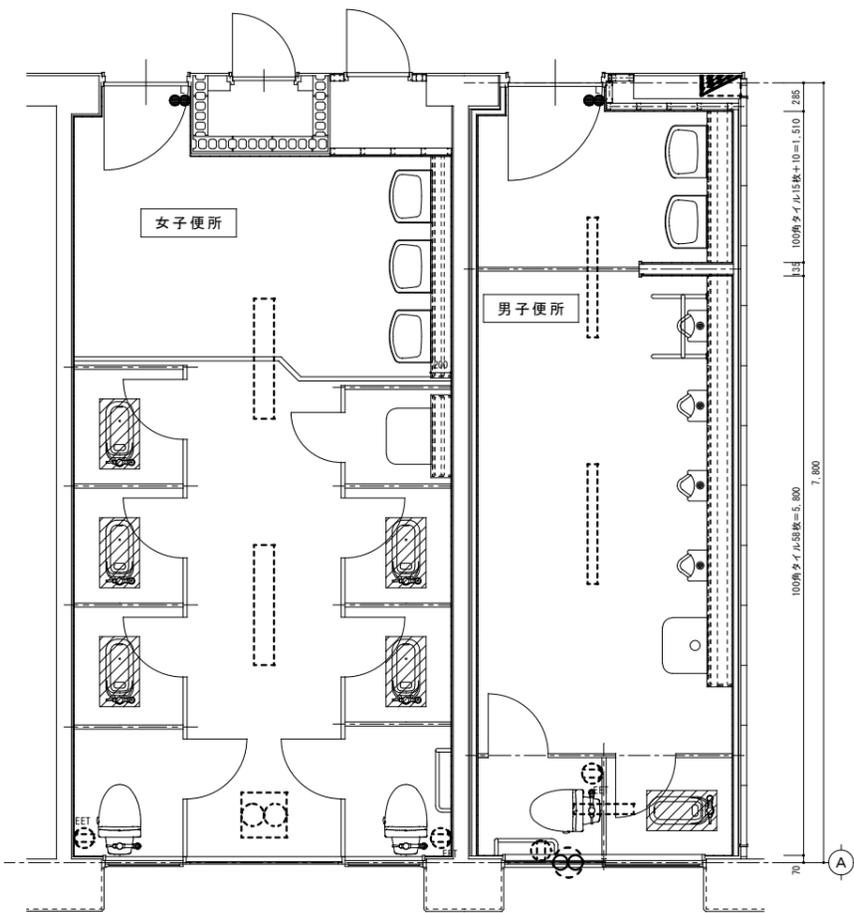
04

撤去凡例	
	既設照明(撤去)
	蛍光灯 40W2灯用
	既設埋込スイッチ(撤去)
	大角 1P15A
	大角 1P44A 100V15A付
	既設スイッチ(再利用)
	2P15AEx1連 ET付
	既設換気扇(電源撤去)

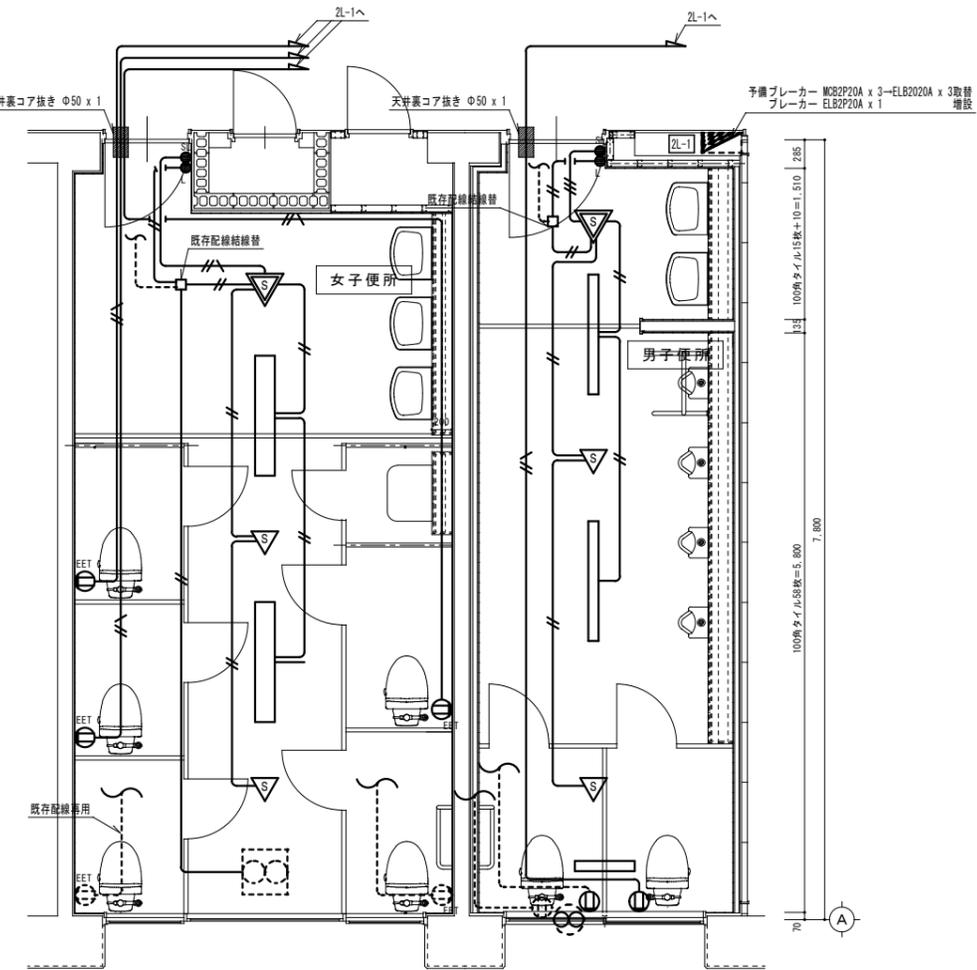
撤去凡例	
	既設照明(撤去)
	蛍光灯 40W1灯用
	既設埋込スイッチ(撤去)
	大角 1P15A
	大角 1P44A 100V15A付
	既設スイッチ(再利用)
	2P15AEx1連 ET付
	既設天井ファン(再利用)
	2P15A
	既設換気扇(電源撤去)

改修凡例	
	LED照明(新設)
	40W2灯用
	照明操作ユニット
	新設埋込スイッチ
	大角 1P44A 100V15A付
	既設スイッチ(再利用)
	2P15AEx1連 ET付
	増設スイッチ
	2P15AEx2 ET付
	熱線センサ(親機)
	熱線センサ(子機)
	新設換気扇(電源接続)
	既存配線再用
	EM-EEF2.0-3C
	EM-EEF1.6-3C
	EM-EEF1.6-2C
	立上げ部分はMMAにて配線

改修凡例	
	LED照明(新設)
	40W1灯用
	照明操作ユニット
	新設埋込スイッチ
	大角 1P44A 100V15A付
	既設スイッチ(再利用)
	2P15AEx1連 ET付
	増設スイッチ
	2P15AEx2 ET付
	熱線センサ(親機)
	熱線センサ(子機)
	新設換気扇(電源接続)
	既存配線再用
	EM-EEF2.0-3C
	EM-EEF1.6-3C
	EM-EEF1.6-2C
	立下げ部分はMMAにて配線



: 和式便器撤去跡補修範囲(700×400)



和式便器撤去後は下記とする
 *ホールインワン D10@2500 タブル(両方向共)
 *配筋 D10@200 タブル(両方向共)
 *コンクリート(FC=24)打設(厚120)

2階便所平面詳細図(改修前) S=1:50

2階便所平面詳細図(改修後) S=1:50



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 Tel. (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

2階便所平面詳細図 既存・改修

縮尺

1:50

設計

令和6年度

種別

E

図面番号

05

機 器 表

器 具 名	仕 様	電源仕様		1 階					2 階		合計	備 考	
		電源 (電圧)	消費電力	男子便所①	女子便所①	男子便所②	女子便所	多目的便所	男子便所	女子便所①			
洋 風 便 器	GS140, TV550S, TSF640LR, T82C32, HP430-7 (フラッシュ弁) 床給水	単相100V	25W	1	1	1	1			1	1	6	新設
洗 浄 便 座	TCF6543AM (リモコン便器洗浄タイプ)	単相100V	408W	1	1							2	新設
暖 房 便 座	TCF226 (着座センサー付)	単相100V	56W			1	1			1	1	4	新設
和 風 便 器	C755VU, TV550S, TSF290BR, T82CR32 (フラッシュ弁) 床給水	単相100V	22W	1	1					1	1	4	新設
身 障 者 用 便 器	CS20AB, SH30BA							1				1	新設
洗 浄 便 座	TCF5841P (オート便器洗浄タイプ、蓋なし)	単相100V	1260W					1				1	新設
L 形 手 す り	T112CL9									1		1	新設
可 動 手 す り	跳ね上げ式											<1>	既設流用 (改修なし)
L 形 手 す り												<1>	既設流用 (改修なし)
棚 付 二 連 紙 巻 器	YH650			2	2	1	1	1				7	新設
壁 掛 小 便 器	UFH500, TEA62ADS (凍結防止弁付フラッシュバルブ 乾電池タイプ)			4		1				4		9	新設
小 便 器 用 手 す り				1								1	既設流用 (再取付)
小 便 器 用 手 す り										<1>		<1>	既設流用 (改修なし)
は め 込 み 洗 面 器	TLE28SS1W (単水栓発電タイプ) (洗面器は既設流用)			2	2							4	水栓のみ取替
壁 付 洗 面 器	水栓取替 TEL24DPRA (洗面器は既設流用)									2	3	5	水栓のみ取替
壁 付 手 洗 器	水栓取替 TEL24DPRA (手洗器は既設流用)					1	1	1				3	水栓のみ取替
化 粧 鏡				<2>	<2>	<1>	<1>			<2>	<3>	<11>	既設流用 (改修なし)
掃 除 流 し	SK322										<1>	<1>	既設流用 (改修なし)
吸 気 弁 付 止 水 栓	アングル止水栓 S-VA-13 [竹村製作所製同等品]					1	1	1		2	3	8	新設 (洗面器・手洗器用)
床 上 掃 除 口	CVA-50							1				1	新設
床 上 掃 除 口	CVA-80			1						1	2	4	新設
床 上 掃 除 口	CVA-100			1				1		2	2	6	新設
掃 除 流 し	SK322										<1>	<1>	既設流用 (改修なし)
天 井 扇	150φ x 470m ³ /h x 80Pa (EF-1)	単相100V	82.0W							1	1	2	新設
天 井 扇	150φ x 300m ³ /h x 80Pa (EF-2)	単相100V	49.0W	1	1							2	新設
天 井 扇	100φ x 90m ³ /h x 40Pa (EF-3)	単相100V	15.5W					1				1	新設
壁 付 換 気 扇	200φ x 480m ³ /h (EF-4)	単相100V	13.5W			1	1					2	新設

1. トイレの内装改修と床の嵩上げの部分は、器具を一旦撤去し流用器具は再取付とする。接続配管はすべて新設とする。
 2. 器具の配管は1階ビット内、2階は天井内で既設管へ接続、不要配管は撤去しキャップ止め又はプラグ止めとする。
 3. 床嵩上げ部分の床上掃除口は既設撤去後新設とする。



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23 (1) 1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

衛生・換気機器表

縮尺

N. S

設計

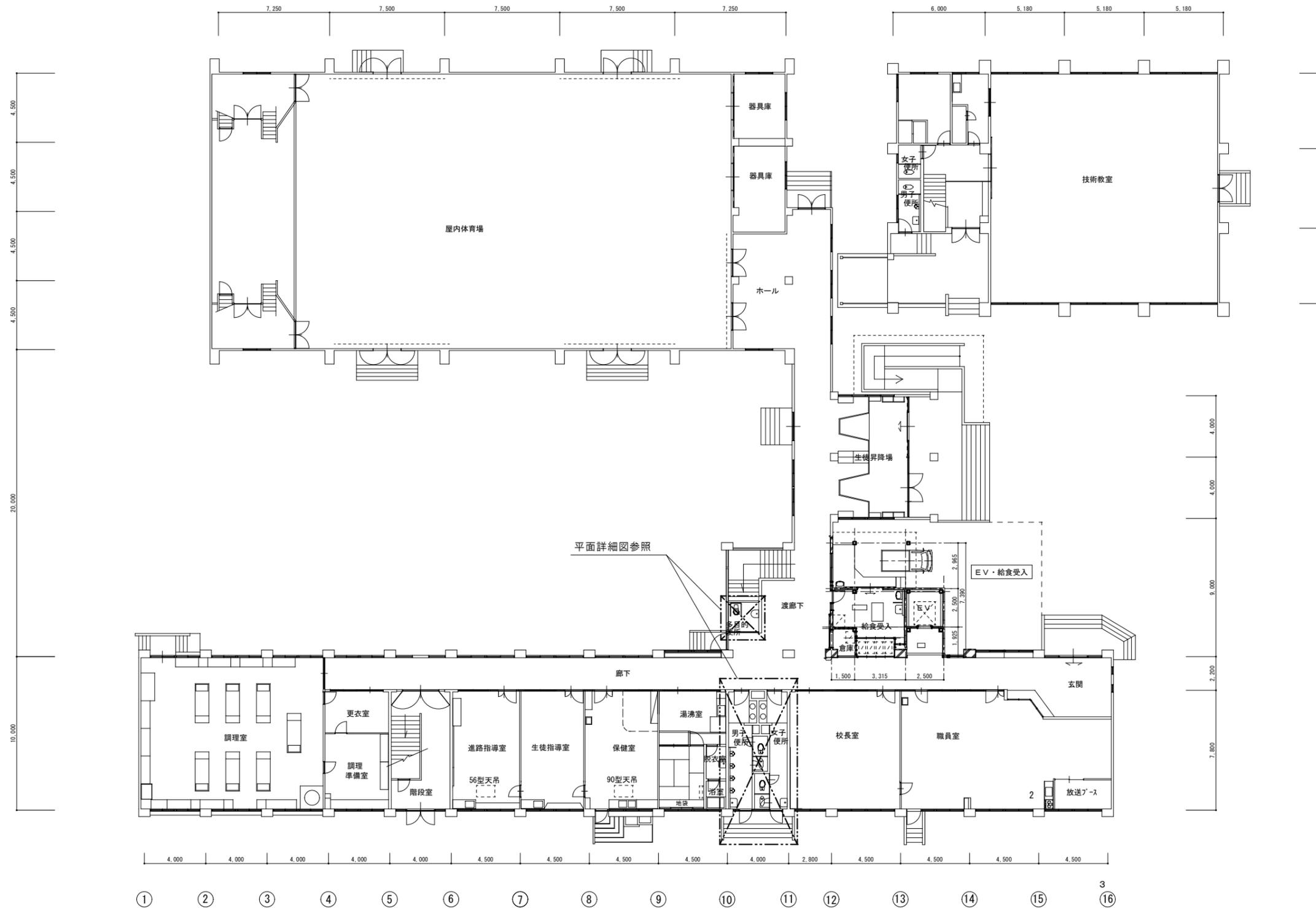
令和6年度

種別

M

図面番号

02



既存1階平面図 S=1:200



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 Tel. (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

既存1階平面図

縮尺

N.S

設計

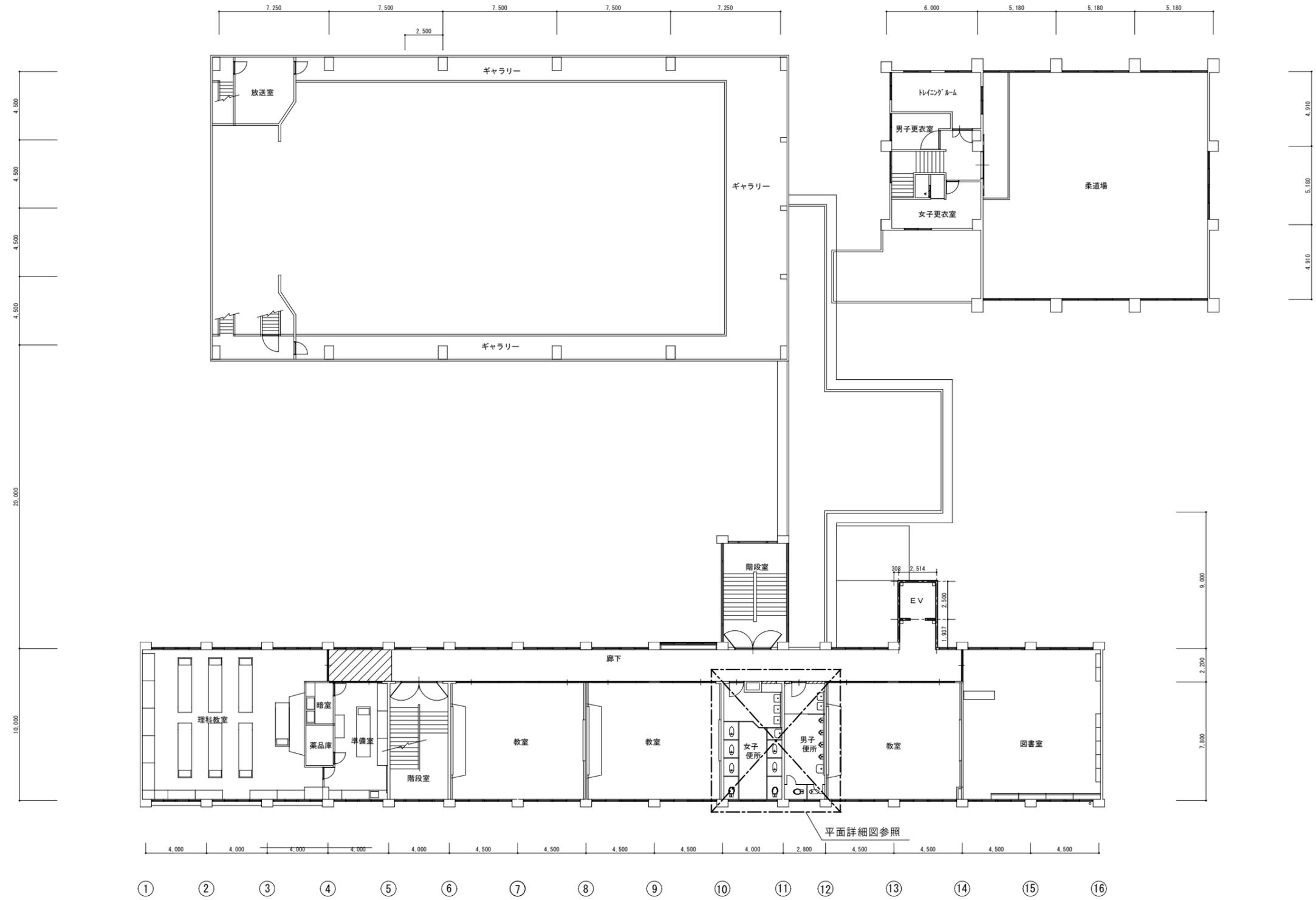
令和6年度

種別

M

図面番号

03



既存2階平面図 S=1:200

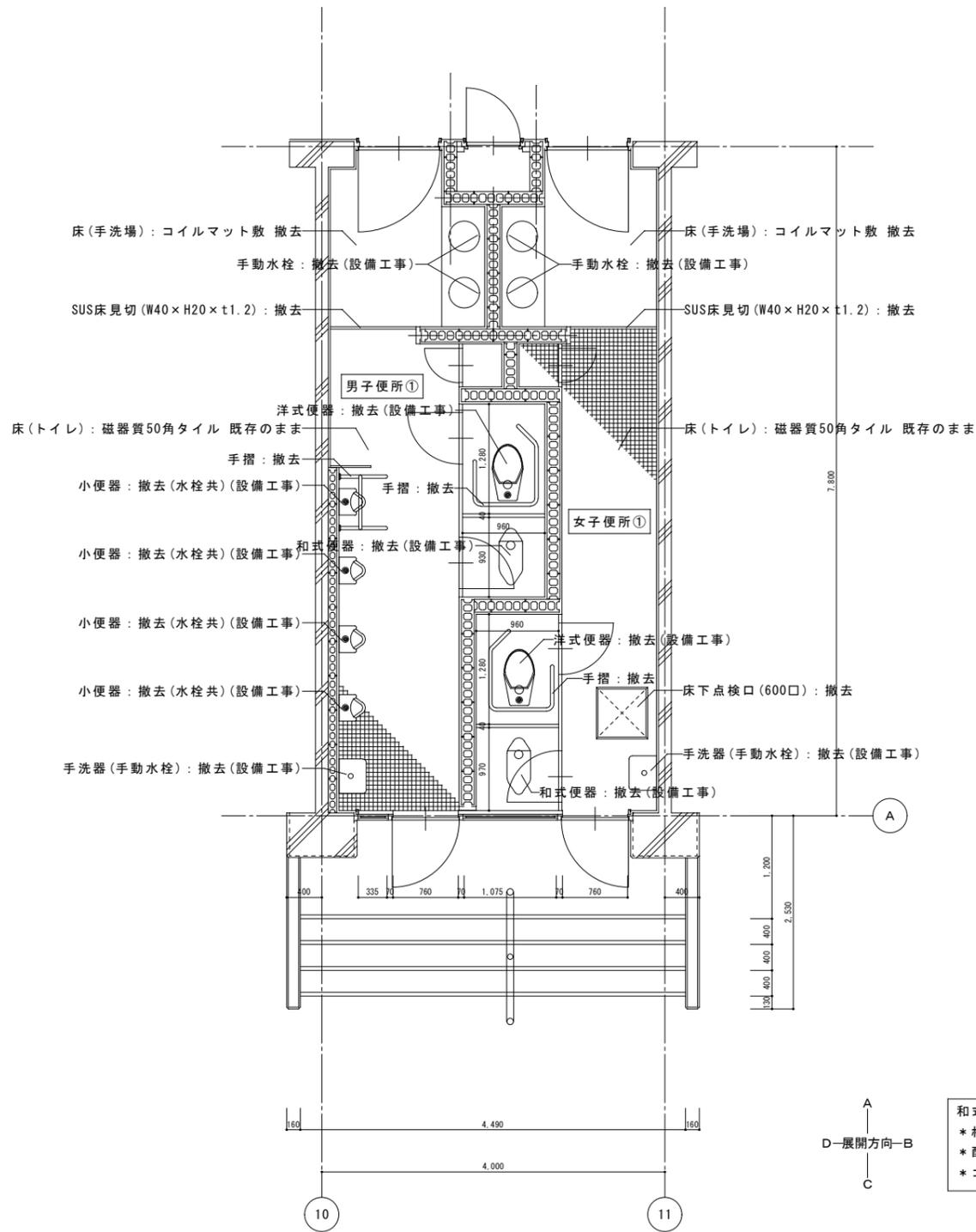


有限会社 谷口設計事務所
 〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号
 一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成
 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

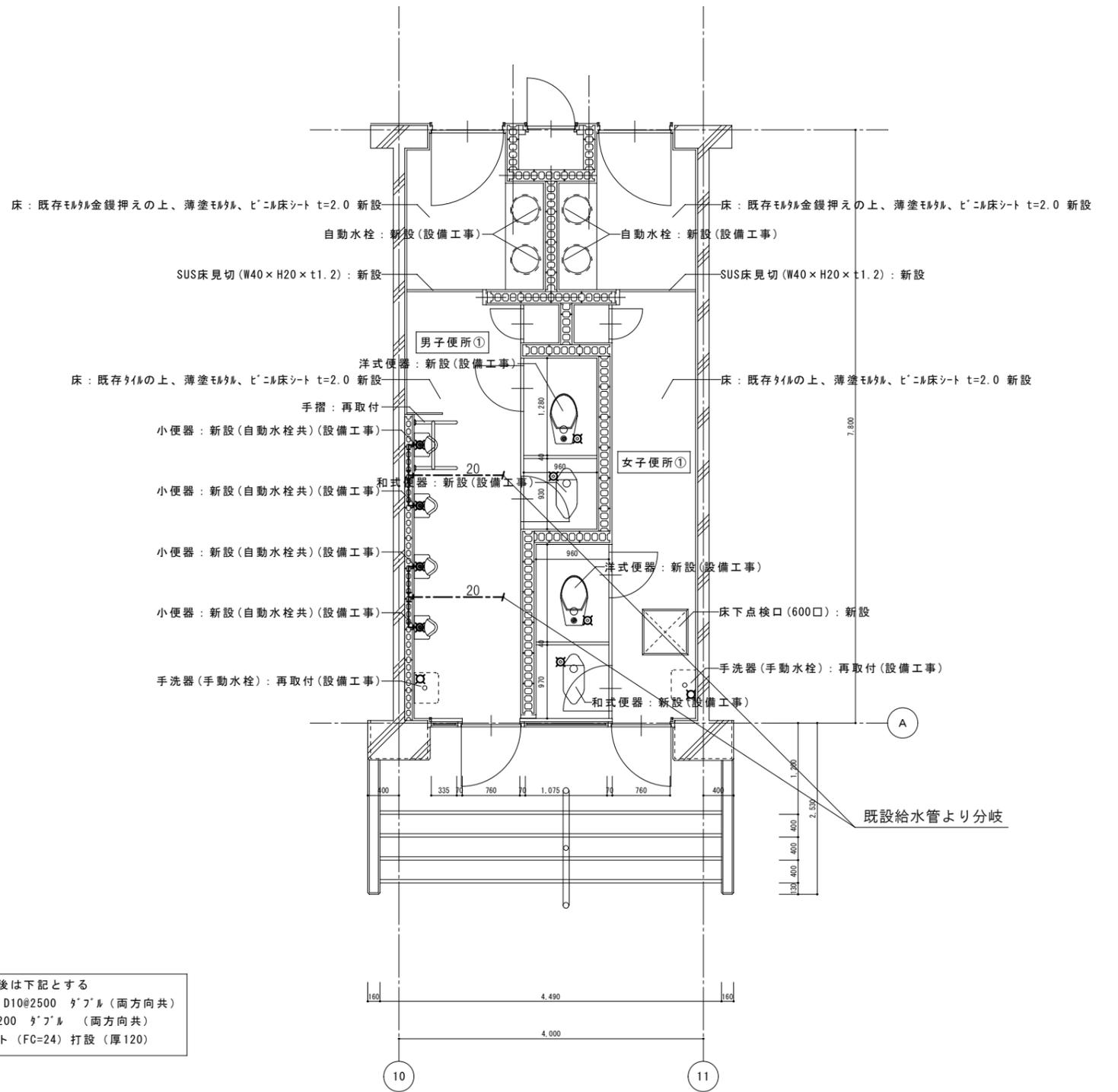
工事名称
 高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称
 既存2階平面図

縮尺	設計	種別
N.S	令和6年度	M
		図面番号 04



1階男子・女子便所①平面詳細図(改修前) S=1:50



1階男子・女子便所①平面詳細図(改修後) S=1:50

和式便器撤去後は下記とする
 *ホルインアンカー D10@2500 グラブル(両方向共)
 *配筋 D10@200 グラブル(両方向共)
 *コンクリート(FC=24)打設(厚120)

〔特記事項〕

- 洗面器・手洗器は既設撤去・再取付(水栓のみ取替)
- 洋風便器、和風便器、小便器は既設撤去・新設とする。
- 新設器具の給水・排水はピット内で既設管へ接続。
 但し、小便器の給水管はハイタンク方式をフラッシュ弁に変更するため、新設とする。(祈りは本工事、復旧は建築工事とする。)
- 床上掃除口は、床高に合わせ嵩上げ(約30mm)



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階男子・女子便所①衛生設備図(既存・改修)

縮尺

1:50

設計

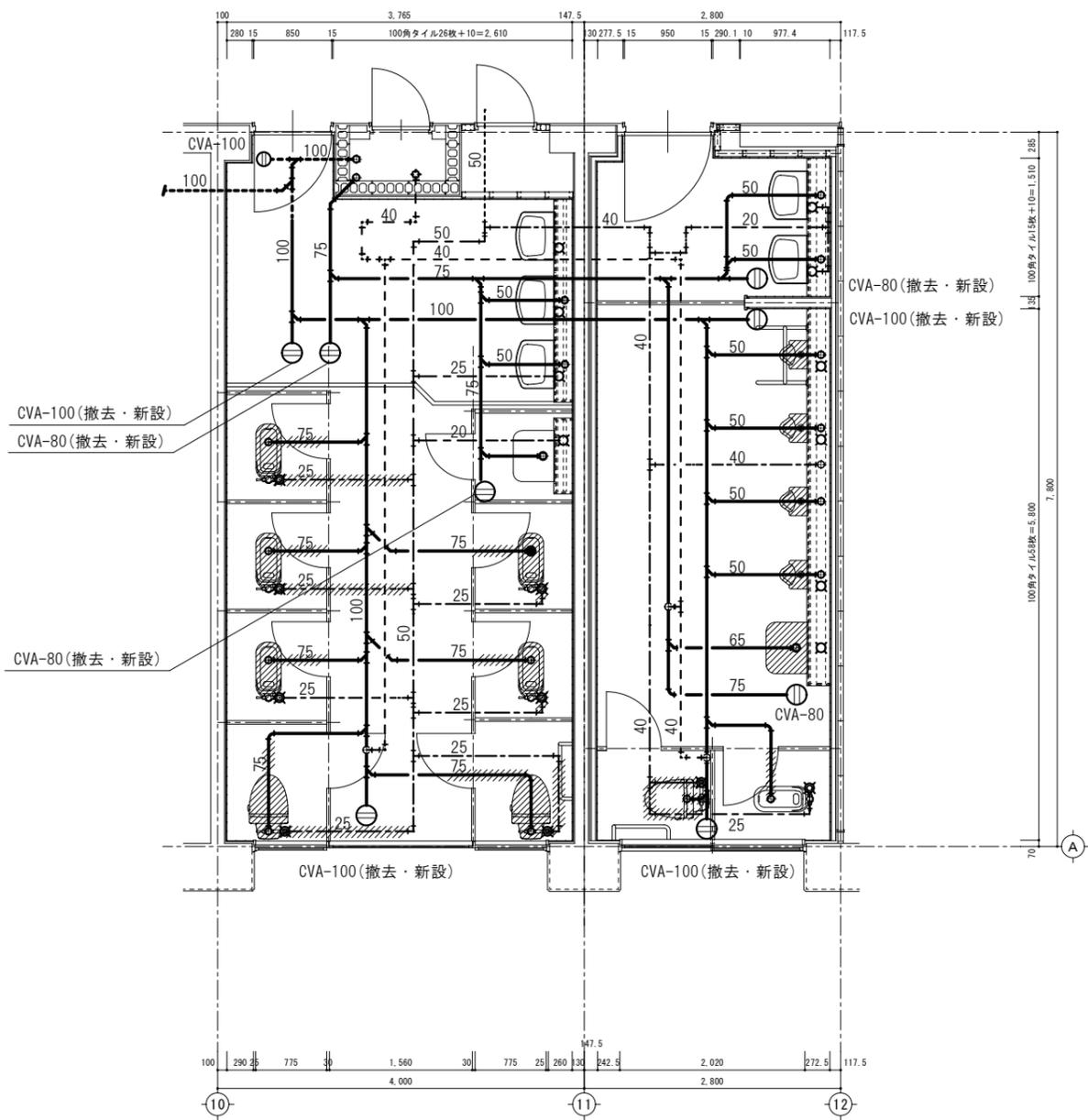
令和6年度

種別

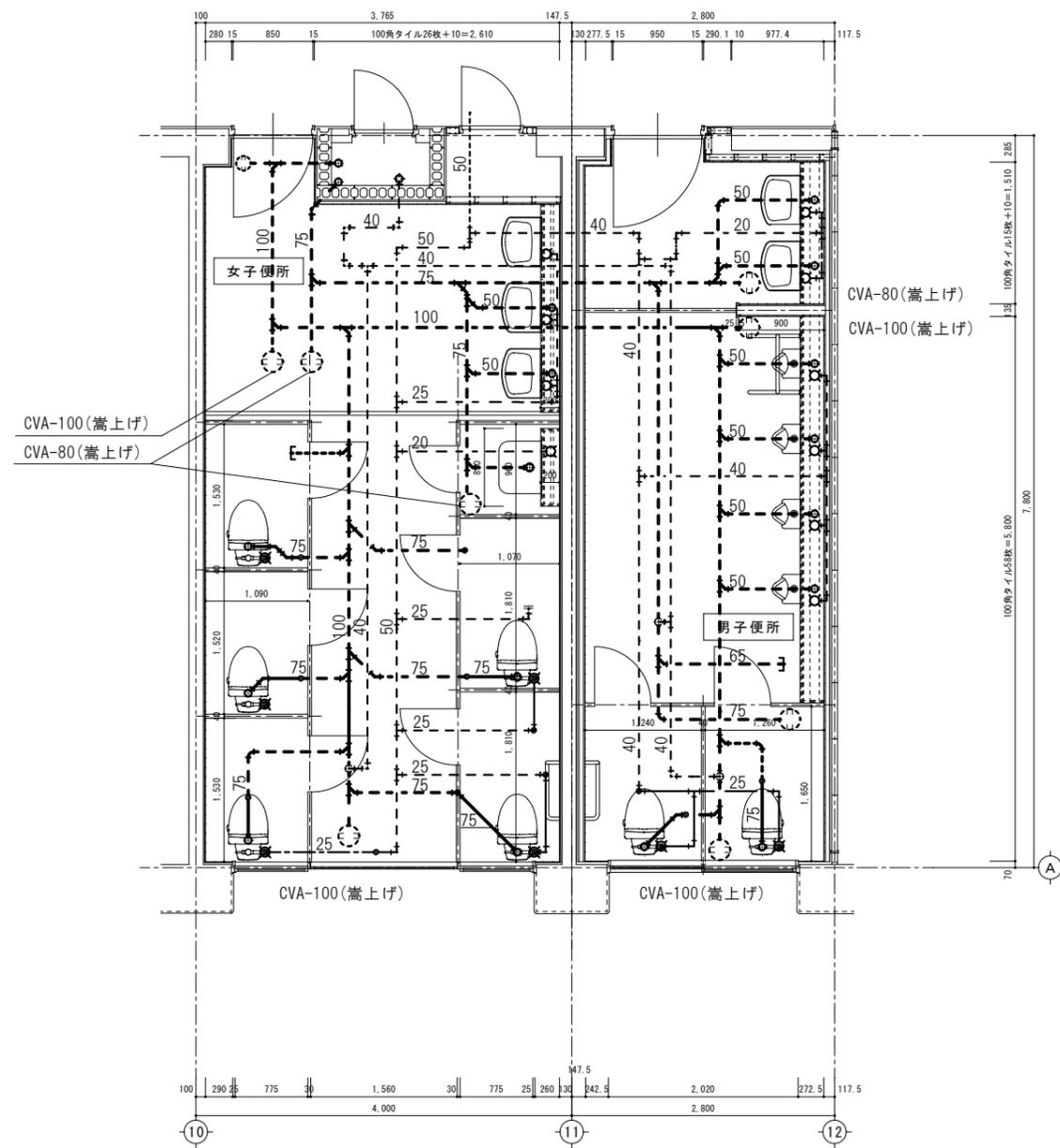
M

図面番号

05



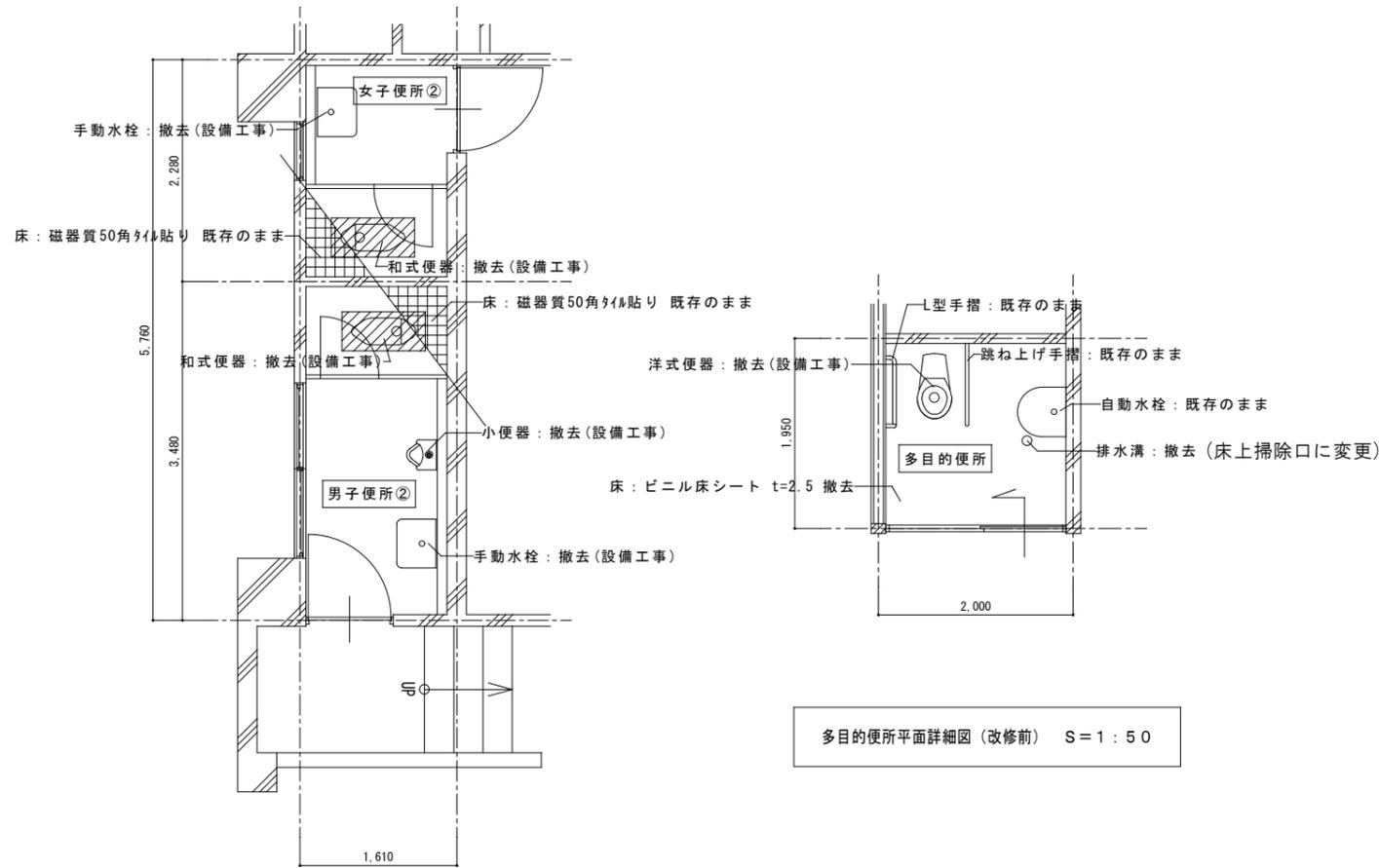
2階便所平面詳細図 (改修前) S = 1 : 50



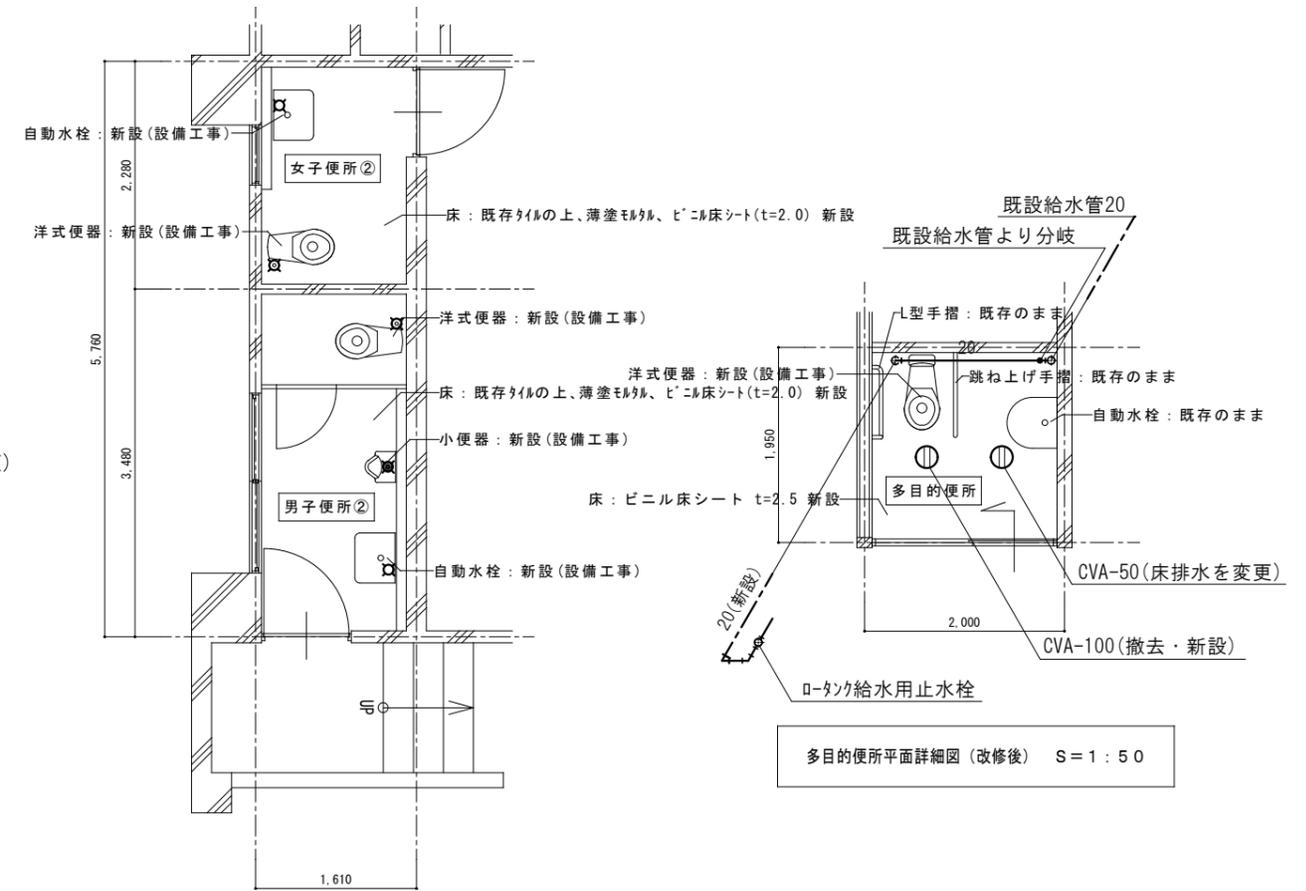
2階便所平面詳細図 (改修後) S = 1 : 50

〔特記事項〕

1. 洗面器・手洗器は既設撤去・再取付(水栓のみ取替)
2. 洋風便器、和風便器、小便器は既設撤去・新設とする。
3. 新設器具の給水・排水はビット内で既設管へ接続。
但し、小便器の給水管はハイタンク方式をフラッシュ弁に変更するため、新設とする。(新りは本工事、復旧は建築工事とする。)
4. 床清掃口は、床高に合わせ嵩上げ(約30mm)



1階男子・女子便所②平面詳細図 (改修前) S=1:50

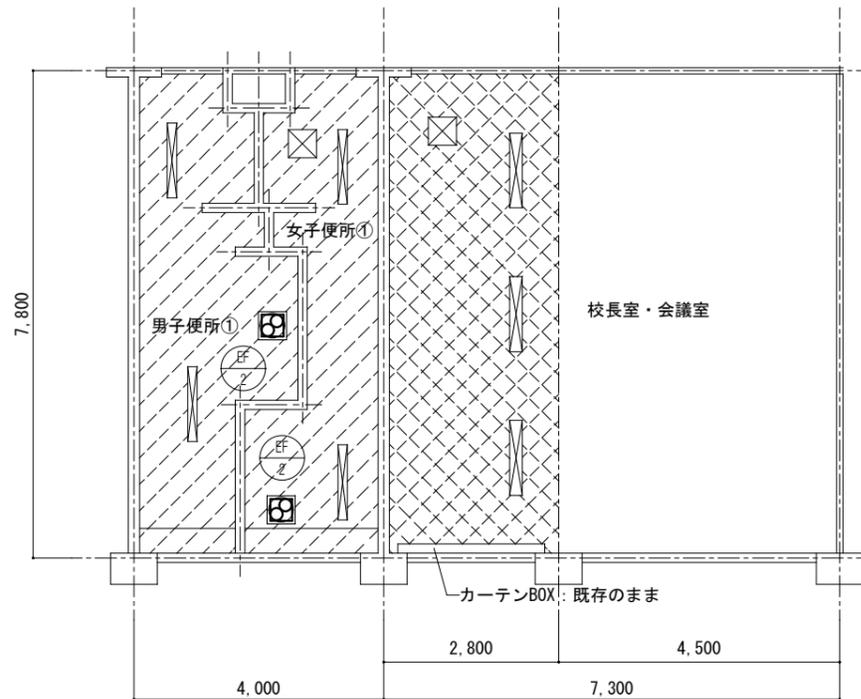
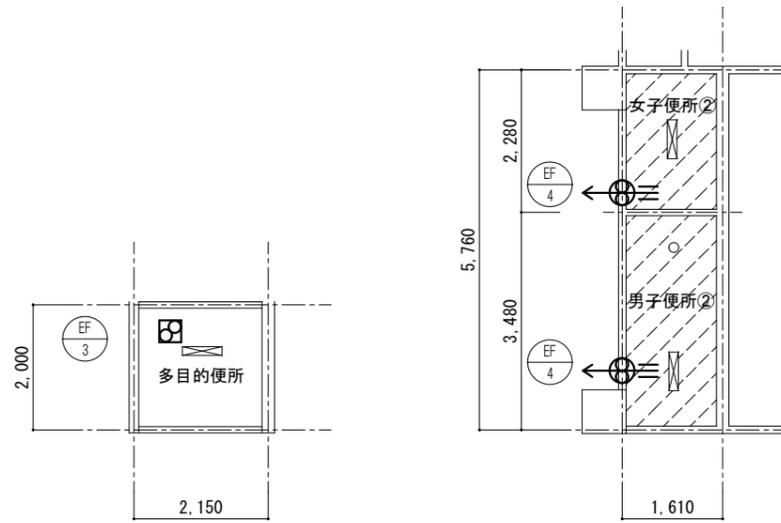


1階男子・女子便所②平面詳細図 (改修後) S=1:50

: 和式便器撤去跡補修範囲 (700×400)

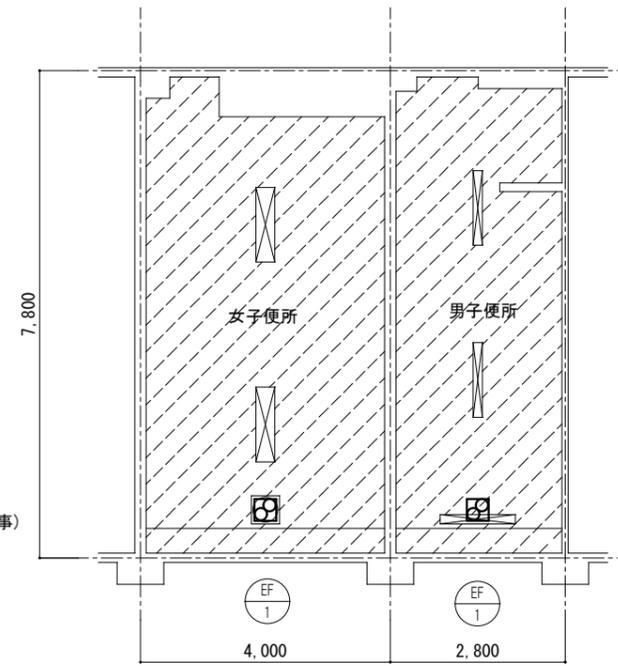


和式便器撤去後は下記とする
 * ネールアンカー D10@2500 タップル (両方向共)
 * 配筋 D10@200 タップル (両方向共)
 * コンクリート (FC=24) 打設 (厚120)



1階天井伏図 S=1:80

- 蛍光灯 撤去(設備工事)
LED 新設(設備工事)
- 天井点検口(450口) 撤去・新設
- 天井換気扇 撤去・新設(設備工事)
- 仕上げ撤去・新設範囲
- 仕上げ撤去・再取付範囲



2階天井伏図 S=1:80

室名	仕上げ
1階男子便所①	化粧石膏ボード貼り t=9.5
1階女子便所①	化粧石膏ボード貼り t=9.5
1階男子便所②	化粧石膏ボード貼り t=9.5
1階女子便所②	化粧石膏ボード貼り t=9.5
多目的便所	リシン吹付
校長室・会議室	化粧石膏ボード貼り t=9.5
2階男子便所	化粧石膏ボード貼り t=9.5
2階女子便所	化粧石膏ボード貼り t=9.5



有限会社 谷口設計事務所

〒727-0011 広島県庄原市東本町一丁目1番17号 TEL (0824) 72-1292 FAX (0824) 72-7799

一級建築士事務所 23(1)1191号

一級建築士 第257054号 竹中 哲成

工事名称

高野中学校トイレ洋式化工事

図面名称

天井伏図(換気設備)

縮尺

1:80

設計

令和6年度

種別

M

図面番号

08